MITSUBISHI ELECTRIC

業務用

三菱電機空調冷熱総合管理システム

形名

AE-200J/AE-50J/EW-50J

取扱説明書

－電力按分課金支援機能編－

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

もくじ

安全のために必ず守ること ……2
1. 使用部品 ……4
1-1. 同梱部品 ……4
1-2. 別売部品 ……4
1-3. 一般市販部品 ……4
1-4. パソコン環境 ……5
2. ご使用の前に ……6
2-1. 電力按分課金支援機能とは ……6
2-2. システム概要 ……8
2-3. 運用方法選択 ……9
2-4. 機能一覧 ……10
2-5. システム制約 ……11
2-6. 電力按分課金支援機能をご使用時の注意事項 ……11
3. 使用方法（基本） ……12
3-1. 期日指定計算（LAN 接続） ……12
3-2. 期日指定計算（USB） ……14
3-3. 精算日計算（自動出力） ……21
3-4. 料金計算結果の表示 ……25
3-5. 料金計算結果の印刷 ……26
3-6. 料金計算結果の CSV 出力例 ……28
4. 使用方法（応用） ……30
4-1. 料金計算ツールの各種設定 ……30
4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算 ……34
4-3. その他の設定変更と注意点 ……35
4-4. エネルギー管理表示 ……37
5. ソフトウェアの準備 (インストール) ……38
5-1. 料金計算ツールのインストール手順 ……38
5-2. 初期設定ツールのインストール手順 ……40
5-3. パソコンの IP アドレス設定 ……42
5-4. .NET Framework のインストール手順 ……44
6. 初期設定 ……45
6-1. 概要 ……45
6-2. 課金用 AE-200J 本体による設定 ……47
6-3. 初期設定ツールによる設定 ……49
6-4. 初期設定ツールの概要 ……51
6-5. 基本設定 ……58
6-6. ユニット設定 ……64
6-7. 課金設定 ……74
6-8. 料金計算ツールによる設定 ……86
7. 課金試運転 ……87
7-1. 課金試運転の流れ ……88
7-2. 課金設定内容の確認 (課金試運転前の確認) ……90
7-3. 課金試運転チェック ……95
7-4. 最終確認 ……99
8. トラブルシューティング ……100
8-1. トラブルシューティング ……100
8-2. AE-200J 交換 ……102
8-3. AE-50J/EW-50J 交換 ……103
8-4. 計量用計測コントローラ交換 ……105
8-5. その他の作業 ……106

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）　（接触禁止）　（水ぬれ禁止）　（ぬれ手禁止）　（感電注意）　（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

油・蒸気・有機溶剤・腐食ガスの多いところ、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところにコントローラを据え付けないこと。

- 電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

コントローラの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

感電注意

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。

使用禁止

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ガラス損傷によるけがのおそれあり。

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- 環境破壊のおそれあり。

部品端面に触れないこと。

- けが・感電・故障のおそれあり。

移設・修理をするときに

⚠警告

コントローラの分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- けが・感電・火災のおそれあり。

お願い

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでコントローラに触れないでください。

- 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- 変色のおそれあり。

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

本製品には下記の部品が同梱されておりますので、ご使用前に確認してください。

No.	品名	個数	備考
1	取扱説明書（本書）	1	
2	AE-200J/AE-50J/EW-50J 用　電力按分課金支援　ライセンス	1	
3	セットアップ CD ・ 取扱説明書（PDF） ・ 初期設定ツール ・ 料金計算ツール ・ バージョンアップデート用ファイル	1	

1-2. 別売部品

以下の部品は三菱電機指定の純正品をお使いください。

品名	型式	個数
計量用計測コントローラ	PAC-YG60MC	必要数
USB ドア付カバー	PAC-YE72CWL	AE-200J　1 台ごとに 1 個

1-3. 一般市販部品

必要に応じて以下の一般市販部品をご準備ください。

品名		個数	備考
電力量計		必要数	電力量計にパルス発信器が搭載されている場合は、 下記のパルス幅とパルス単位に準拠していれば、 パルス検出器は不要になります。
パルス検出器		必要数	パルス幅：100 ～ 300ms パルス単位：0.1kWh/pulse、 1.0kWh/pulse を推奨 電力量計に上記のパルス発信器が搭載されている場合は、 パルス検出器は不要です。
計量用計測 コントローラ用	直流電源装置　※ 1	必要数	DC24V ± 10% 5W リップルノイズ：200mVp-p 以下
	AC 電源線	適量	直流電源装置用
	M-NET 伝送線	適量	
	DC 電源線	適量	
	信号線	適量	
	スリーブ付き丸端子	必要数	
通信関連	パソコン	1	料金計算ツールおよび初期設定ツール用
	プリンタ	1	料金計算結果印刷用
	USB メモリ	1	CSV データ（按分結果）取り出し用
	LAN ケーブル	適量	
	スイッチング HUB	必要数	

※ 1 外部 DC24V 電源については、安全規格 UL60950-1、EN60950-1、または電気用品安全法準拠品を指定し、使用してください。（一次 / 二次間の耐圧が強化絶縁仕様（3kV、1 分）のもの）

市販の外部 DC24V 電源（例）について、ご紹介します。なお、詳細については各社にお問い合わせください。
市販の外部 DC24V 電源について（例）

オムロン株式会社	TDK ラムダ株式会社	コーセル株式会社
S8JX-NO1524C	HWS15-24/A	PBA10F-24-N

各社 URL（Web ページのアドレス）
オムロン株式会社　　http://www.omron.co.jp/
TDK ラムダ株式会社　　http://www.tdk-lambda.co.jp/
コーセル株式会社　　http://www.cosel.co.jp/jp/

1-4. パソコン環境

料金計算ツール・初期設定ツール

項目	要件
CPU	1GHz 以上（推奨 2GHz 以上)
メモリ	2GB 以上
画面解像度	1024 × 768 以上
OS	Windows7、Windows8.1(32bit/64bit)
動作環境	Windows7、Windows8.1 の最低動作環境を満たしていること ・.NET Framework 4.5 以上
内蔵 LAN ポートまたは LAN カード	100BASE-TX 以上
ポインティングデバイス	マウスなど

2. ご使用の前に

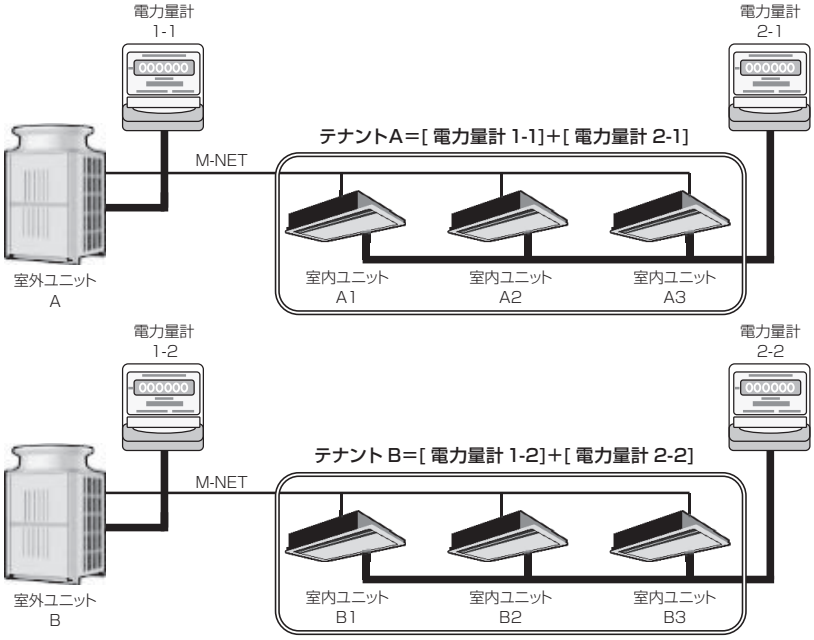
電力按分課金支援機能を使用する際には、現地調整業者などによる事前の初期設定と試運転が必要となります。また、運用に際しては、工事店・販売店から注意点などの説明を受けてからのご使用をお願いします。

※ 工事店・販売店の方へ
本書の５章⇒６章⇒７章の順番で、ソフトウェア（ツール）のインストール、初期設定および試運転を確実に実施の上、運用にあたっては、２章（2-6）について十分お客様にご説明をお願いします。

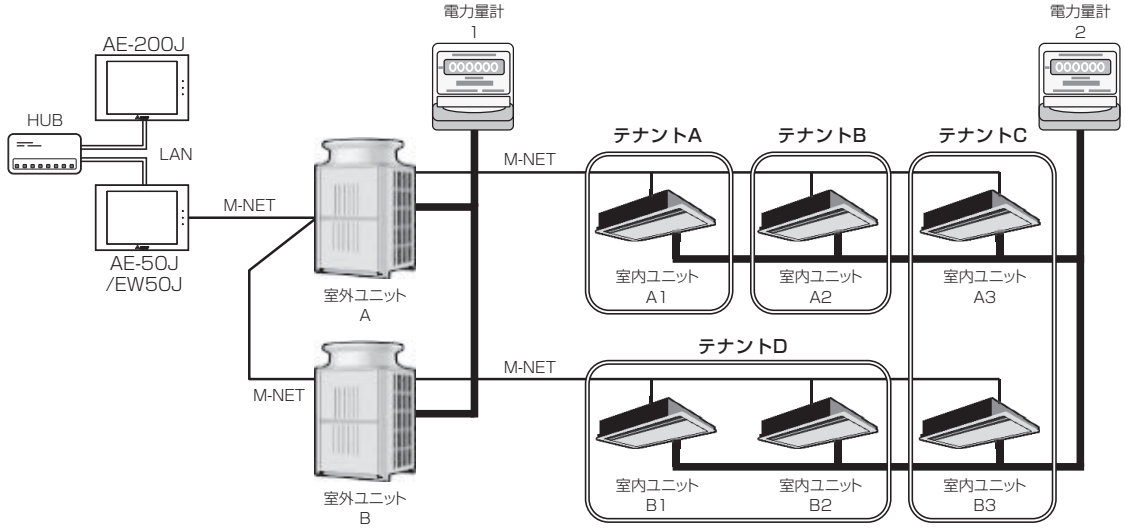
2-1. 電力按分課金支援機能とは

室外ユニットが 1 つのテナントで使用される場合は、各冷媒系統単位の室外ユニット・室内ユニットに電力量計を取付けることにより、テナントごとに消費電力量を把握することができますが、同一冷媒系統内の室内ユニットが複数のテナントにまたがって設置されている場合は、電力量計の値ではテナントごとの消費電力量を算出することができないため、電力按分課金支援機能が必要となります。
電力按分課金支援機能とは、各空調機が使用した電力量を直接計測するものではなく、空調機の運転状況を室内ユニット・室外ユニットの通信内容から判断し、その使用状況に応じて、パルス発信機能付電力量計により入力した電力量を按分する当社独自の電力按分方法です。

(例 1）電力按分課金支援機能が不要な構成例（室外ユニットが同一テナントで使用される場合）

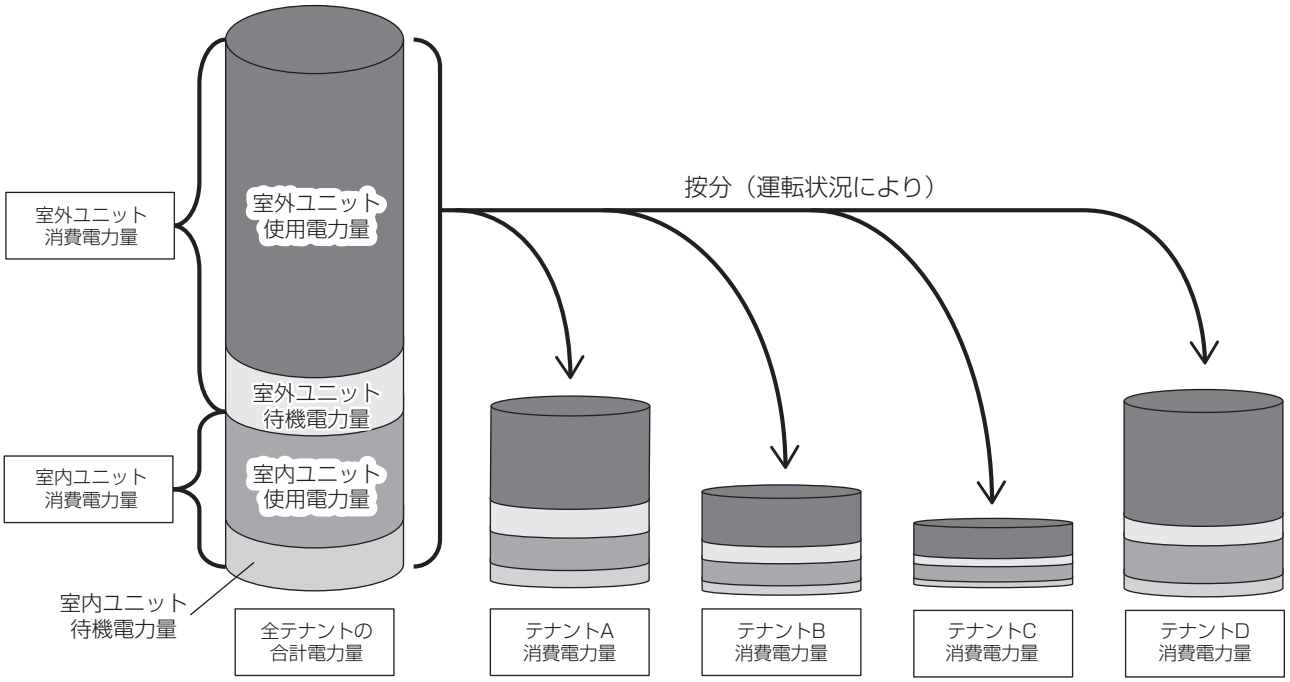


(例 2）電力按分課金支援機能が必要な構成例（同一冷媒系統内の室外ユニットが複数のテナントに設置される場合）



空調機の電力量には、室外ユニットで消費される室外ユニット消費電力量と、室内ユニットで消費される室内ユニット消費電力量があります。また、室外ユニット消費電力量には室外ユニットの使用電力量と室外ユニットの待機電力量、室内ユニット消費電力量には、室内ユニットの使用電力量と室内ユニットの待機電力量があります。
電力按分課金支援機能では、それぞれ使用された電力量を各テナントごとの運転状況と能力に応じて按分することができます。

電力量計量（計量計あり）方式の場合を例に説明します。（電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、待機電力量は按分されません。）



電力按分課金支援機能を行うにはAE-200Jにて按分する方法と統合ソフトTG-2000を使用する２通りの方法があります。本書ではAE-200Jで按分する方法について説明します。
統合管理ソフトTG-2000を使用する場合は、TG-2000の取扱説明書を参照してください。

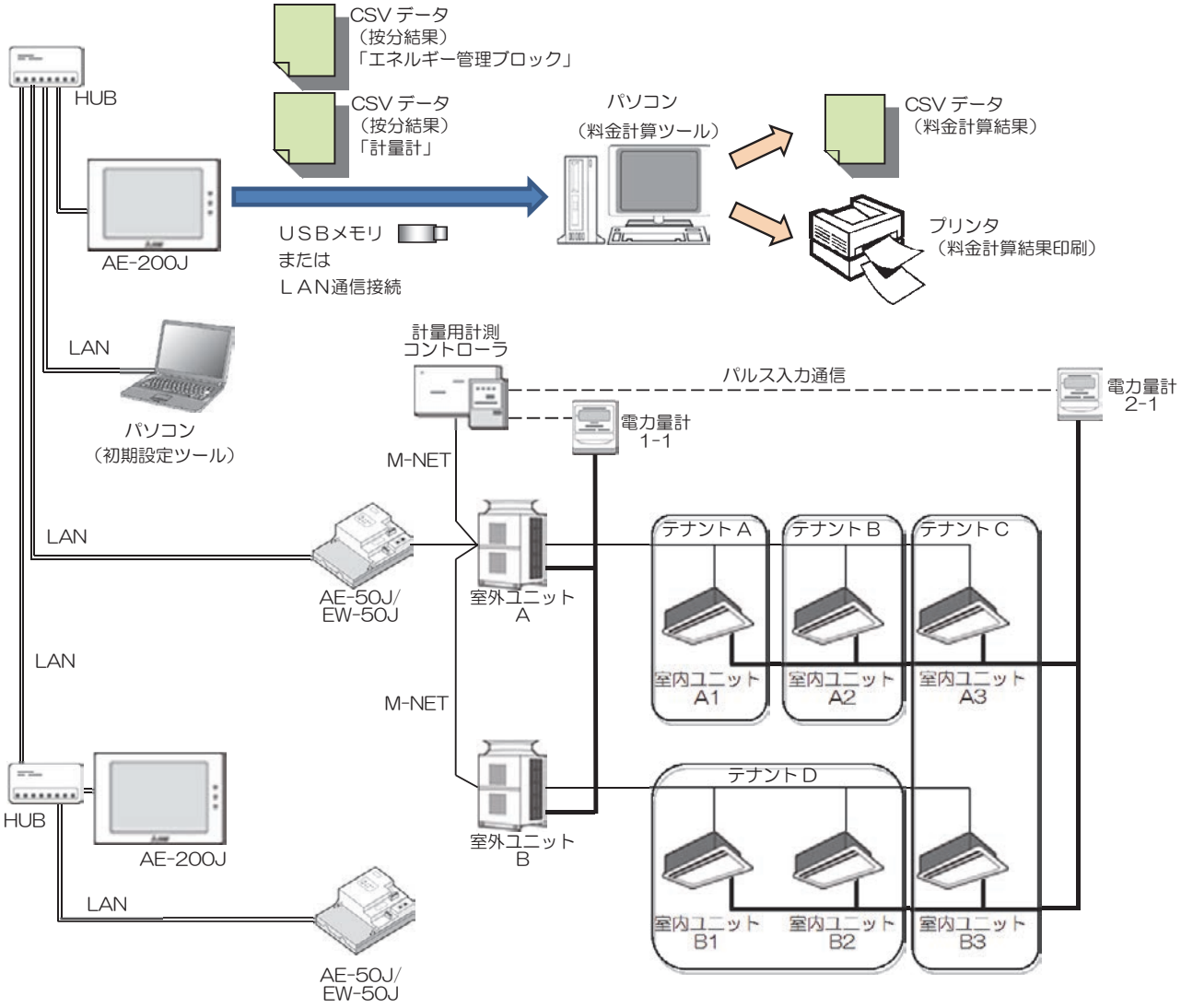
2-2. システム概要

AE-200J/AE-50J/EW-50J は、Web 対応の空調冷熱総合管理システムです。
また、電力按分課金支援機能を使用することで、各空調機ごとの使用電力量を算出することができます。

お知らせ

・電力量計量（計量計あり）方式の場合の例に説明します。

システム構成イメージは以下のとおりです。



電力按分課金支援機能を使用する場合、下記のツールが必要になります。

・**料金計算ツール**
AE-200J の CSV データ（按分結果）を使用して、各テナントごとの電気料金を CSV ファイル出力または印刷を行うために必要なツールです。

・**初期設定ツール**
電力按分課金支援機能の設定時に必要なツールになります。

お知らせ

・集中コントローラを最大 40 台まで接続設定できます。**[AE-200(課金)]**、**[AE-200(M-NET なし)]** に設定された AE-200J は 40 台に含まれません。
パソコン動作環境については「1-4. パソコン環境」を参照してください。
インストールについては「5. ソフトウェアの準備 (インストール)」を参照してください。

2-3. 運用方法選択

下記の図のとおり、課金按分データの収集方法と料金算出方法によって設定方法や出力方法が異なりますのでご注意ください。

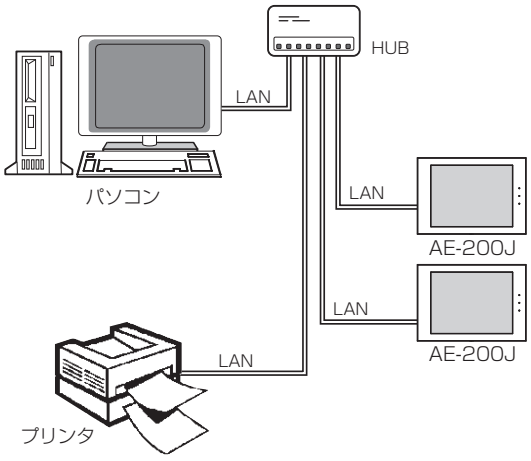
料金計算方法

① 精算日計算（自動出力）　毎月の精算日に、パソコンより自動で料金計算結果を出力する方法です。
※出力する時間帯にパソコンが起動している必要があります。
※１日１回自動で出力することもできます。

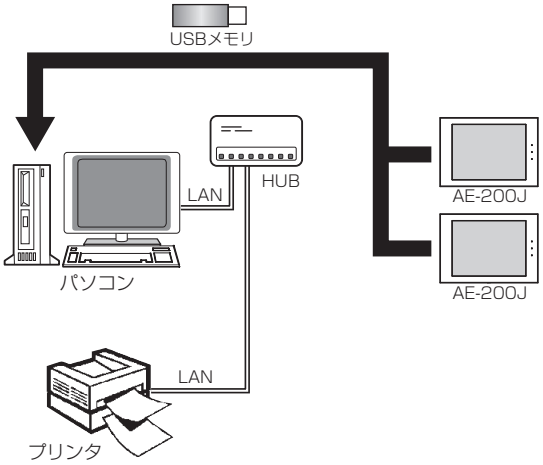
② 期日指定計算　料金計算出力したい期間を指定して出力する方法です。
※出力したい時にパソコンを立ち上げて出力することができます。

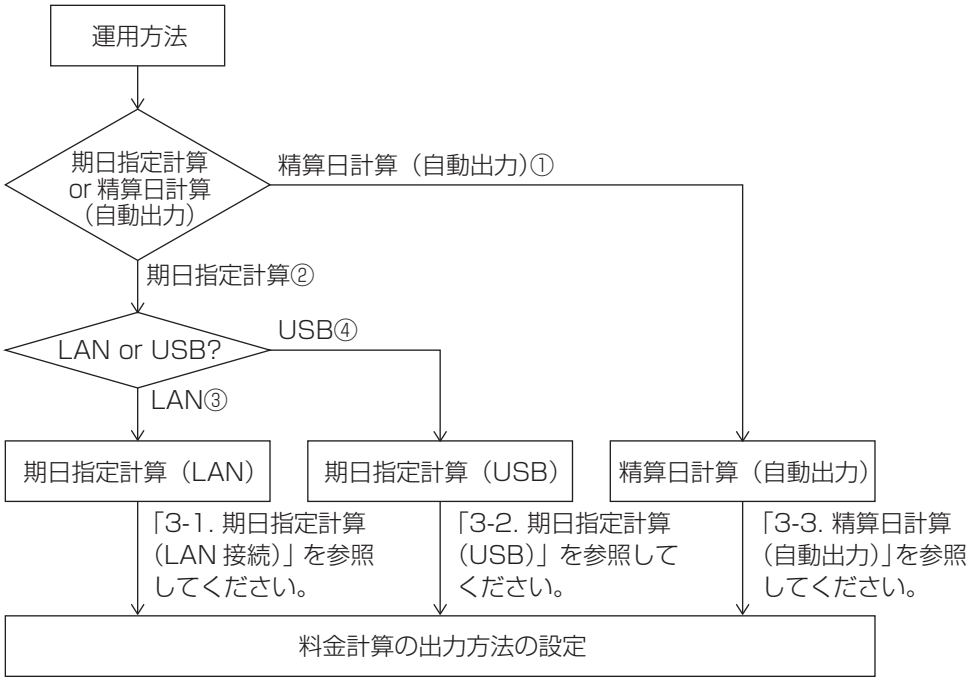
課金按分データの収集方法

③ AE-200J とパソコンを LAN 接続する場合
(下図は AE-50J/EW-50J を省略しています。)



④ AE-200J から USB メモリで CSV データ(按分結果)を取り出す場合
(下図は AE-50J/EW-50J を省略しています。)





2-4. 機能一覧

<table>
<tr><td rowspan="2">電力量計計測方式　※1、※2</td><td colspan="3">電力量計量 (計量計あり) 方式：　計量用計測コントローラを接続して電力量パルスを取り込み、電力量と料金を算出する方式　※5</td></tr>
<tr><td colspan="3">電力量手入力 (計量計なし) 方式：電力量計と接続せずに料金比率を算出する方式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">按分方式</td><td colspan="3">室外ユニットの電力量按分
使用電力量（能力セーブ量 / サーモ ON 時間 /FAN 運転時間)、
待機電力量（按分する / 按分しない）</td></tr>
<tr><td colspan="3">室内ユニットの電力量按分
使用電力量（按分する / 按分しない)、待機電力量（按分する / 按分しない）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">料金算出方式　※3、4</td><td colspan="3">期日指定計算
期日を指定した料金計算結果を CSV 出力または印刷することができます。
AE-200J から電力量データを取得する方法は、LAN 接続と USB メモリによる方法があります。</td></tr>
<tr><td colspan="3">精算日（自動出力）計算
月ごとまたは日ごとの料金計算結果を自動で CSV 出力または印刷することができます。
AE-200J から電力量データを取得する方法は、LAN 接続による方法のみとなります。
月ごとに料金計算結果を出力する場合は精算日を 1 日～ 28 日または月末から選択できます。　※6
精算日計算を使用する場合は月ごとであれば精算日の翌日、日ごとであれば毎日の AM5:00 に料金計算ツールのインストールされたパソコンが起動している必要があります。</td></tr>
<tr><td>待機電力量の請求方式
※2</td><td colspan="3">待機電力量を請求する (テナントへ請求) ／請求しない (ビルオーナー様負担) が選択できます。
→詳細は「6-7-1. 課金設定」を参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷およびCSV出力方式　※7</td><td colspan="3">電力量計量 (計量計あり) 方式</td></tr>
<tr><td></td><td>エネルギー管理ブロック（テナント）ごとの印刷および CSV 出力ができます。
• 按分電力量 (合計)
• 料金単価別 (1 ～ 5) それぞれの按分電力量および電力料金
• 空調料金</td></tr>
<tr><td></td><td>計量計ごとの印刷および CSV 出力ができます。
• 計量値 (合計)
• 単位 (kWh、m^3、MJ、（空白）)
• 料金単価別 (1 ～ 5) それぞれの計量値
• 料金</td></tr>
<tr><td colspan="3">電力量手入力 (計量計なし) 方式</td></tr>
<tr><td></td><td>エネルギー管理ブロック（テナント）ごとの印刷および CSV 出力ができます。
• 室内ユニット料金比率
• 室外ユニット料金比率</td></tr>
</table>

※ 1 AE-200J の電力按分課金支援機能は、PLC（電力量カウントソフト）方式を使用できません。
※ 2 電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、料金比率のみ算出され、電力量料金計算はできません。
※ 3 過去最大 62 日までの料金計算による表示・印刷が可能です。
※ 4 過去の 62 日より前の料金再計算は、USB メモリで定期的に CSV データを保存することにより可能です。
※ 5 電力量計は、AE-200J システムごとに必要です。（AE-200J システムごとに電力按分します。）
※ 6 29 日、30 日、31 日は設定できません。
※ 7 印刷と CSV 出力では表示内容が異なります。

2-5. システム制約

- AE-200J/AE-50J/EW-50J ごとに、電力按分課金支援ライセンスが必要です。
- AE-200J と AE-50J/EW-50J の組合せが必要です。
- 低温機器、給湯機は接続できません。
- AE-200J の M-NET は使用できません。
- AE-200J 内蔵の計量用パルス入力は使用できません。
- 計量用計測コントローラによる電力量計測を推奨します。
  (AE-50J/EW-50J 内蔵の計量用パルス入力を使用した場合、AE-50J/EW-50J の停電中、電源遮断中、ソフトウェアバージョンアップデート中はパルス入力が取得できず、実際の電力量との差異が発生する可能性があります。)
- AE-200J/AE-50J/EW-50J のソフトウェアバージョンを同一にしてください。
- 電力按分課金支援（AE-200J 按分）機能と電力按分課金支援（TG-2000 按分）機能の併用はできません。
- 電力按分課金支援（AE-200J 按分）機能を使用している場合に、統合ソフト TG-2000 を使用する場合は、TG-2000 のバージョンが 6.61 以降であることを確認してください。
- 電力量パルス入力は、AE-200J システムごとに必要です。AE-200J システムをまたぐ設定（按分）はできません。

2-6. 電力按分課金支援機能をご使用時の注意事項

- 本機能は、各空調機が使用した電力量を直接計測するものではなく、空調機の運転状況を室内ユニット・室外ユニットの通信内容から判断し、その使用状況に応じて、パルス発信機能付電力量計により入力した電力量を按分する当社独自の電力按分方法です。

ユーザーの皆様へ（使用許諾契約）

本記載内容はお客様と三菱電機との間の契約書です。
この「空調冷熱総合管理システム AE-200J の電力按分課金支援機能」を使用した場合、
下記の内容に同意し、使用しているものとみなさせていただきます。

- **三菱電機または、その販売会社はいかなる場合にもお客様に、付随的、派生的または特別の損害に対する責任を、たとえ販売者がその種の損害が発生する可能性について通知を受けていたとしても負いません。**
  第三者からのいかなる権利の主張に対する責任も負いません。

お願い

ご採用に当たってはビルオーナー様とテナントの個別契約で「空調料金は空調機の運転状況を勘案した按分計算による使用料を徴収する（故障時の臨時対応も含む）」の内容を、合意、または協定いただき、契約に盛り込んでください。

- **空調使用電力量を推測するシステムです。したがって取引証明用として使用できません。**
  また、電力量計に関してもパルス変換によりカウントしており、取引証明用には使用できません。
- 各空調機の使用電力量を電力供給箇所で直接計測する（または、相当する）システムではありません。
- 空調機室内ユニットの運転状態による按分方式のため、室外ユニットの機種構成および運転状態により、室内ユニットの使用時間が同一でも使用電力量が異なる場合があります。
  (空調機 1 台ごとに電力量計を設置した場合と比較し、按分電力量は異なる場合があります。)
- 空調機は停止中でも通電されており、空調機を使用しなくても待機電力として按分されます。
- **電力量や水道量、ガス量などはパルス変換により取り込んでおり、性能や精度などは計量計に依存しますので、いかなる責任も負いません。**
- 停電等により、空調機は稼動しているが、AE-200J/AE-50J/EW-50J および計量用計測コントローラの電源が遮断された場合、正常に電力按分できません。
- 料金算出はテナント（エネルギー管理ブロック）ごとに単価別に表示桁で切り捨て処理となるため、総電力量の料金と異なる場合があります。
- 時刻にずれが発生すると按分処理の結果に差異が発生するため、AE-200J 本体画面で定期的な時刻合わせを実施してください。(AE-50J/EW-50J で時刻合わせをしても、AE-200J の時刻で上書きされます。)
- 停電や機器の故障などにより、正常に電力按分が行われなくても、いかなる責任は負いません。

3. 使用方法（基本）

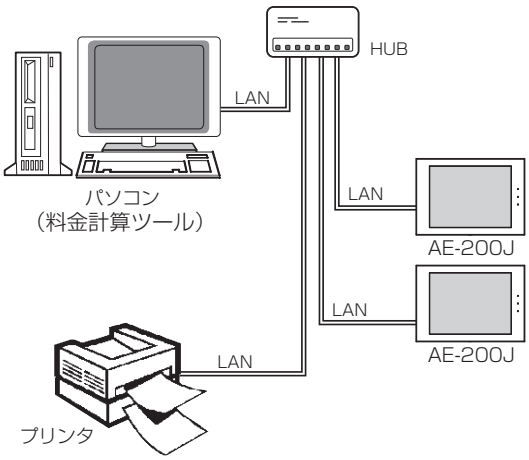
3-1. 期日指定計算（LAN 接続）

パソコンと AE-200J を LAN 接続した場合の期日指定計算について説明します。
AE-200J とパソコン、プリンタ（印刷をする場合）を LAN で接続する必要があります。

3-1-1. パソコンの準備

パソコン（料金計算ツール）と AE-200J を LAN 接続することにより、料金計算結果を「印刷」と「CSV 出力」ができます。

- 出力方法を「印刷」にしている場合はプリンタの設定が必要です。



※上図は AE-50J/EW-50J を省略しています。

手順

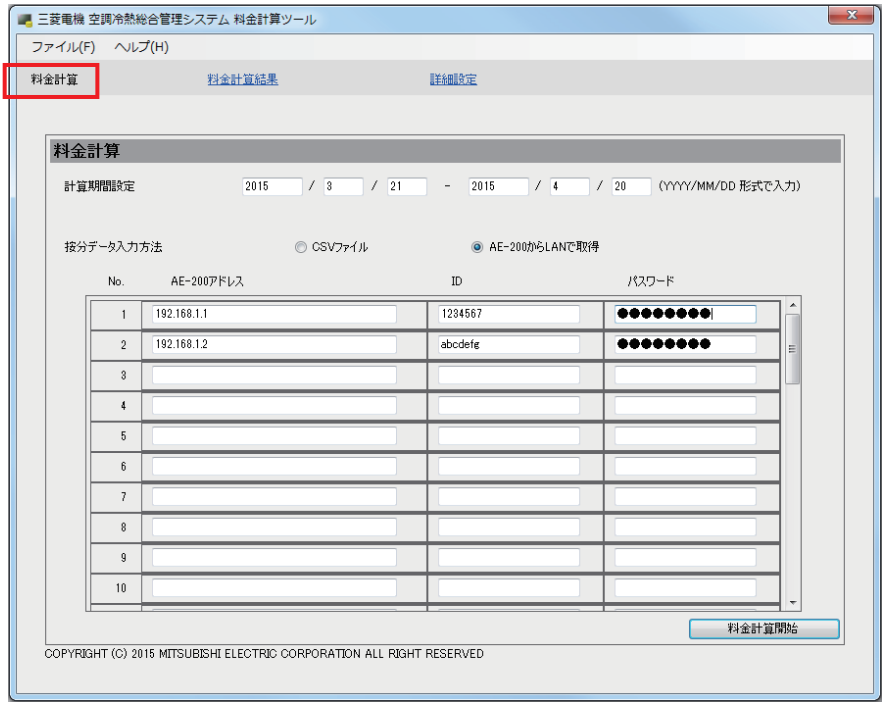
1. スタートメニューの **[デバイスとプリンター]** をクリックします。
2. 印刷に使用するプリンターに [✓] が入っていることを確認してください。
   別のプリンターに [✓] が入っている場合は、印刷に使用するプリンターを右クリックし、**[通常使うプリンターに設定]** をクリックします。

3-1-2. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. **[料金計算]** を選択する。

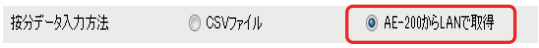


3.「計算期間設定」で、料金計算したい計算期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

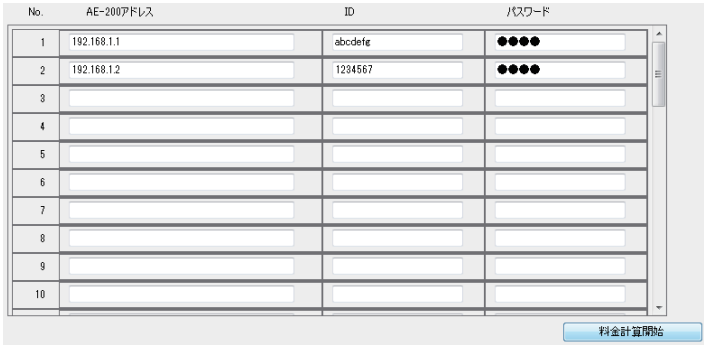
お知らせ

- **料金計算ツールでの算出は、AE-200J 本体が保持しているデータ（過去最大 62 日）より短い期間での出力となります。**

4. 基本設定画面の按分データ入力方法で **[AE-200 から LAN で取得]** を選択する。



保存されます。



5. AE-200J アドレス入力欄
   - AE-200J の IP アドレスを入力する。
   - AE-200J を複数台利用している場合は、全ての AE-200J の IP アドレスを入力する。
6. ID・パスワード入力欄
   - 料金計算したい AE-200J で設定された ID とパスワードを入力する。
7. **[料金計算開始]** をクリックする。
   料金計算結果が表示されます。(「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。)

お知らせ

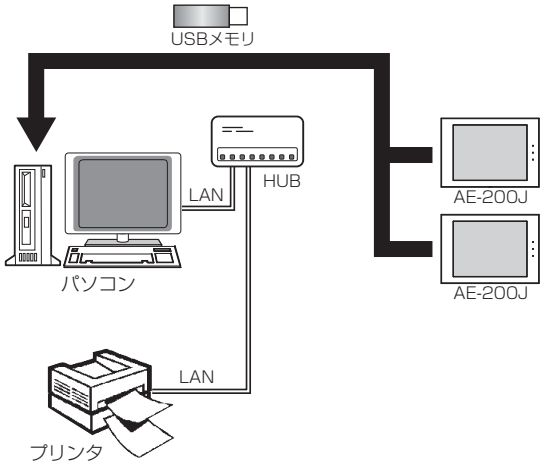
- 手順４～６は変更がなければ、設定が残っているので２回目以降は設定する必要はありません。
- ID とパスワードは AE-200J 本体の管理者ユーザーの ID とパスワードを入力してください。
- AE-200J システム内の AE-50J/EW-50J は登録不要です。

3-2. 期日指定計算（USB）

AE-200J から CSV データ（按分結果）を USB メモリにて取り出した場合の期日指定計算について説明します。

3-2-1. パソコンの準備

CSV データ（按分結果）を AE-200J より USB メモリにて取り出し、パソコン（料金計算ツール）で計算し、料金計算結果を「印刷」と「CSV 出力」ができます。



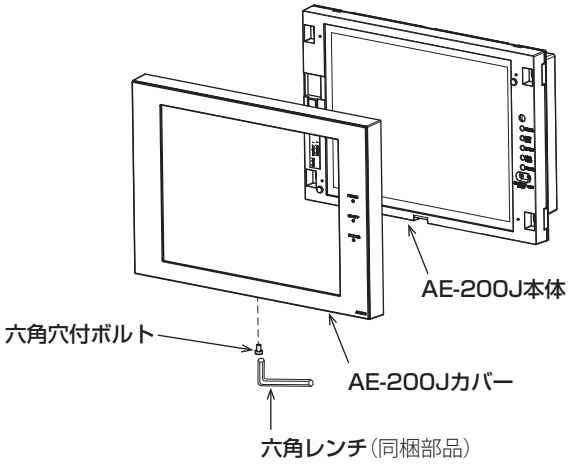
3-2-2. USBメモリによる取得

[1] 電力量計量（計量計あり）方式　CSV データ（按分結果）

料金計算には「エネルギー管理ブロック」データと「計量計」データが必要です。
これらのデータを AE-200J から USB メモリに出力する方法を説明します。

手順

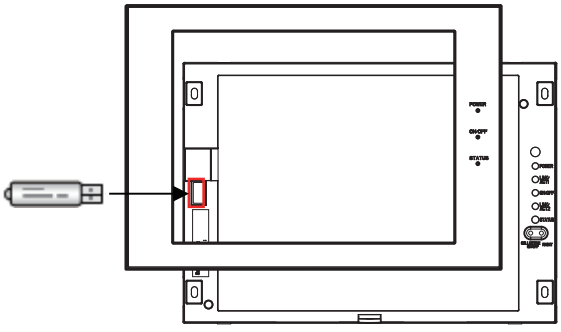
1. 六角レンチを使用して、本体下面にある六角穴付きボルトを外し、カバーを外す。



お知らせ

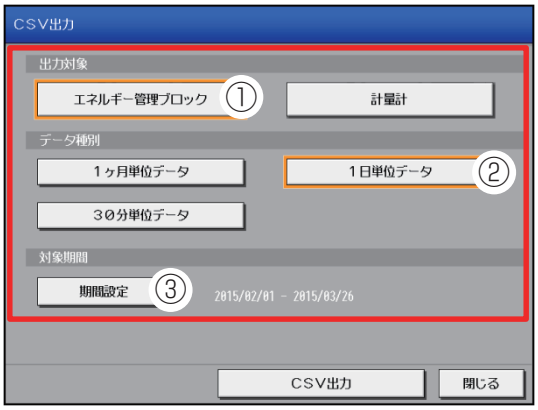
- 別売品の USB ドア付カバー (PAC-YE72CWL）をご使用の場合は、AE-200J カバーを外す必要がありません。USB ポートカバーを開けてください。

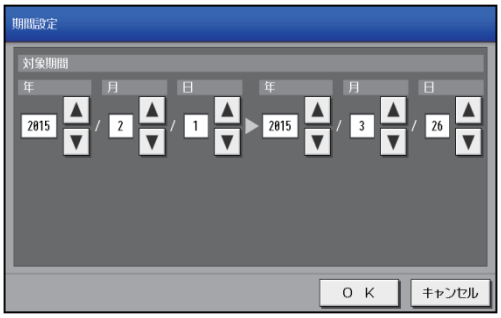
2. USB メモリを接続する。



3. AE-200J 本体液晶画面で、**[エネルギー管理]** − **[エネルギー管理表]** をタッチする。

4. **[CSV 出力]** をタッチして、CSV 出力画面を表示し、①〜③の操作を行う。
   ①出力対象
   ・**[エネルギー管理ブロック]** を選択する。
   ②データ種別
   ・**[1 日単位データ]** を選択する。
   ③対象期間
   ・**[期間設定]** をタッチし、過去 62 日分の期間を選択する。





5. **[CSV 出力]** をタッチする。
6. 「データのコピーが完了しました」が表示すると、**[OK]** をタッチして「CSV 出力画面」に戻る。
7. 手順４の①出力対象 **[エネルギー管理ブロック]** を **[計量計]** に変更し **[CSV 出力]** をタッチする。

お知らせ

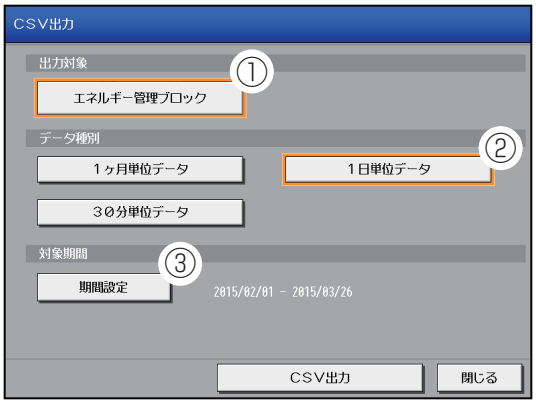
- 料金計算を実施する場合は、必ず **[1 日単位データ]** を選択してください。
  (**[1 ヶ月単位データ][30 分単位データ]** は選択しないでください)
- AE-200J 本体には、過去 62 日分の 1 日単位データを保持しています。
- 料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ（按分結果）の期間内で計算できます。
  例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日〜 04 月 30 日の CSV データ（按分結果）を取得した場合は、
  料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日〜 04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
  よって、CSV データ（按分結果）の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
- 62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

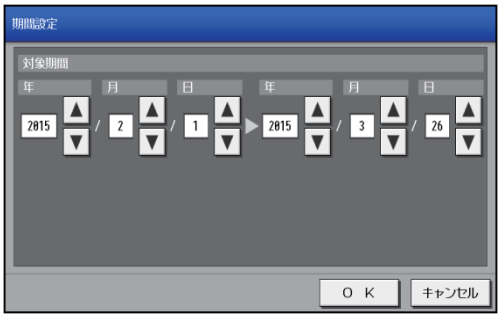
[2] 電力量手入力（計量計なし）方式

電力量計が接続されていない場合でも、「エネルギー管理ブロック」データを用いることで、料金比率を算出することができます。

手順

1. ～ 3. は［1］電力量計量（計量計あり）方式を参照してください。
4. **[CSV 出力]** をタッチして、CSV 出力画面を表示し、①～③の操作を行う。
   ①出力対象
   ・**[エネルギー管理ブロック]** を選択する。
   ②データ種別
   ・**[1 日単位データ]** を選択する。
   ③対象期間
   ・**[期間設定]** をタッチし、過去 62 日分の期間を選択する。





5. **[CSV 出力]** をタッチする。

お知らせ

- 料金計算を実施する場合は、必ず **[1 日単位データ]** を選択してください。
  (**[1 ヶ月単位データ][30 分単位データ]** は選択しないでください。)
- AE-200J 本体には、過去 62 日分の 1 日単位データを保持しています。
- 料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ（按分結果）の期間内で計算できます。
  例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日～ 04 月 30 日の CSV データ（按分結果）を取得した場合は、
  料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日～ 04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
  よって、CSV データ（按分結果）の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
- 62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

3-2-3. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

[1] 電力量計量（計量計あり）方式

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. **[料金計算]** を選択する。

計量計接続「あり」の場合に表示されます。

3. 「計算期間設定」で、料金計算したい計算期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

お知らせ

- 料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ（按分結果）の期間内で計算できます。
  例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日～ 04 月 30 日の CSV データ（按分結果）を取得した場合は、
  料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日～ 04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
  よって、CSV データ（按分結果）の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
- 62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

4. 料金計算画面の、按分データ入力方法で **[CSV ファイル]** を選択する。

5. CSV ファイル (空調機データ) の **[参照]** をクリックし、AE-200J 本体から取得した CSV データ (按分結果) の「エネルギー管理ブロック」のデータファイルを選択して **[開く]** をクリックする。
   - CSV データ（按分結果）のファイル名は以下のとおりです。

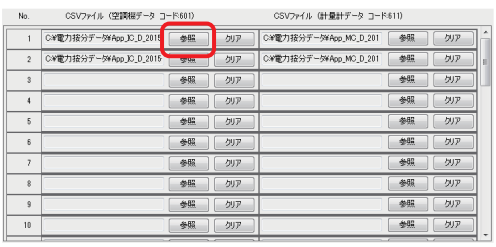
■エネルギー管理ブロック
- 1 日単位データ："App"_"IC"_D_**[開始の年]**-**[開始の月]**-**[開始の日]**_**[終了の年]**-**[終了の月]**-**[終了の日]**.csv

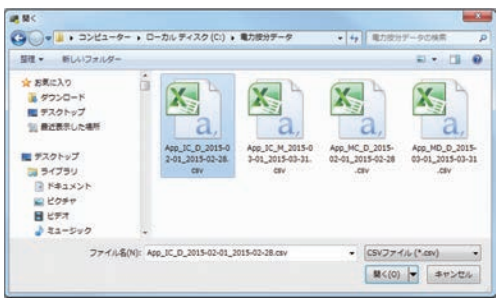
■計量計
- 1 日単位データ："App"_"MC"_D_**[開始の年]**-**[開始の月]**-**[開始の日]**_**[終了の年]**-**[終了の月]**-**[終了の日]**.csv

例：2015 年 03 月 01 日から 2015 年 04 月 30 日までの対象期間で、1 日単位データの場合
エネルギー管理ブロックデータ：App_IC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv
計量計データ　　：App_MC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv

お知らせ

- ファイル名の IC はエネルギー管理ブロック、MC は計量用計測コントローラ、D は 1 日単位データを示します。





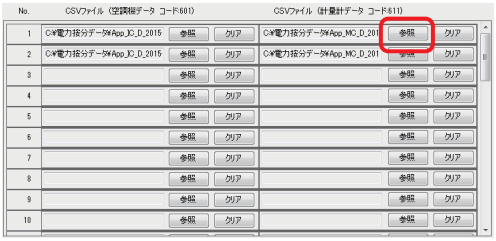
CSV ファイル（空調機データ）の選択例
（USB 出力 CSV ファイル [App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv]）

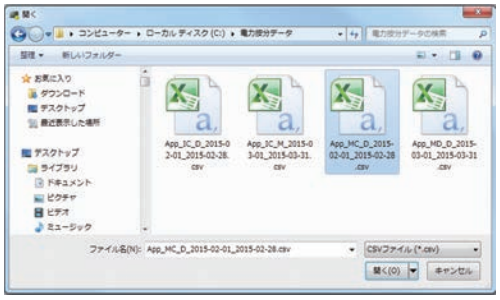
・CSV データ（按分結果）は、USB メモリのルートフォルダに ¥(AE-200 の製造番号）¥"ApportionData"¥ のフォルダを作成し、このフォルダ内に CSV ファイルを保存されますので、パソコンにバックアップとして保存してください。
製造番号は本体液晶画面右上の をタッチして、ログイン画面の左下に表示されます。

6. CSV ファイル (計量計データ) の **[参照]** をクリックし、AE-200J 本体から取得した CSV データ（按分結果) の「計量計」のデータファイルを選択して **[開く]** をクリックする。

お知らせ

・USB メモリの保存先とファイル名については、手順5 **お知らせ** を参照してください。





CSV ファイル（計量計データ）の選択例
（USB 出力 CSV ファイル [App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv]）

お知らせ

- AE-200J　1 台ごとに「エネルギー管理ブロック (テナント)」データと「計量計」データの各 1 ファイルを登録してください。
- 各 No. には必ず同一の AE-200J から出力した「エネルギー管理ブロック（テナント)」データと「計量計」データを登録してください。
- AE-200J が 2 台の場合は、各 2 ファイルを出力順に登録します。
- 同じ AE-200J から出力された CSV ファイルを複数個登録しないでください。複数登録した場合は、料金が高く算出されることがあります。
- AE-200J が複数ある場合は、登録 No. 順に料金出力されます。

7. [料金計算開始] をクリックする。
料金計算結果が表示されます。（「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。）

[2] 電力量手入力（計量計なし）方式

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. **[料金計算]** を選択する。

3. **[計算期間設定]** で、料金計算したい計算期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

お知らせ

- 料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ（按分結果）の期間内で計算できます。
  例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日～ 04 月 30 日の CSV データ（按分結果）を取得した場合は、
  料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日～ 04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
  よって、CSV データ（按分結果）の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
- 62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

4. 料金計算画面の、按分データ入力方法で **[CSV ファイル]** を選択する。

5. CSV ファイル (空調機データ) の **[参照]** をクリックし、AE-200J 本体から取得した CSV データ (按分結果) の「エネルギー管理ブロック」のデータファイルを選択して **[開く]** をクリックする。
   - CSV データ（按分結果）のファイル名は以下のとおりです。

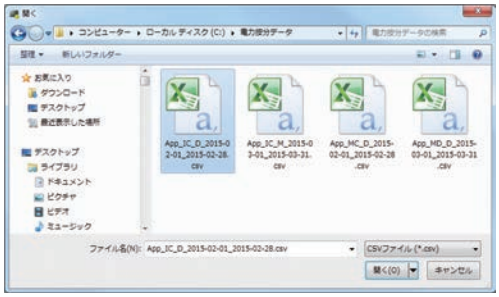
■エネルギー管理ブロック

- 1 日単位データ："App"_"IC"_D_**[開始の年]**-**[開始の月]**-**[開始の日]**_**[終了の年]**-**[終了の月]**-**[終了の日]**.csv

例：2015 年 03 月 01 日から 2015 年 04 月 30 日までの対象期間で、1 日単位データの場合
エネルギー管理ブロックデータ：App_IC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv

お知らせ

- ファイル名の IC はエネルギー管理ブロック、MC は計量用計測コントローラ、D は 1 日単位データを示します。



CSV ファイル（空調機データ）の選択例
（USB 出力 CSV ファイル [App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv]）

お知らせ

- CSV データ（按分結果）は、USB メモリのルートフォルダに ¥(AE-200 の製造番号）¥"ApportionData"¥ のフォルダを作成し、このフォルダ内に CSV ファイルを保存されますので、パソコンにバックアップとして保存してください。
  製造番号は本体液晶画面右上の をタッチして、ログイン画面の左下に表示されます。

- AE-200J　1 台ごとに「エネルギー管理ブロック (テナント)」データを 1 ファイル登録してください。
- AE-200J が 2 台の場合は、各 2 ファイルを出力順に登録します。
- 同じ AE-200J から出力された CSV ファイルを複数個登録しないでください。複数登録した場合は、料金比率が正しく算出されません。
- AE-200J が複数ある場合は、登録 No. 順に料金比率が算出されます。

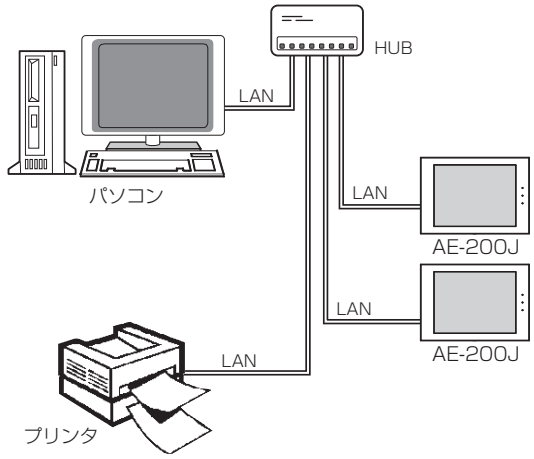
6. **[料金計算開始]** をクリックする。
   料金比率が表示されます。（「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。）

3-3. 精算日計算（自動出力）

パソコンと AE-200J を LAN 接続した場合の精算日計算（自動出力）について説明します。
AE-200J とパソコン、プリンタ（印刷する場合）を LAN で接続する必要があります。

3-3-1. パソコンの準備

パソコン（料金計算ツール）と AE-200J を LAN 接続することにより料金計算結果を自動で「印刷」と「CSV 出力」ができます。
プリンタで印刷する場合はプリンタとの LAN 接続が必要です。



※上図は AE-50J/EW-50J を省略しています。

精算日計算（自動出力）では、LAN 接続した場合のみ使用可能です。
料金計算ツールの「精算日設定」で設定された翌日の AM5:00 に自動出力します。また、「日毎」を設定した場合は毎日 AM5:00 に前日分を自動出力します。
料金計算結果の出力は「印刷」「CSV 出力」またはその両方が設定できます。

以下の条件を満たしているパソコン・プリンタを準備してください。
- 自動出力を行う時刻（AM5:00）にパソコンの電源が ON であること
- パソコンにログイン設定をしている場合は、自動出力を行う時刻ではログイン後の状態であること
- 自動出力を行う時刻にパソコンがスタンバイ状態やスリープ状態でないこと
- 自動出力を行う時刻に料金計算ツールが、手動で起動されていないこと
- パソコンに AE-200J が LAN 接続されていること
- 出力方法を「印刷」にしている場合は、自動出力を行う時刻（AM5:00）にプリンタが起動していること
- 出力方法を「印刷」にしている場合は、Windows のプリンタ設定で「標準で使用するプリンタ」の設定があること ※

※標準で使用するプリンタの設定方法は下記のとおりです。

手順

1. スタートメニューの **[デバイスとプリンター]** をクリックします。
2. 印刷に使用するプリンターに **[✓]** が入っていることを確認してください。
   別のプリンターに **[✓]** が入っている場合は、印刷に使用するプリンターを右クリックし、**[通常使うプリンターに設定]** をクリックします。

3-3-2. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

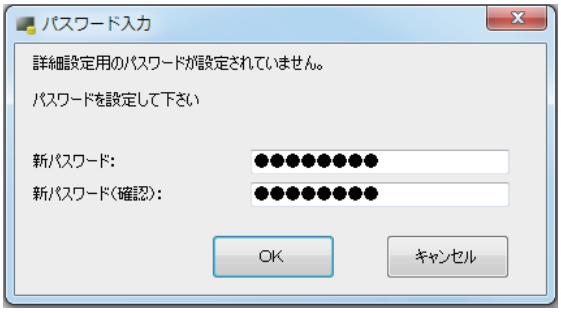
手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. **[詳細設定]** を選択する。

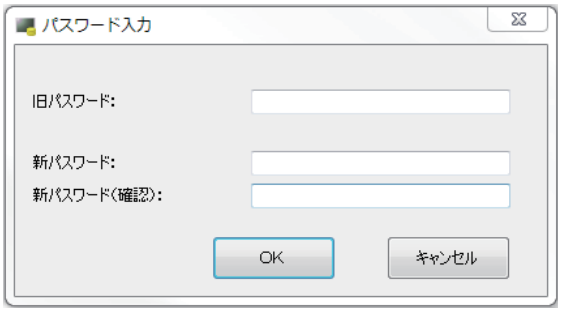
3. パスワードを入力する。

お知らせ

- 初回のみ「パスワード初回入力」が表示されますので、パスワードを2箇所に入力してください。（パスワードは忘れないようメモ等をしてください。）
- パスワードを忘れた場合は販売店までご連絡ください。
- パスワードを変更する場合は、詳細設定画面の右上にある **[設定パスワード変更]** をクリックして「パスワード変更」を開き、旧パスワードと新パスワードを入力してください。
- パスワードの文字数は 8 文字以上 20 文字以下です。（次の文字は使用できません。＜＞&”‘（半角））



パスワード初回入力



パスワード変更入力

4. 詳細設定画面で「自動出力設定」を行う。
   設定方法の詳細は「3-3-3. 料金計算ツールの設定」を参照してください。

5. **[確定]** をクリックする。(変更内容が反映されます)

3-3-3. 料金計算ツールの設定

(1) 印刷設定

手順

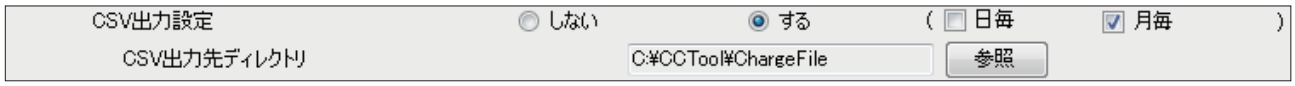
1. 印刷設定で、**[する]** を選択する。
2. **[日毎][月毎]** またはその両方にチェックを入れる。（上記設定例は、印刷設定の「月毎」を設定されている場合）

お知らせ

パソコンとプリンタを以下の動作環境にしてください。

・精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
・自動出力を行う時刻（AM5:00）にパソコンの電源が ON であること
・パソコンにログイン設定をしている場合は、自動出力を行う時刻ではログイン後の状態であること
・自動出力を行う時刻にパソコンがスタンバイ状態やスリープ状態でないこと
・自動出力を行う時刻に料金計算ツールが、手動で起動されていないこと
・パソコンに AE-200J が LAN 接続されていること
・出力方法を「印刷」にしている場合は、自動出力を行う時刻（AM5:00）にプリンタが起動していること
・出力方法を「印刷」にしている場合は、Windows のプリンタ設定で「標準で使用するプリンタ」の設定があること

(2) CSV 出力設定



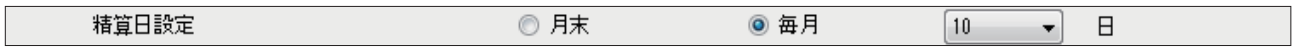
手順

1. 計算結果データ保存の為、CSV 出力設定で、**[する]** を選択する。
2. **[日毎][月毎]** またはその両方にチェックを入れる。
3. CSV 出力先ディレクトリで **[参照]** をクリックし、出力したいフォルダ先を選択する。
   （上記設定例は、印刷設定の「月毎」を設定されている場合）

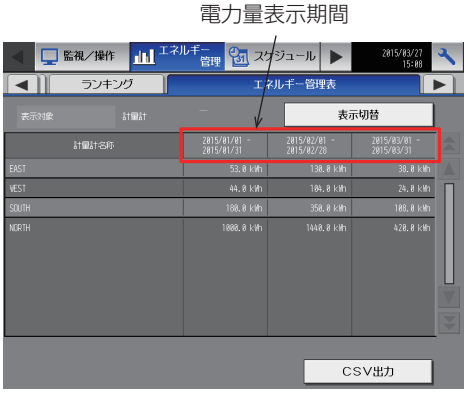
お知らせ

- 精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
- CSV 出力設定 **[する]** を選択すると、自動出力を行う時刻（AM5:00）に料金計算ツールが起動します。
- CSVファイルの出力先は、設定した CSV出力先ディレクトリに精算日の年月「¥" 年 "¥" 月 "¥」を加えたディレクトリに出力されます。
  出力されるファイルの日付は精算日の年月（日）での出力となります。
  例：2015 年 2 月 1 日 AM5：00（精算日翌日）に出力の場合
  → 「C:¥CCTool¥ChargeFile¥2015¥01¥」となります。
- 「エネルギー管理ブロック (テナント) 毎」の料金計算結果のファイル名は次のとおりです。
  日毎 「**[年][月][日]**"B".csv」（例：2015 年 2 月 1 日に出力 → 「20150131B.csv」で出力される。）
  月毎 「**[年][月]**"B".csv」（例：2015 年 2 月 1 日に出力 → 「201501B.csv」で出力される。）
- 「計量計毎」の料金計算結果のファイル名は次のとおりです。
  日毎 「**[年][月][日]**"W".csv」（例：2015 年 2 月 1 日に出力 → 「20150131W.csv」で出力される。）
  月毎 「**[年][月]**"W".csv」（例：2015 年 2 月 1 日に出力 → 「201501W.csv」で出力される。）

(3) 精算日設定（自動出力）



「精算日設定」で「月毎」の自動出力を行う日を設定します。
本設定では、料金計算結果を出力するための精算日を設定します。
AE-200J に設定されている「エネルギー管理表」の精算日と合わせてください。



手順

1. AE-200J 本体液晶画面の **[エネルギー管理]** ― **[エネルギー管理表]** 画面を開き、電力量表示期間を確認する。
2. 電力量表示期間より、精算日を設定する。
   例 1．「2015/03/01 - 2015/03/31」であれば、最終日が月末ですので、精算日は「月末」を選択してください。
   例 2．「2015/03/11 - 2015/04/10」であれば、精算日は「毎月（10 日）」を選択してください。

・月末を選択する場合

月末を選択する場合、1 か月分の料金計算結果が翌月 1 日に出力されます。

例えば、2015 年 2 月 1 日 AM5:00 に出力されるのは、

2015 年 1 月 1 日から 31 日までの料金計算結果となります。

・毎月任意の日を選択する場合

毎月を選択する場合、「日」の表示のプルダウンを押し、出力したい日を 1 ～ 28 の中から選択します。

日を選択すると選択した日の翌日に、選択した日から 1 か月前までの料金計算結果が出力されます。

例えば、2015 年 4 月 1 日に、毎月 25 日を選択すると、

次回の出力は 2015 年 4 月 26 日 AM5:00 に、

2015 年 3 月 26 日～ 2015 年 4 月 25 日までの料金計算結果が出力されます。

お知らせ

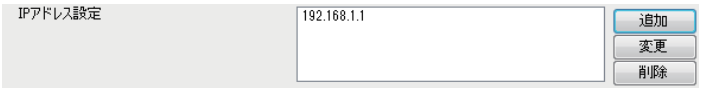
- 精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
- 印刷設定と CSV 出力設定が両方 **[する]** の場合、印刷と CSV 出力の精算日を個別に設定することはできません。
- 29 日、30 日、31 日は精算日の指定日として指定することができません。
- 「精算日」には、AE-200J 本体で表示のエネルギー管理表（月別表示）＜初期設定ツールにて設定＞と、精算日計算（自動出力）＜料金計算ツールにて設定＞の 2 種類があります。

(4) IP アドレス設定

「エネルギー管理」データと「計量計」データを、自動で AE-200J から取得するための、IP アドレスの設定について説明します。

手順

1. IP アドレス設定の **[追加]** をクリックします。



2. 「自動取得先 AE-200 情報入力」画面が表示されるので、料金計算する AE-200J の IP アドレスと管理者ユーザーの ID・パスワードを入力してください。
3. **[通信確認]** をクリックして、AE-200J と通信できていることを確認する。
4. **[OK]** をクリックし、IP アドレス設定欄に追加されている事を確認してください。
5. 料金計算する AE-200J が複数台ある場合は、上記の手順 1 ～4を繰り返し、料金計算する AE-200J の台数分を登録してください。

お知らせ

- 精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
- 料金計算ツールの **[詳細設定]** －「同一名称のエネルギー管理ブロック統合」で **[統合しない]** が選択されたときは、エネルギー管理ブロック名称を区別するために、「AE-200 No.X ＋エネルギー管理ブロック名称」で表示されます。
  （出力される AE-200J の No. とは、本 IP アドレス設定された順番に No.1 からとなります。）
  （「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。）
  （例：No.1 の AE-200J に接続されたエネルギー管理ブロック名称が「1F テナント」の場合→「AE-200 No.1 1F テナント」）
- 計量計ごとの料金計算結果の計量計名称は、「統合する」の場合でも統合されません。
- 計量計ごとの料金計算結果は、同一名称のエネルギー管理ブロック統合の設定に関わらず、「AE-200 No.X ＋計量計名称」で表示されます。
- 設定を変更する場合は、IP アドレスを選択して **[変更]** をクリックしてください。

3-4. 料金計算結果の表示

「3-2-3. 料金計算ツールの設定方法」完了後に、料金計算画面にて **[料金計算開始]** をクリックすると、料金計算結果画面が表示されます。

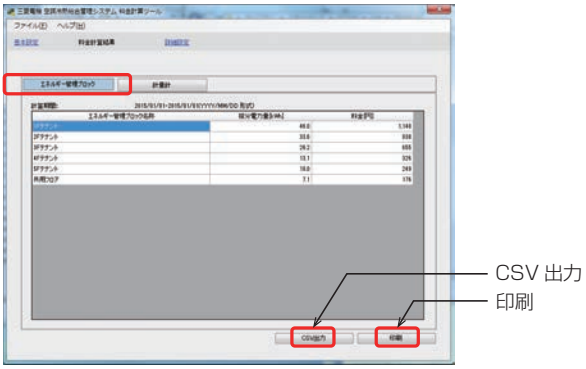
3-4-1. 電力量計量（計量計あり）方式

電力量計量（計量計あり）方式の場合は、エネルギー管理ブロックごとと計量計ごとの 2 通りの料金計算結果を表示します。

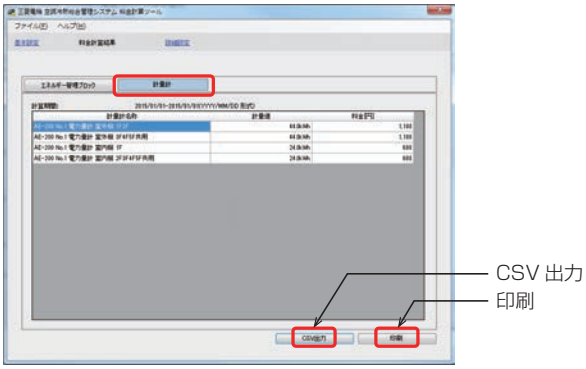
手順

1. **[エネルギー管理ブロック]** または **[計量計]** をクリックする。

[エネルギー管理ブロック] を選択した場合



[計量計] を選択した場合



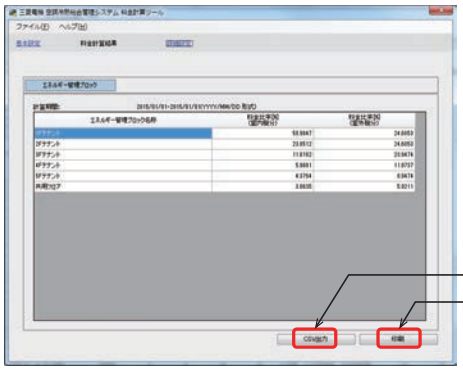
2. **[印刷]** または **[CSV 出力]** をクリックする。
   - 印刷出力する場合
     料金計算結果を印刷したい場合は、**[印刷]** をクリックする。
     「標準で使用するプリンタ」設定がされているプリンタに印刷されます。
   - CSV 出力する場合
     料金計算結果を CSV で出力したい場合は、**[CSV 出力]** をクリックする。
     出力先選択ダイアログが表示されますので、任意のファイル名で保存してください。

お願い

- 印刷した場合は、同時に CSV 出力による計算結果のバックアップをおすすめします。

3-4-2. 電力量手入力（計量計なし）方式

電力量手入力の場合は、エネルギー管理ブロックごとの料金比率を表示します。



手順

1. **[印刷]** または **[CSV 出力]** をクリックする。
   - 印刷出力する場合
     料金比率を印刷したい場合は、**[印刷]** をクリックする。
     「標準で使用するプリンタ」設定がされているプリンタに印刷されます。
   - CSV 出力する場合
     料金比率を CSV で出力したい場合は、**[CSV 出力]** をクリックする。
     出力先選択ダイアログが表示されますので、任意のファイル名で保存してください。

お願い

- 印刷した場合は、同時に CSV 出力による料金比率のバックアップをおすすめします。

3-5. 料金計算結果の印刷

3-5-1. 電力量計量（計量計あり）方式

電力量計量（計量計あり）方式の場合、料金計算結果は「エネルギー管理ブロックごと」と「計量計ごと」の２種類が印刷されます。

[1] エネルギー管理ブロックごとの印刷例

（料金計算結果の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

空調料金　エネルギー管理ブロック（料金単価別）
精算期間：2015/04/01-2015/04/30

エネルギー管理ブロック名称	按分電力量 [kWh]	項目 料金単価	[kWh]	[円]	空調料金合計 [円]
1Fテナント	46.0	料金単価1	46.0	1,148	1,148
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
2Fテナント	33.6	料金単価1	33.6	838	838
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
3Fテナント	26.2	料金単価1	26.2	655	655
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
4Fテナント	13.1	料金単価1	13.1	326	326
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
5Fテナント	10.0	料金単価1	10.0	249	249
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
共用フロア	7.1	料金単価1	7.1	176	176
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	

[2] 計量計ごとの印刷例

（料金計算結果の表示順序：番号順）

空調料金　計量計（料金単価別）
精算期間：2015/04/01-2015/04/30

計量計名称	計量値	単位	項目 料金単価		空調料金合計 [円]
AE-200 No.1	44.0	kWh	料金単価1	44.0	1,100
電力量計 室外機 1F2F			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1	44.0	kWh	料金単価1	44.0	1,100
電力量計 室外機 3F4F5F共用			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1	24.0	kWh	料金単価1	24.0	600
電力量計 室内機 1F			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1	24.0	kWh	料金単価1	24.0	600
電力量計 室内機 2F3F4F5F共用			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	

3-5-2. 電力量手入力（計量計なし）方式

電力量手入力（計量計なし）方式の場合、料金比率は「エネルギー管理ブロックごと」のみが印刷されます。

・ エネルギー管理ブロックごとの印刷例
（料金比率の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

空調料金　エネルギー管理ブロック（料金単価別）
精算期間：2015/04/01-2015/04/30

エネルギー管理ブロック名称	按分パラメータ（総合計）	項目 料金単価	按分パラメータ（室内機分）	料金比率[%]（室内機分）	按分パラメータ（室外機分）	料金比率[%]（室外機分）
1Fテナント	42.0	料金単価1	23.3	50.9847	18.7	24.6053
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
2Fテナント	29.6	料金単価1	10.9	23.8512	18.7	24.6053
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
3Fテナント	23.6	料金単価1	5.4	11.8162	18.2	23.9474
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
4Fテナント	11.8	料金単価1	2.7	5.9081	18.2	11.9737
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
5Fテナント	8.8	料金単価1	2.0	4.3764	6.8	8.9474
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
共用フロア	5.9	料金単価1	1.4	3.0635	4.5	5.9211
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	

※ 電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、電力量ではなく料金比率［%］が出力されます。
【「料金比率［%］(室内機分)】と【料金比率［%］(室外機分)】の合計はそれぞれ 100%となります。
(AE-200J が複数接続されている場合は、全 AE-200J の合計が 100%となります。)

※ 室外機用と室内機用の電力量を個別に計量している場合は、室外機用の電力量と【料金比率［%］(室外機按分)】室内機用の電力量と【料金比率［%］(室内機按分)】により算出してください。
室外機用、もしくは、室内外機用に電力量を計量している場合は、電力量と【料金比率［%］(室外機按分)】により算出してください。

※ データのうち使用するのは、【料金比率［%］(室内機按分)】と【料金比率［%］(室外機按分)】です。
按分パラメータ (総合計)、按分パラメータ (室内機分)、按分パラメータ (室外機分) は使用しません。
(参考値となります。)

3-6. 料金計算結果の CSV 出力例

3-6-1. 電力量計量（計量計あり）方式

電力量計量（計量計あり）方式の場合、料金計算結果は「エネルギー管理ブロックごと」と「計量計ごと」の２種類の CSV ファイルが出力されます。

[1] エネルギー管理ブロックごとの CSV 出力例

（料金計算結果の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

701	料金計算結果(エネルギー管理ブロック)													
期間:2015/04/01-2015/04/30														
エネルギー管理ブロック名称	按分電力量	室外機分按分電力量	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	室内機分按分電力量	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	
	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	
1Fテナント	46	22	22	0	0	0	0	24	24	0	0	0	0	
2Fテナント	33.6	22	22	0	0	0	0	11.6	11.6	0	0	0	0	
3Fテナント	26.2	20.4	20.4	0	0	0	0	5.8	5.8	0	0	0	0	
4Fテナント	13.1	10.2	10.2	0	0	0	0	2.9	2.9	0	0	0	0	
5Fテナント	10	7.9	7.9	0	0	0	0	2.1	2.1	0	0	0	0	
共用フロア	7.1	5.6	5.6	0	0	0	0	1.5	1.5	0	0	0	0	

按分料金	室外機分按分料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	室内機分按分料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]
1148	549	549	0	0	0	0	599	599	0	0	0	0
838	549	549	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0
655	510	510	0	0	0	0	145	145	0	0	0	0
326	254	254	0	0	0	0	72	72	0	0	0	0
249	197	197	0	0	0	0	52	52	0	0	0	0
176	139	139	0	0	0	0	37	37	0	0	0	0

[2] 計量計ごとの CSV 出力例

（料金計算結果の表示順序：番号順）

711	料金計算結果(計量計)						
期間:2015/04/01-2015/04/30							
計量計名称	計量値	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	単位
AE-200 No.1 電力量計 室外機 1F2F	44	44	0	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室外機 3F4F5F共用	44	44	0	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室内機 1F	24	24	0	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室内機 2F3F4F5F共用	24	24	0	0	0	0	kWh

料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]
1100	1100	0	0	0	0
1100	1100	0	0	0	0
600	600	0	0	0	0
600	600	0	0	0	0

3-6-2. 電力量手入力（計量計なし)方式

電力量手入力（計量計なし）方式の場合、料金比率は「エネルギー管理ブロックごと」のみが印刷されます。

・ エネルギー管理ブロックごとの CSV 出力例

（料金比率の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

702	料金計算結果(エネルギー管理ブロック)						
期間:2015/04/01-2015/04/30							
エネルギー管理ブロック名称	按分パラメータ	室外機分按分パラメータ	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
1Fテナント	42	18.7	18.7	0	0	0	0
2Fテナント	29.6	18.7	18.7	0	0	0	0
3Fテナント	23.6	18.2	18.2	0	0	0	0
4Fテナント	11.8	9.1	9.1	0	0	0	0
5Fテナント	8.8	6.8	6.8	0	0	0	0
共用フロア	5.9	4.5	4.5	0	0	0	0

分按分パラメータ	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)		料金比率(室外機分)	料金比率(室内機分)
							[%]	[%]
23.3	23.3	0	0	0	0		24.6053	50.9847
10.9	10.9	0	0	0	0		24.6053	23.8512
5.4	5.4	0	0	0	0		23.9474	11.8162
2.7	2.7	0	0	0	0		11.9737	5.9081
2	2	0	0	0	0		8.9474	4.3764
1.4	1.4	0	0	0	0		5.9211	3.0635

※ 電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、電力量ではなく料金比率［%］が出力されます。
【「料金比率［%］(室内機分)】と【料金比率［%］(室外機分)】の合計はそれぞれ 100%となります。
(AE-200J が複数接続されている場合は、全 AE-200J の合計が 100%となります。)

※ 室外機用と室内機用の電力量を個別に計量している場合は、室外機用の電力量と【料金比率［%］(室外機按分)】室内機用の電力量と【料金比率［%］(室内機按分)】により算出してください。
室外機用、もしくは、室内外機用に電力量を計量している場合は、電力量と【料金比率［%］(室外機按分)】により算出してください。

※ データのうち使用するのは、【料金比率［%］(室内機按分)】と【料金比率［%］(室外機按分)】です。
按分パラメータ (総合計)、按分パラメータ (室内機分)、按分パラメータ (室外機分) は使用しません。
(参考値となります。)

4. 使用方法（応用）

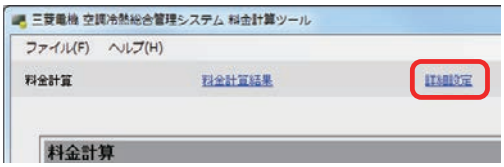
4-1. 料金計算ツールの各種設定

4-1-1. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールの初期設定を実施してください。

手順

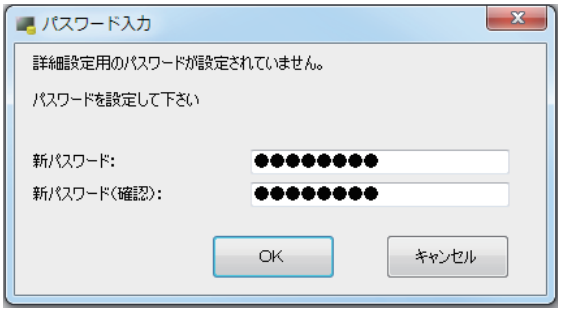
1. 料金計算ツールを起動する。
2. **[詳細設定]** を選択する。



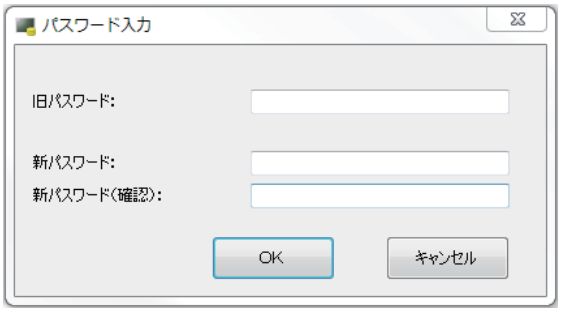
3. パスワードを入力する。

お知らせ

- 初回のみ「パスワード初回入力」が表示されますので、パスワードを２箇所に入力してください。（パスワードは忘れないようメモ等をしてください。）
- パスワードを忘れた場合は販売店までご連絡ください。
- パスワードを変更する場合は、詳細設定画面の右上にある **[設定パスワード変更]** をクリックして「パスワード変更」を開き、旧パスワードと新パスワードを入力してください。
- パスワードの文字数は 8 文字以上 20 文字以下です。（次の文字は使用できません。　＜＞&”‘（半角）



パスワード初回入力



パスワード変更入力

4. 詳細設定画面で「料金計算詳細設定」を行う。

4-1-2. 料金計算ツールの設定

(1) 計量計接続 (あり／なし)

計量計（電力按分課金支援機能で使用する電力量計と接続した計量用計測コントローラ）の有無を設定します。**[なし]** に設定した場合は按分された電力量［kWh］ではなく、料金比率［%］が出力されます。

お願い

・ 複数の AE-200J が接続されている場合は、AE-200J 本体 (初期設定ツール) の **[課金設定]** －「計量計接続按分」の **[接続する]**/**[接続しない]** をすべて同一に設定してください。

設定が異なると以下のエラーが表示します。

「料金計算ツールと AE-200 の計量計接続有無が一致していません。詳細設定画面の計量計接続有無設定、及び AE-200 の課金設定が正しく行われていることを確認してください。」

(2) 待機電力量の料金計算 (料金に含める／料金に含めない)

室内ユニットまたは室外ユニットの待機電力量をテナントへの請求額に含めるかを設定します。

電力量手入力（計量計なし）方式の場合は設定不要です。

手順

1. 待機電力量を **[料金に含める]**/**[料金に含めない]** のいずれかを設定する。

お知らせ

・ 待機電力量の按分方法および請求先については「6-7-1. 課金設定」を参照してください。

(3) 通貨単位

手順

1. 通貨単位を設定する。

※ 各料金単価ごとにエネルギー管理ブロック（テナント）ごとの合計料金が、設定された桁数以下で切り捨てられます。（桁数は 0 ～4桁まで設定できます。）
例えば「0 桁」とすると、￥12,456.5- の計算結果の場合は￥12,456- となります。

(4) 料金計算結果の表示順序 (番号順／名称順) ・同一名称のエネルギー管理ブロック統合 (統合する／統合しない)

出力（印刷および CSV）順の設定をします。

1) 料金計算結果の表示順

手順

1. **[番号順]** または **[名称順]** を選択する。
料金計算結果のエネルギー管理ブロック名称の表示順序が変更されます。
・「番号順」が選択されている場合は、初期設定ツールで設定したエネルギー管理ブロック番号の順番で表示されます。
・「名称順」が選択されている場合は、エネルギー管理ブロック名称の順番で表示されます。

お知らせ

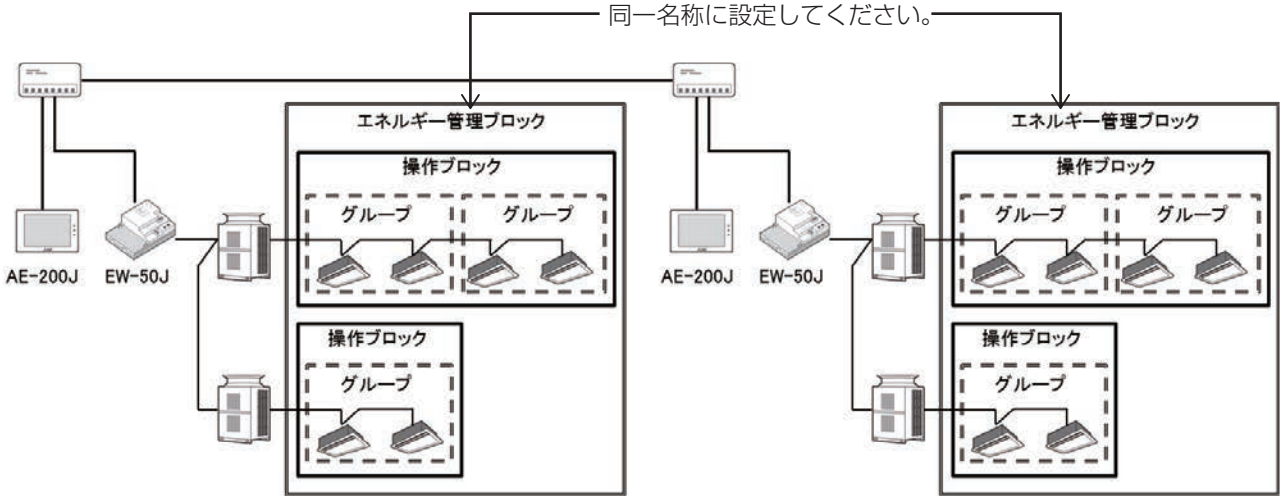
・ 名称順の場合は並べたい順番にエネルギー管理ブロック（テナント）名称の頭文字に、数字もしくはアルファベットを付けることをおすすめします。

2) 同一名称のエネルギー管理ブロック統合

手順

1. **[統合する]** または **[統合しない]** を選択します。
   複数の AE-200J が接続されており、各 AE-200J に存在する同一名称のエネルギー管理ブロックを統合し、料金計算結果または料金比率を合算して出力する場合は **[統合する]** を選択してください。

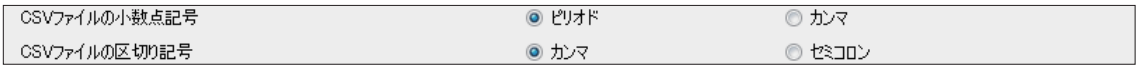
   複数の AE-200J に同一テナントがまたがる場合
   料金計算ツールでは、AE-200J をまたがり同一テナントがある場合は、AE-200J ごとにエネルギー管理ブロック名称を同一に設定することにより、料金計算結果または料金比率を統合することができます。



① エネルギー管理ブロック (テナント) が同一の場合は、名称を同一に設定してください。
② **[ユニット設定]** − **[エネルギー管理ブロック設定]** にて、同一エネルギー管理ブロック (テナント) を「統合する」に設定します。

番号順	統合する	AE-200J ごとの出力順は AE-200J の IP アドレス設定順となります。 AE-200J 内の出力順は、初期設定ツールで登録されたエネルギー管理ブロック番号順となります。 統合するエネルギー管理ブロックは、AE-200J の番号順に統合されます。
	統合しない	AE-200J ごとの出力順は AE-200J の IP アドレス設定順となります。 AE-200J 内の出力順は、初期設定ツールで登録されたエネルギー管理ブロック番号順となります。
名称順	統合する	エネルギー管理ブロック名称順となります。 統合するエネルギー管理ブロックは、AE-200J の番号順に統合されます。
	統合しない	AE-200J ごとの出力順は AE-200J の IP アドレス設定順となります。 AE-200J 内の出力順は、エネルギー管理ブロック名称順となります。

(5) CSV ファイルの小数点記号 (ピリオド／カンマ) ・CSV ファイルの区切り記号 (カンマ／セミコロン)



手順

1. AE-200J の CSV データ（按分結果）と料金計算ツールの CSV データ（料金計算結果）のファイル形式を設定する。
   設定例、小数点記号：ピリオド　／　区切り記号：カンマ

お願い

- AE-200J 本体（初期設定ツール）の **[基本設定]** − **[基本システム設定]** の設定内容と合わせてください。
  設定が異なると「CSV ファイルのフォーマットが不正です。取得先を確認してください。」のエラーが表示します。
- 複数の AE-200J が接続されている場合は全て同一設定にしてください。
- AE-200J と料金計算ツールの設定が異なると正しく料金計算できません。

(6) 料金単価設定（料金比率設定）

電力量計量（計量計あり）方式の場合は、1［kWh］当たりの料金単価１～５を設定します。
熱量計 [/MJ]、水道量計 [/㎥]、(単位なし)[/1 計量単位］の設定もできます。
電力量手入力（計量計なし）方式の場合は料金比率を設定します。
初期設定ツールの設定で曜日や季節等に料金単価１～５を割り振ることができます。

料金単価設定

	料金単価				
	単価1	単価2	単価3	単価4	単価5
空調機[/kWh]	20	22	24	23	18
熱量計[/MJ]	0	0	0	0	0
水道量計[/m3]	0	0	0	0	0
(単位無)[/1計量単位]	0	0	0	0	0

手順

1. 空調機 [/kWh］の場合の料金単価を設定する。
（計量用計測コントローラに熱量計や水道量計などが接続されている場合は、熱量計 [/MJ]、水道量計 [/㎥]、(単位無)[/1 計量単位］に設定することもできます。）

お願い

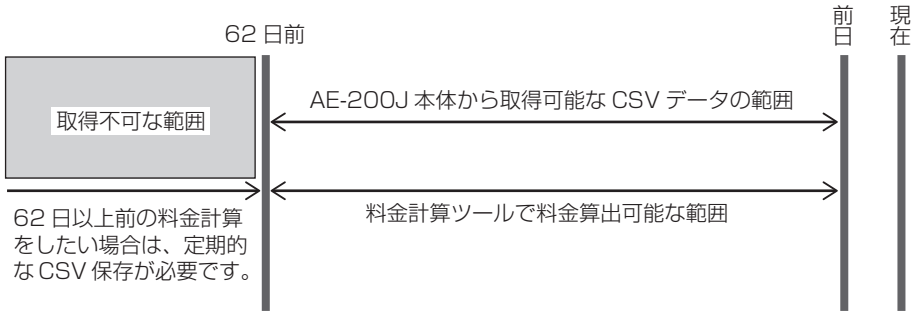
- 時間帯ごとの設定変更は初期設定ツールにて行ってください。
- 時間帯設定されているのに、単価が未入力の場合、料金計算が正しく行えませんのでご注意ください。
- 電力量手入力（計量計なし）方式の場合、単価１～５には電気料金の比率を入力してください。
例：深夜料金が３分の１の場合
単価１（深夜）を「１」、単価２（日中）を「３」
料金単価の時間帯設定は初期設定ツールより行ってください。

4-1-3. 設定を保存する

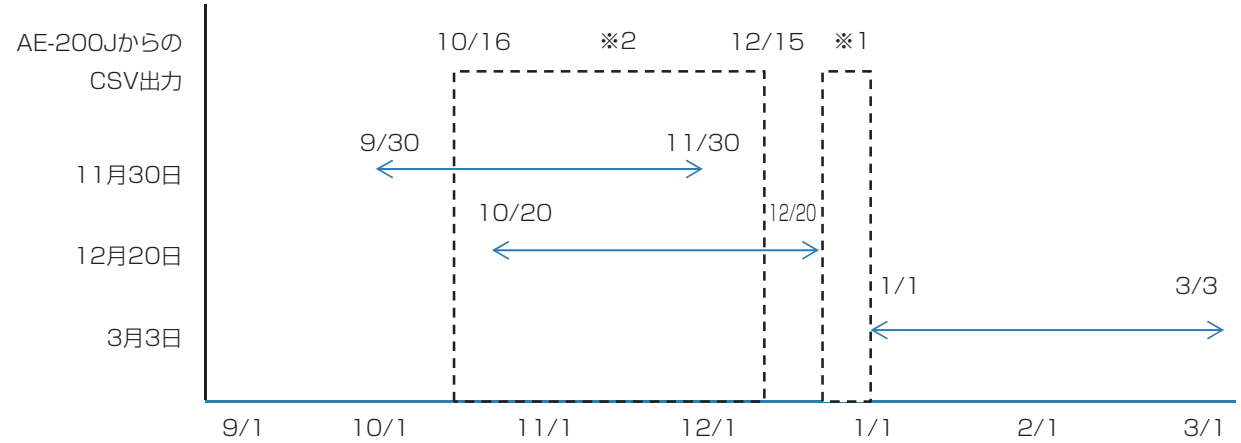
[確定] をクリックして、設定を保存します。

4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算

AE-200J 本体から USB メモリにて CSV 取得可能な期間は前日より 62 日分（2 ヶ月）です。それ以上前の期間で料金計算ができるように、定期的に（月に 1 回）に CSV データを保存することをおすすめします。



料金計算例



※ 1 上図のように AE-200J より CSV データ（按分結果）を取得していた場合、12/21 ～ 12/31 の CSV データが欠落している期間は料金計算できません。

※ 2 上図の 10/16 ～ 12/15 の料金計算を行う場合は、9/30 ～ 11/30 の CSV ファイルで 10/16 ～ 11/30 の期間の計算を行い、10/20 ～ 12/20 の CSV ファイルで 12/1 ～ 12/15 の期間の計算を行います。
出力した 2 つのファイルを合計したものが 10/16 ～ 12/15 の計算結果になります。
合計する 2 つの期間のファイル（同一の AE-200J) を 1 回の料金計算で実施することはできません。

4-2-1. 定期的にUSB出力を行いパソコンに保存

定期的に (1 ヶ月に 1 回程度) データの保存を実施してください。

お願い

- 複数台 AE-200J を使用している場合、使用している AE-200J の台数分 USB 出力を行ってください。
作業手順については、「3-2-2. [1] 電力量計量（計量計あり）方式　CSV データ（按分結果)」、または「3-2-2. [2] 電力量手入力（計量計なし）方式」参照してください。

4-3. その他の設定変更と注意点

4-3-1. 精算日の変更

精算日計算（自動出力）の料金計算期間は 1 ヶ月固定のため、

① 精算日を、より前に繰り上げる場合 (前回 4/20 に精算後、精算日を 15 日に変更した場合を例に説明します)、
精算日 4/20 の計算期間は 3/21 ～ 4/20、5/15 の計算期間は 4/16 ～ 5/15 となり、4/16 ～ 4/20 が2度算出されるため、1 ヶ月分は期日指定計算する必要があります。
5/15 の精算日計算結果は使用せず、4/21 ～ 5/15 の期日指定計算を実施してください。
5/16 ～ 6/15 以降は通常どおりに使用できます。

② 精算日を、より後ろに繰り下げる場合 (前回 4/20 に精算後、精算日を 25 日に変更した場合を例に説明します)、
精算日 4/20 の計算期間は 3/21 ～ 4/20、5/25 の計算期間は 4/26 ～ 5/25 となり、4/21 ～ 4/25 が算出されないため、5/25 の精算日計算に加え、4/21 ～ 4/25 の期日指定計算を実施してください。
5/26 ～ 6/25 以降通常どおりに使用できます。

具体的な設定変更は、「3-3. 精算日計算（自動出力)」を参照してください。

4-3-2. 料金単価の変更(特異日、季節)

料金単価を変更する場合は、以下の手順で料金計算および料金単価の変更を行ってください。

① 期日指定する期間中に料金変更する場合、
（例）精算日が毎月 20 日で料金変更が 5/1 の場合

手順

1. **[基本設定]** の「計算期間設定」を 4/21 ～ 4/30 にして、**[料金計算開始]** をクリックする。
2. **[詳細設定]** の「料金単価設定」で新単価を入力する。
3. **[基本設定]** の「計算期間設定」を 5/1 ～ 5/20 にして、**[料金計算開始]** をクリックする。

具体的な設定変更は、「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。

② 料金の時間帯設定を変更する場合、
時間帯設定は過去にさかのぼって変更することはできません。

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口にお問い合わせください。

4-3-3. テナント名称の変更

テナントの入れ替わりの場合は、名称変更前に、元のテナントの最終日までの期日指定計算を実施してください。
(精算日計算 (自動出力) を実施している場合の精算日途中の場合も、期日指定計算が必要です)
精算日が 20 日で、旧テナント「A」が～ 4/15 まで入居、新テナント「B」が 4/16 ～入居の場合の例で説明します。

手順

1. 3/20 までの精算日ごとの請求を実施しているため、4/16 以降に 3/21 ～ 4/15 の期日指定計算を実施し、旧テナント「A」に請求。
2. 手順 1. の計算後、次の精算日までに初期設定ツールの **[ユニット設定]** － **[エネルギー管理ブロック設定]** でテナント名称（エネルギー管理ブロック名称）を変更。

お願い

・「6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ」の手順に従って設定をしてください。

3. 4/20 の精算日請求（3/21 ～ 4/20）では、新テナント「B」には請求しない。
4. 4/16 ～ 4/20 の期日指定計算により、新テナント「B」の請求を実施。

お知らせ

・ テナント名称を新テナント「B」に変更後に旧の期間で料金算出を実施した場合は、新テナント「B」名称で印刷され、実際と異なるデータとなります。

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口にお問い合わせください。

4-3-4. テナント（エネルギー管理ブロック）の間仕切変更

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口にお問い合わせください。

4-4. エネルギー管理表示

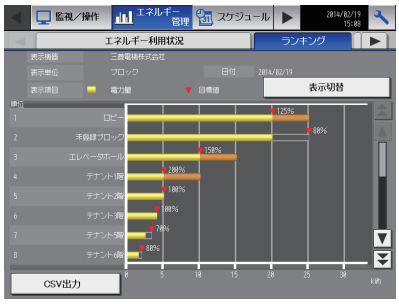
「エネルギー利用状況」では、エネルギー管理ブロック / グループ / ユニット単位で、消費電力量をグラフで表示することができます。また目標値を設定する事で、目標値と現在のエネルギー利用状況を比較することができます。
「ランキング」では、消費電力量の多い順にランキングで表示することができます。
「エネルギー管理表」では、エネルギー管理ブロックごとの消費電力を月ごとに表で表示することができます。

お知らせ

- エネルギー利用状況とランキングの設定方法の詳細は、AE-200J 取扱説明書の「3.2 エネルギー管理」を参照してください。

エネルギー利用状況

ランキング



エネルギー管理表

電力按分課金支援ライセンスの登録の有無により、設定方法やグラフの表示内容が異なります。
違いは以下のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>電力按分課金支援ライセンスあり</th><th>電力按分課金支援ライセンスなし</th></tr>
<tr><td colspan="2">エネルギー利用状況</td><td rowspan="2">以下の電力量が含まれます。
・ 室外ユニットの使用電力量
・ 室外ユニットの待機電力量
・ 室内ユニットの使用電力量
・ 室内ユニットの待機電力量</td><td rowspan="2">以下の電力量が含まれます。
・ 室外ユニットの使用電力量
・ 室外ユニットの待機電力量</td></tr>
<tr><td colspan="2">ランキング</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標値設定</td><td>室外ユニットと室内ユニットの合計に対しての、消費電力量の目標値を設定します。</td><td>室外ユニットに対しての、消費電力量の目標値を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">エネルギー管理表</td><td>エネルギーの管理ブロックまたは計量計ごとの月単位の表示ができます。</td><td>表示できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">設定方法</td><td>計測設定</td><td colspan="2">液晶画面の [機能設定 1]-[計測設定] で電力パルスの単位を設定する。
(初期設定ツール、初期設定 Web ブラウザからも設定できます。)</td></tr>
<tr><td>按分モードの設定</td><td>初期設定ツールの [課金設定]-[課金設定] の「按分モード設定」で設定する。
お知らせ
・ 液晶画面、初期設定用 Web ブラウザでのエネルギー管理設定での設定内容は無効になります。</td><td>液晶画面の [機能設定 1]-[エネルギー管理設定] で、室内ユニットの按分モードを、[能力セーブ量]、[サーモ ON 時間]、[FAN 運転時間] から選択する。
(初期設定用 Web ブラウザからも設定できます。)</td></tr>
<tr><td>電力量計の設定</td><td>初期設定ツールにて計量用パルス入力または計量用計測コントローラの CH 番号ごとに、接続されている室内ユニット、室外ユニットを選択します。
お知らせ
・ 液晶画面、初期設定用 Web ブラウザでのエネルギー管理設定での設定内容は無効になります。</td><td>液晶画面の [機能設定 1]-[エネルギー管理設定] で、室内ユニットが接続されている室外ユニットの電力使用量を計測している電力量計を選択します。
(初期設定 Web ブラウザからも設定できます。)</td></tr>
<tr><td>待機電力量の設定</td><td>初期設定ツールにて待機電力量を使用電力量に含めるかを選択できます。また、待機電力量の値を変更できます。</td><td>設定できません。</td></tr>
</table>

5. ソフトウェアの準備 (インストール)

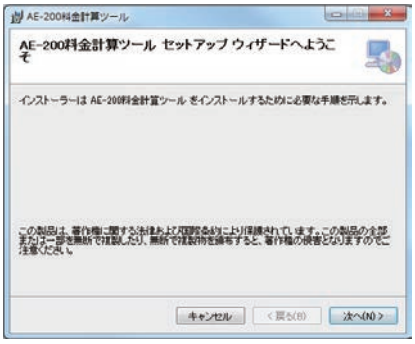
5-1. 料金計算ツールのインストール手順

お願い

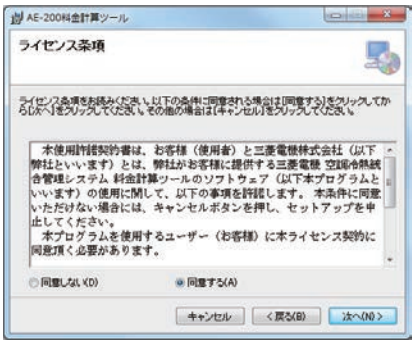
- OS が Windows7 の場合は、事前に .NET Framework のバージョン 4.5 以降であることを確認してください。バージョンアップには、インターネットに接続する必要があります。「5-4. .NET Framework のインストール手順」を参照してください。

手順

1. CD-ROM 内の ¥ 料金計算ツール ¥setup.msi をダブルクリックします。
2. 「セキュリティー警告」が表示される場合は、**[実行]** をクリックする。
3. 「セットアップウィザード」画面が開くので、**[次へ]** をクリックする。



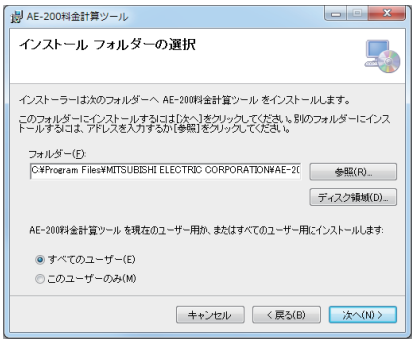
4. 「ライセンス条項」画面が開くので、**[同意する]** を選択し、**[次へ]** をクリックする。



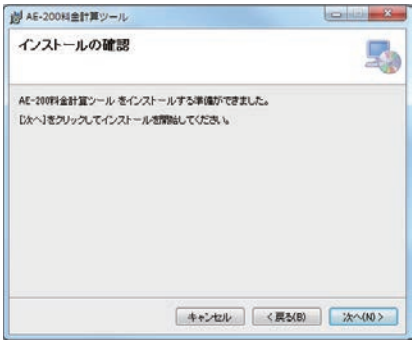
5. 「インストール　フォルダーの選択」画面が開くので、保存先のフォルダを選択して **[次へ]** をクリックする。

お知らせ

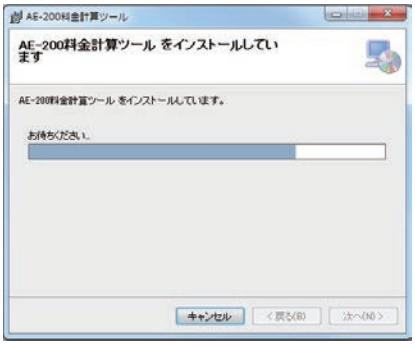
- PC にログインの設定をしている、すべてのユーザーが初期設定ツールを使用する場合は、**[すべてのユーザー]** にチェックが入った状態で **[次へ]** をクリックする。



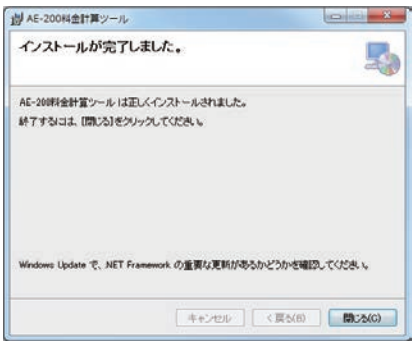
6. 「インストールの確認」画面が開くので、**[次へ]** をクリックする。



7. インストールが実行されます。



8. インストールが完了したら、[**閉じる**] をクリックする。



お知らせ

料金計算ツールのショートカットアイコンがデスクトップに作成されます。
起動するには、アイコンをダブルクリックしてください。

5-2. 初期設定ツールのインストール手順

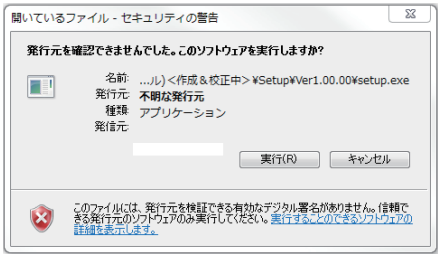
お願い

OS が Windows7 の場合は、事前に .NET Framework のバージョン 4.5 以降であることを確認してください。
バージョンアップには、インターネットに接続する必要があります。「5-4. .NET Framework のインストール手順」を参照してください。

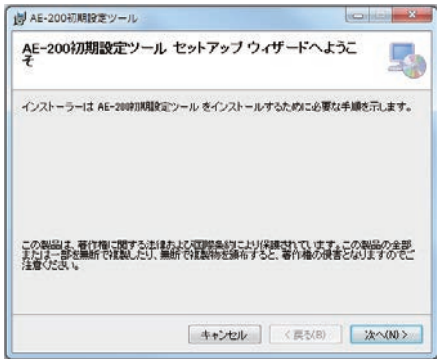
手順

1. CD-ROM 内の ¥ 初期設定ツール ¥setup.msi をダブルクリックします。

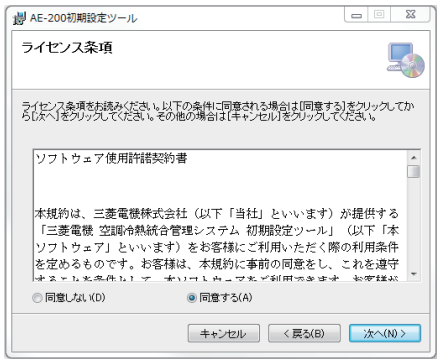
2. 「セキュリティー警告」が表示されるので、**[実行]** をクリックする。



3. 「セットアップウィザード」画面が開くので、**[次へ]** をクリックする。



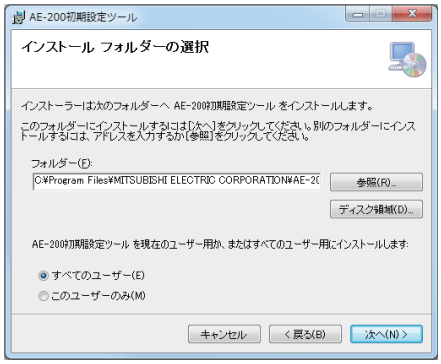
4. 「ライセンス条項」画面が開くので、**[同意する]** にチェックを入れて **[次へ]** をクリックする。



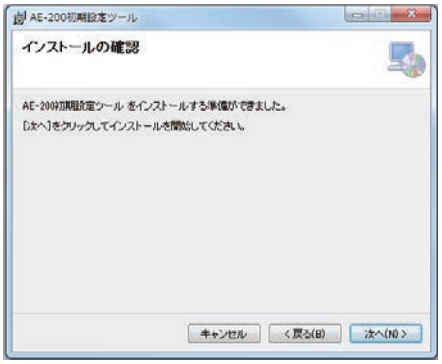
5. 「インストール　フォルダの選択」画面が開くので、保存先のフォルダを選択して **[次へ]** をクリックする。

お知らせ

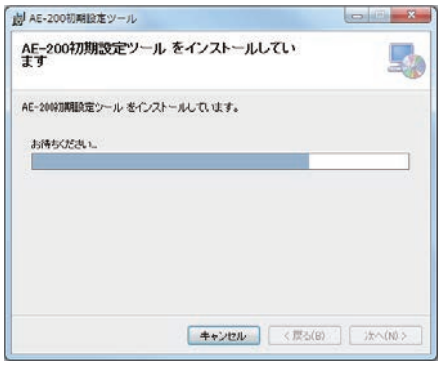
- PC にログインの設定をしていて、全てのユーザーが初期設定ツールを使用する場合は、**[すべてのユーザー]** にチェックが入った状態で **[次へ]** をクリックする。



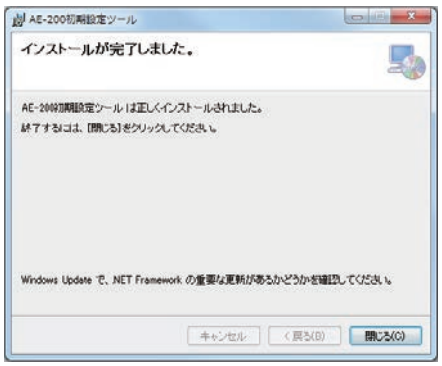
6. 「インストールの確認」が表示されますので、[**次へ**] をクリックする。



7. インストールが実行されます。



8. インストールが完了したら、[**閉じる**] をクリックする。



お知らせ

初期設定ツールのショートカットアイコンがデスクトップに作成されます。
起動するには、アイコンをダブルクリックしてください。

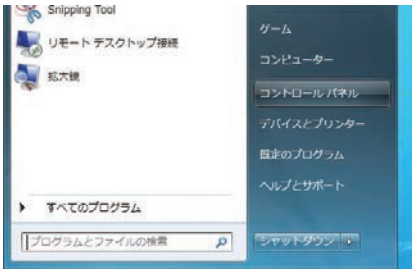
5-3. パソコンの IP アドレス設定

5-3-1. Windows7の場合

AE-200J/AE-50J/EW-50J に初期設定ツールから設定データを送信できるように、パソコンの IP アドレスを設定します。パソコンの IP アドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。
（例えば、AE-200J の IP アドレス：192.168.1.1、パソコンの IP アドレス：192.168.1.101）

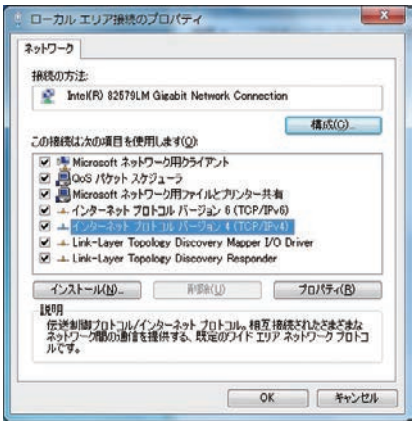
手順

1. スタートメニューの **[コントロールパネル]** をクリックする。
   コントロールパネルを開きます。

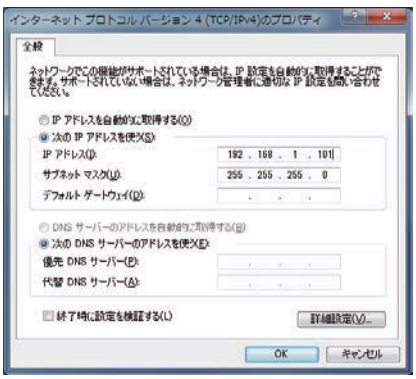


2. **[ネットワークと共有センター]** – **[ローカルエリア接続]** をクリックする。
3. 「ローカルエリア接続の状態」画面で、**[プロパティ]** をクリックする。

4. **[インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]** をクリックして選択し、**[プロパティ]** をクリックする。



5. インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ画面で **[次の IP アドレスを使う]** を選択する。
6. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、192.168.1.101）を入力する。
7. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
8. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

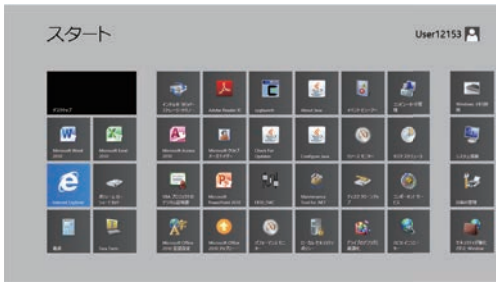
- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

9. **[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

5-3-2. Windows8.1の場合

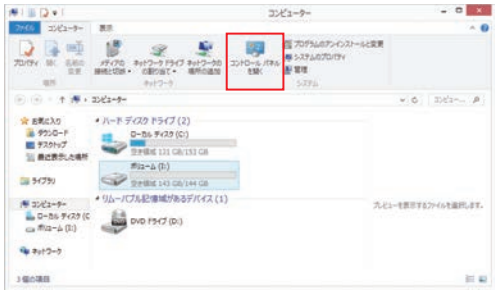
手順

1. スタート画面の [**デスクトップ**] アイコンをクリックする。



2. デスクトップ画面の [**マイコンピューター**] アイコンをダブルクリックする。

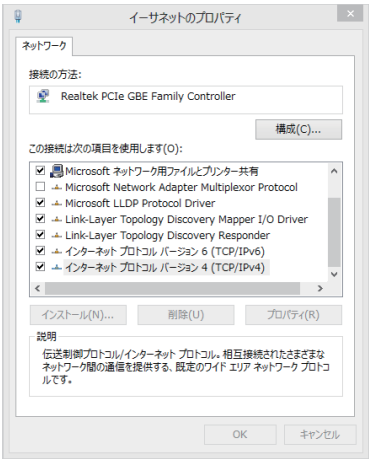
3. ツールバーの [**コントロール　パネルを開く**] をクリックする。



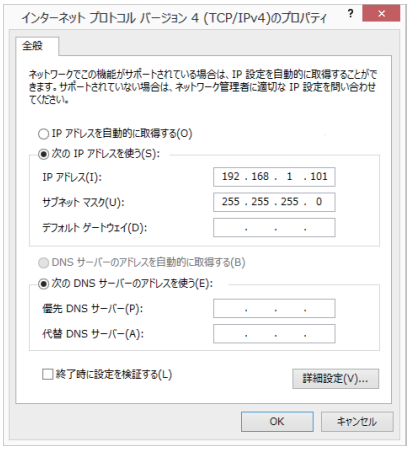
4. [**ネットワークと共有センター**] アイコンをクリックする。
5. [**アダプターの設定の変更**] をクリックする。

6. [**イーサネット**] アイコンをダブルクリックする。
7. 「イーサネットの状態」画面で、[**プロパティ**] をクリックする。

8. [**インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IP）**] をクリックして選択し、[**プロパティ**] をクリックする。



9. [**インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）**] のプロパティ画面で [**次の IP アドレスを使う**] を選択する。
10. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、192.168.1.101）を入力する。
11. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
12. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

13. **[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

5-4. .NET Framework のインストール手順

.NET Framework 4.5 未満の場合は、以下の URL から .NET Framework 4.5 をインストールしてください。

国内 URL：
http://www.microsoft.com/ja-**JP**/download/details.aspx?id=30653

※ **JP** は大文字で入力してください。

6. 初期設定

6-1. 概要

電力按分課金支援機能（AE-200 按分) を使用する際には、現地調整業者などによる事前の初期設定と試運転が必要となります。また、運用に際しては、工事店・販売店から注意点などの説明を受けてからのご使用をお願いします。

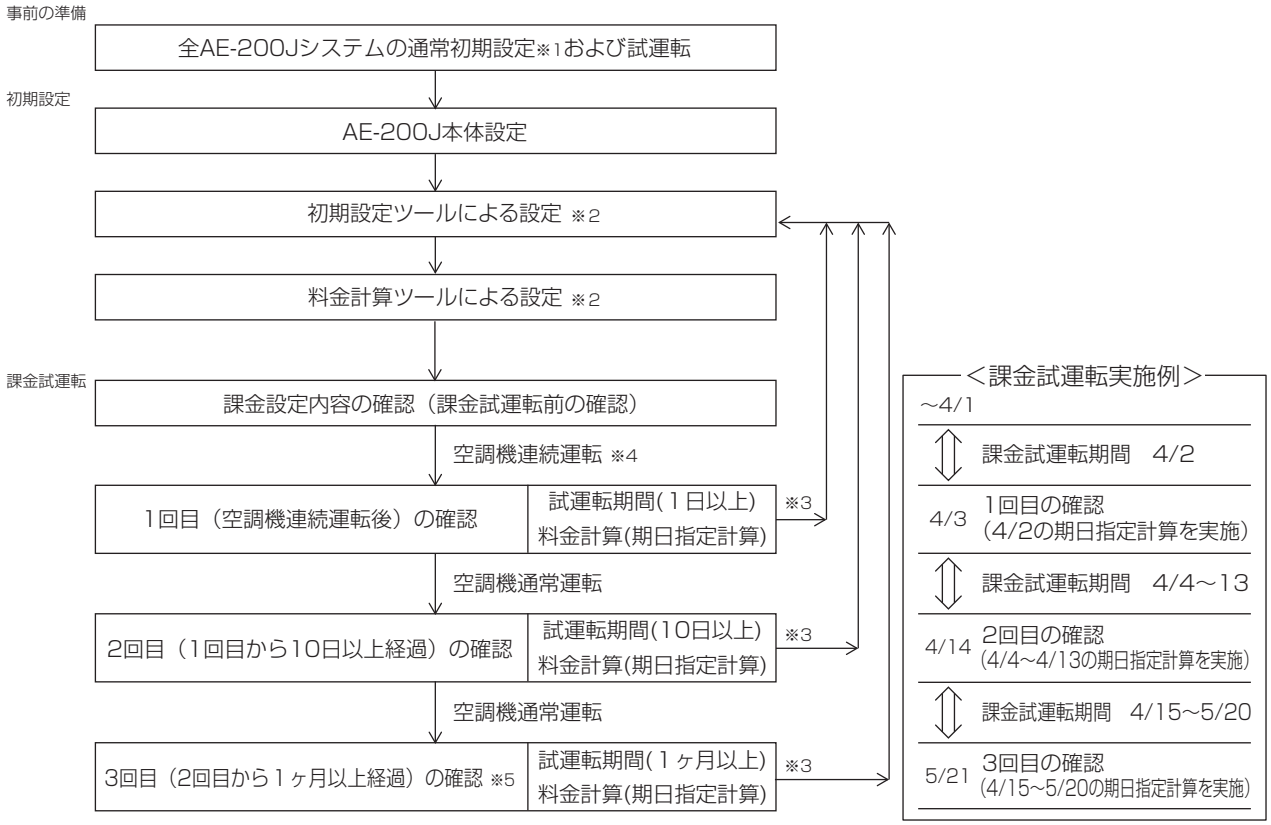
※ 工事店・販売店の方へ
本書の５章⇒６章⇒７章の順番で、ソフトウェア（ツール）のインストール、初期設定および試運転を確実に実施の上、運用にあたっては、２章（2-6）について十分お客様にご説明をお願いします。

電力按分課金支援機能の初期設定を実施する前に、AE-200J 本体や初期設定ツールもしくは初期設定 Web で電力按分課金支援機能以外の初期設定と試運転が終了していることを確認してください。

お知らせ

- AE-200J/AE-50J/EW-50J のソフトウエアのバージョンが Ver7.20 以上で、同一バージョンであることを確認してください。
（ソフトウェアのバージョンアップ方法は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の据付工事説明書を参照してください。）
- 蓄熱機種は、本電力按分課金支援機能は使用できません。
- 電力按分課金支援機能以外の初期設定を含めて一括で実施する場合は、「6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ」を参照してください。

6-1-1. 初期設定と課金の試運転の流れ



※ 1 ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了させてください。

※ 2 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。

※ 3 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。

※ 4 各室内ユニットが 2 時間以上連続運転を実施してください。

※ 5 2 回目の課金試運転から 1 カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目

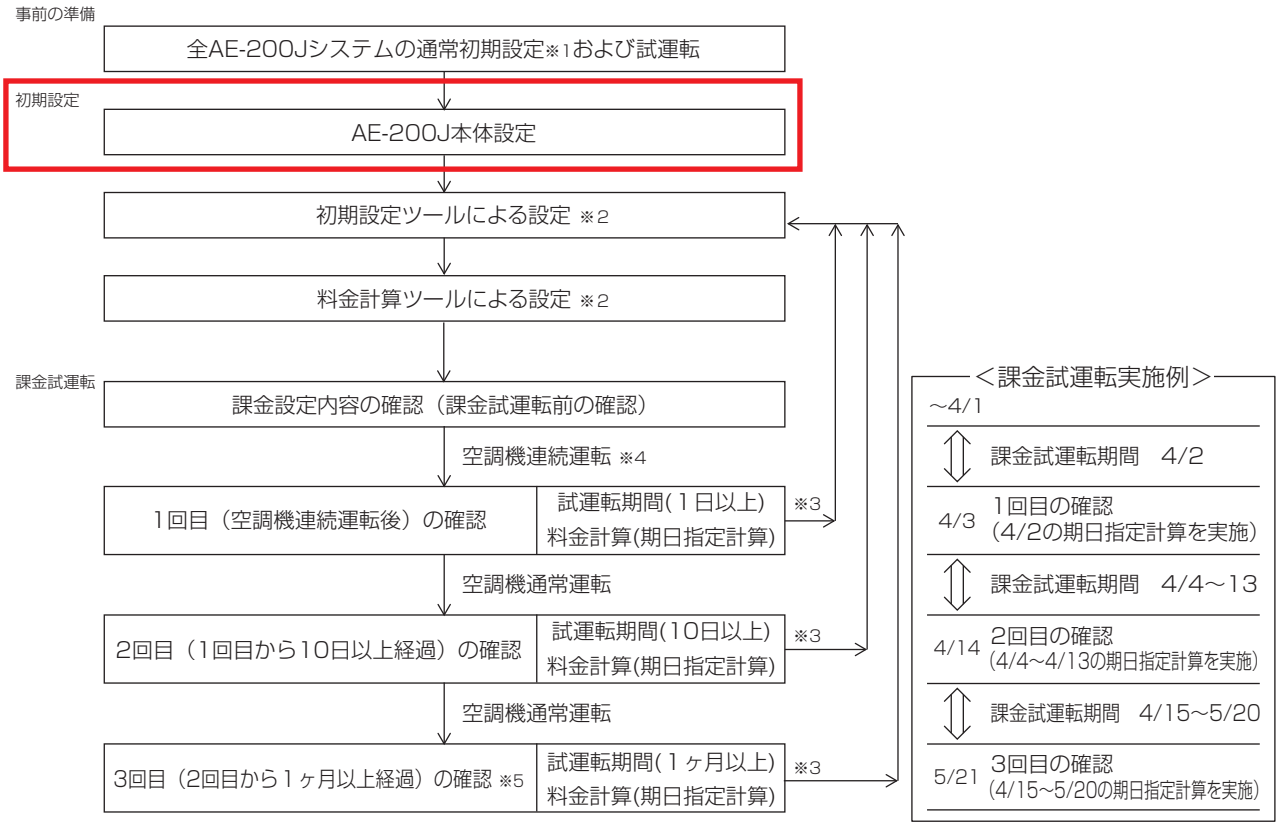
電力按分課金支援機能ご使用のために以下の設定が必要です。

☆：初期設定ツールを使用するために入力が必要な項目
◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目
○：設定が可能な項目

設定項目		初期設定ツール	料金計算ツール	記載ページ	AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	初期設定 Web	
基本設定	ライセンス登録			—	○	○	
	ユニット情報	○※2		48	◎※2	○※2	
	ネットワーク設定			—	○	○	
	接続構成設定	☆		58			
	基本システム設定	○※2		59	○※2	○※2	
ユニット設定	グループ設定	○		64	○	○	
	冷媒系設定	◎		66			
	連動ロスナイ設定	○		67	○	○	
	操作ブロック設定	○		68	○	○	
	エネルギー管理ブロック設定	◎		69			
	計量 MC 設定	○		71	○	○	
	環境 MC 設定	○		72	○	○	
機能設定	メール設定			—	○	○	※3
	ピークカット制御※1			—	○	○	
	ET 制御※1			—	○	○	
	高顕熱制御※1			—	○	○	
	アドバンストパワーセーブ※1			—	○	○	
	サーモOFF 時送風設定※1			—	○	○	
	低温 MELTOUCH ※1			—	○		
	連動制御※1			—	○	○	
	エネルギー管理設定			—	○	○	
	外気温連動制御			—	○	○	
	セットバック			—	○	○	
	２４時間換気			—	○	○	
	ナイトパージ			—	○	○	
	設定温度範囲制限			—		○	
	ナイトモードスケジュール			—		○	
	オートチェンジオーバー			—		○	
課金設定	課金設定	◎		74			
	室外機設定	◎		76			
	室内機設定	◎		77			
	計量設定	◎		79			
	料金設定	◎		81			
料金計算詳細設定	計量計接続		◎	31			
	待機電力量の料金計算		◎				
	通貨単位		◎				
	料金計算結果の表示順位		◎				
	同一名称のエネルギー管理ブロック統合		◎	32			
	CSV ファイルの小数点記号		◎				
	CSV ファイルの区切り記号		◎				
	料金単価設定		◎	33			
	印刷設定		◎	23			
	CSV 出力設定		◎				
	精算日設定		◎				
	IP アドレス設定		◎	24			

※1　別途、ライセンス登録が必要です。
※2　設定できる項目が異なります。
※3　本書では設定方法などの記載はありません。詳細はAE-200J/AE-50J/EW-50J の取扱説明書を参照してください。

6-2. 課金用 AE-200J 本体による設定



※１ ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了させてください。

※２ 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。

※３ 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。

※４ 各室内ユニットが２時間以上連続運転を実施してください。

※５ ２回目の課金試運転から１カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-2-1. AE-200J本体による設定項目

○：設定が可能な項目

設定項目		初期設定ツール	料金計算ツール	記載ページ	AE-200J/AE-50J本体液晶画面	初期設定Web
基本設定	ライセンス登録			ー	○	○
	ユニット情報	○※1		48	◎※1	○※1

※１　設定できる項目が異なります。

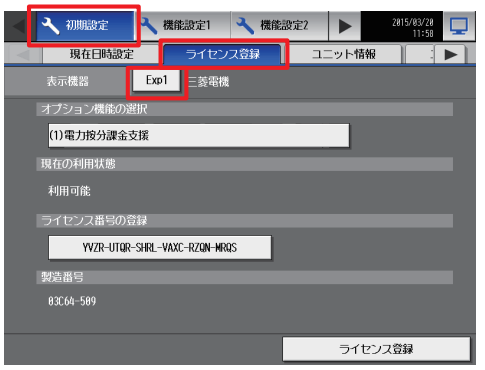
6-2-2. AE-200J本体設定

AE-200J 本体の設定項目は以下のとおりです。

手順

1. 画面右上の [🔧] をタッチして、ログイン画面を表示する。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[**ログイン**] をタッチする。

2. [**初期設定**] - [**ライセンス登録**] をタッチする。



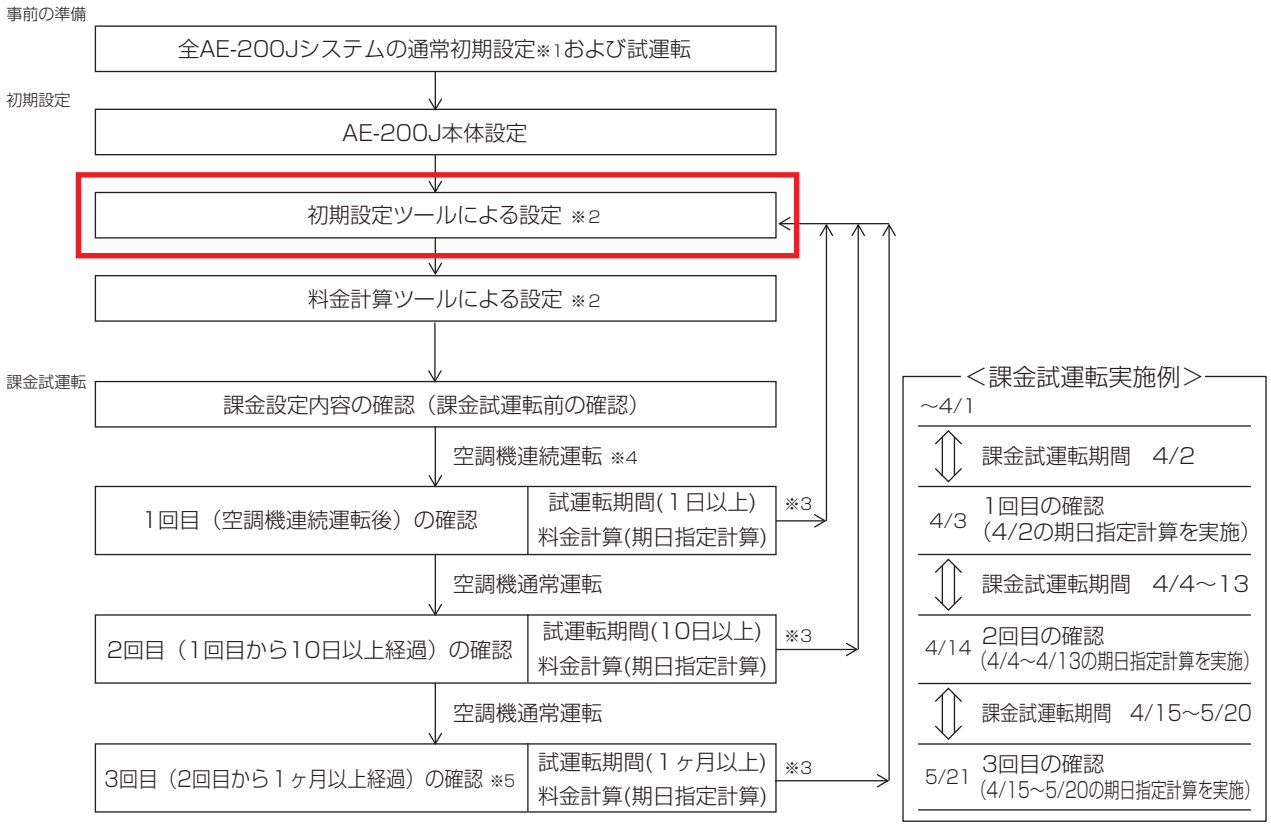
3. 「オプション機能の選択」をタッチして **[(1) 電力按分課金支援]** を表示する。
4. 「ライセンス番号の登録」でライセンス番号を入力し、下部の [**ライセンス登録**] をタッチする。
5. [**初期設定**] の [**ユニット情報**] をタッチする。

6. 「台数拡張」を [**利用する**] に選択する。
7. 「AE-200 按分」を [**利用する**] に選択する。
8. 「AE-200 M-NET」を [**利用しない**] に選択する。
9. [**設定保存**] をタッチする。
10. [**初期設定**] - [**ライセンス登録**] をタッチする。
11. 「表示機器」をタッチして各 **[Exp1]** ～ **[Exp4]** に対して、手順 3、4 と同様にライセンスを登録する。

お知らせ

- 保守ユーザーの初期値は「ユーザー名：initial」「パスワード：init」です。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J ごとにライセンスの登録が必要です。
- TG-2000 で電力按分課金支援機能を使用する場合は、「AE-200 按分」は [**利用しない**] を選択してください。
- 「AE-200 按分」を [**利用する**] を選択した場合は、「AE-200 M-NET」で [**利用する**] を選択していた場合でも、自動的に [**利用しない**] となります。

6-3. 初期設定ツールによる設定



※１ ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了させてください。

※２ 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。

※３ 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。

※４ 各室内ユニットが２時間以上連続運転を実施してください。

※５ ２回目の課金試運転から１カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-3-1. 設定項目

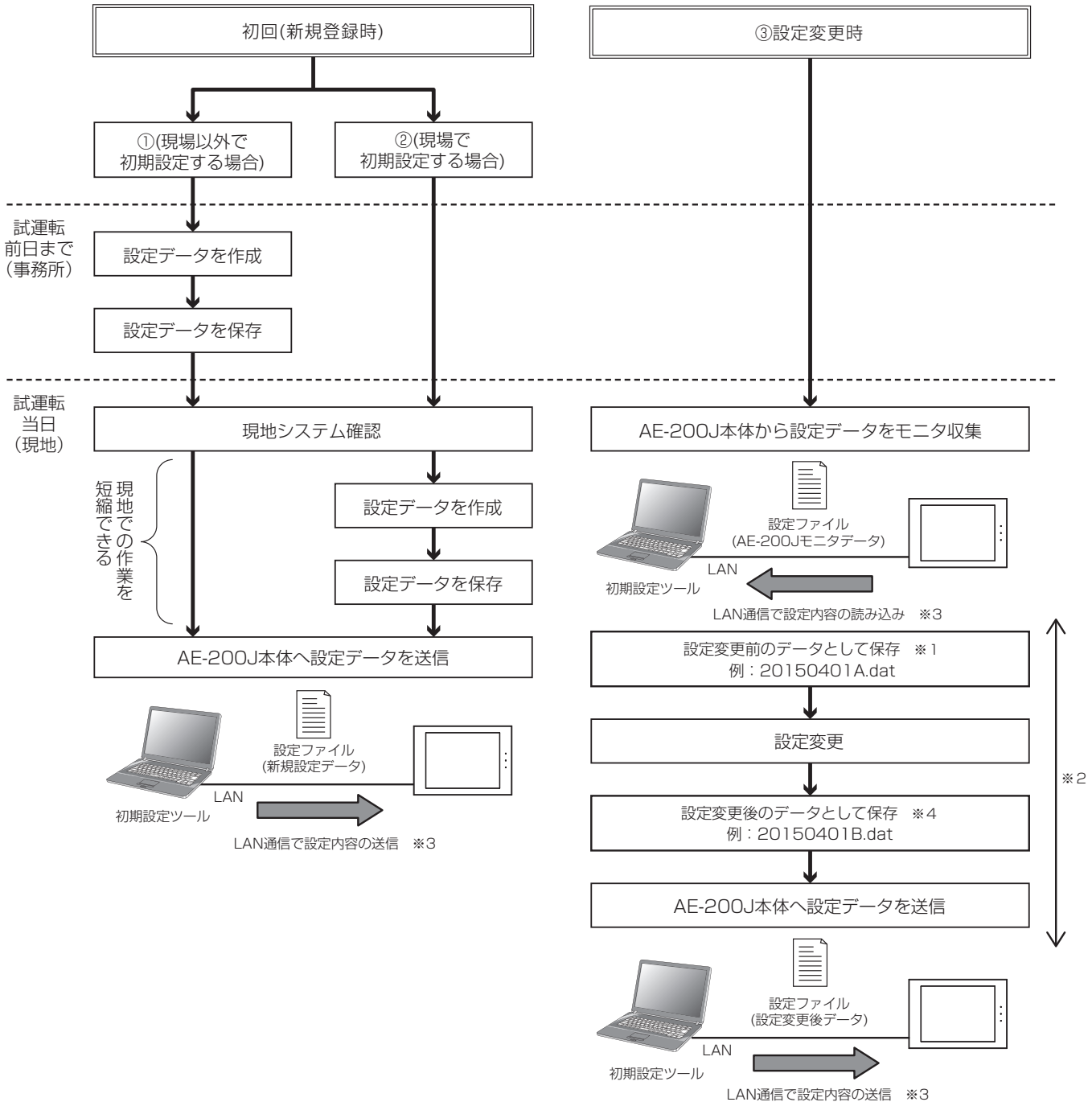
☆：初期設定ツールを使用するために入力が必要な項目
◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目
○：設定が可能な項目

設定項目		初期設定ツール	料金計算ツール	記載ページ	備考	
					AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	初期設定 Web
基本設定	ライセンス登録			－	○	○
	ユニット情報	○※1		48	◎※１	○※１
	ネットワーク設定			－	○	○
	接続構成設定	☆		58		
	基本システム設定	○※１		59	○※１	○※１
ユニット設定	グループ設定	○		64	○	○
	冷媒系設定	◎		66		
	連動ロスナイ設定	○		67	○	○
	操作ブロック設定	○		68	○	○
	エネルギー管理ブロック設定	◎		69		
	計量 MC 設定	○		71	○	○
	環境 MC 設定	○		72	○	○

※１　設定できる項目が異なります。

6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ

電力按分課金支援機能の初期設定は、③以降の手順を実施してください。
下記フロー①のように事前に事務所などで設定データを作成し、試運転当日、集中コントローラに送信することができます。



※ 1 既存の AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定を変更する場合は、必ず変更前の設定ファイル（AE-200J モニタデータ）を保存してください。

※ 2 初期設定ツールにて設定データを読み込み、設定変更を行ったあと、設定変更内容の送信が完了するまで AE-200J 本体や Web ブラウザからの設定変更はしないでください。

※ 3 初期設定ツールで作成した設定データは USB メモリによる AE-200J への読み込み・書き込みはできません。

※ 4 初期設定ツールで設定した設定ファイル（設定変更前データと設定変更後データ）は大切に保管してください。

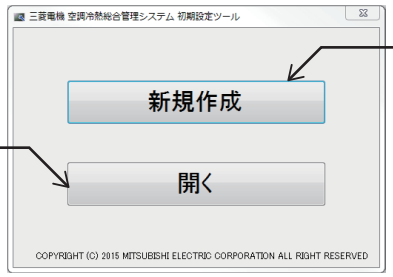
6-4. 初期設定ツールの概要

初期設定ツールの各設定画面で共通の操作方法を説明します。

6-4-1. ツールの起動

AE-200 初期設定ツール

初期設定ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。



新規作成
設定ファイルを新規作成します。

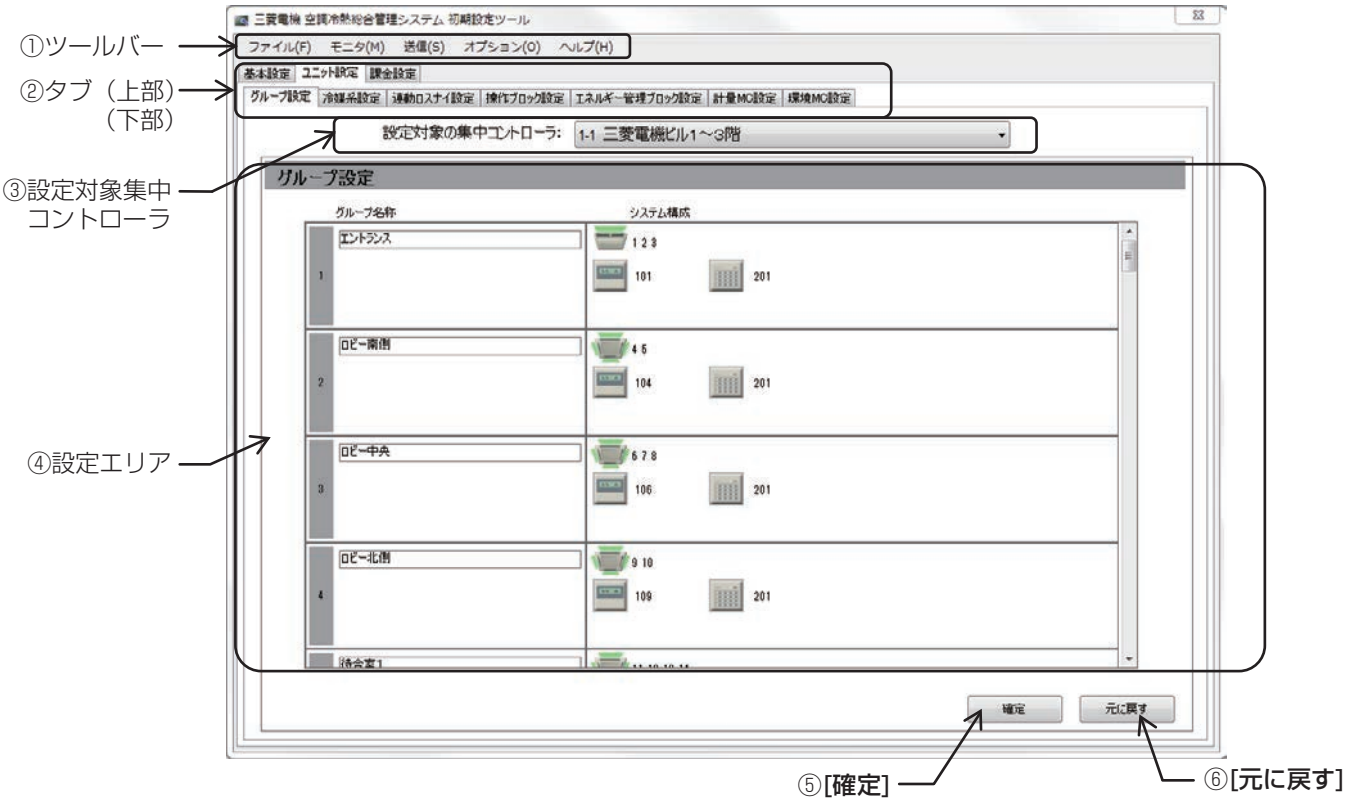
開く
設定ファイルを読み込みます。

[新規作成] をクリックするとすべての設定が未設定の状態で表示されます。
[開く] をクリックすると、「開く」画面が表示され、事前に作成していたパソコンに保存済みの設定ファイル（ファイル名 .dat）を選択し、読み込むことができます。読み込み後、設定ファイルの内容を反映した状態で設定画面を表示します。

お知らせ

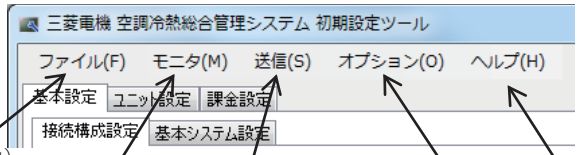
- **[開く]** をクリックした場合、初回は「ライブラリ」－「ドキュメント」フォルダが選択されます。
  初期設定ツールを使って保存したファイルを選択してください。

6-4-2. 画面構成・共通項目

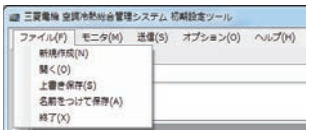


	機能	操作方法	説明
①	ツールバー	設定ファイルの新規作成、保存、読み込み、送信、集中コントローラからの設定状態のモニタなどが行えます。	「6-4-3. ツールバーの操作一覧」を参照
②	タブ	タブをクリックすることで各設定画面を切替えます。 上部のタブを切替えると、下部のタブが表示されますので、設定するタブをクリックします。	設定する「タブ」をクリックすると、設定画面が表示されます。設定内容入力後は、**[確定]** をクリックします。
③	設定対象集中コントローラ	接続構成設定された集中コントローラのうち設定を行う対象を選択します。 集中コントローラごとに設定が必要です。	設定画面によっては表示されない画面もあります。
④	設定エリア	各設定を行うエリアです。	設定方法は、「6-5. 基本設定」、「6-6. ユニット設定」、「6-7. 課金設定」を参照してください。
⑤	**[確定]**	クリックすることで、設定内容が初期設定ツール内に保持されます。	**[確定] をクリックした段階では、設定内容はAE-200J/AE-50J/EW-50J に送信されません。全ての設定後、ツールバーから [設定内容送信実行] を行い、AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を送信してください。詳細は、「6-4-3.[5] 設定状態の送信」を参照してください。また、確定しても、設定ファイルにはまだ保存されません。設定ファイルを保存するには、ツールバーの [ファイル] − [上書き保存]、または [名前を付けて保存] をクリックしてください。**
⑥	**[元に戻す]**	クリックすることで、設定内容を破棄し、元の設定内容に戻します。	

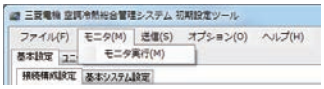
6-4-3. ツールバーの操作一覧



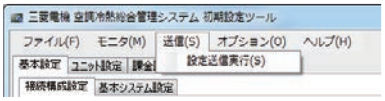
ファイル
設定ファイルの新規作成、開く（読み込み）、上書き保存、名前をつけて保存を行います。



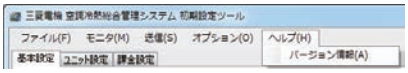
モニタ
集中コントローラの設定状態を取得します。



送信
設定内容を集中コントローラに送信します。



ヘルプ
本ソフトウェアのバージョン表示を行います。



オプション
温度表示の選択、試運転チェックシートの出力が可能。

[1] 設定ファイルの新規作成

「設定ファイル」を新規作成することができます。

[2] 設定ファイルを開く

パソコンに保存された「設定ファイル」を読み込むことができます。

[3] 設定ファイルの保存

「設定ファイル」をパソコンへ保存することができます。ツールバーの **[ファイル]** − **[上書き保存]** または **[名前を付けて保存]** をクリックしてください。

お知らせ

- 設定後は、設定ファイルを保存し、大切に保管してください。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J には保存されません。

[4] モニタ

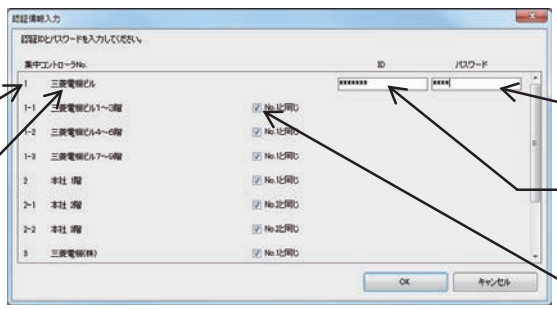
AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定内容を初期設定ツールに読み込むことができます。

お知らせ

- AE-200J/AE-50J/EW-50J に対して設定変更を行う場合は、最初に必ず **[モニタ]** を実施してください。

手順

1. **[基本設定]** − **[接続構成設定]** でモニタする AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力し、下部にある **[確定]** をクリックする。（「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。）
2. ツールバーの **[モニタ]** − **[モニタ実行]** をクリックする。
3. 設定内容が変更されている場合は、「確認」画面で保存の確認が表示されますので、**[はい]** を選択して「認証情報入力」画面を表示する。



集中コントローラ系統
集中コントローラの系統を表示します。

集中コントローラ名称
集中コントローラの名称を表示します。

パスワード入力欄
集中コントローラの初期設定用のパスワードを入力します。

ID入力欄
集中コントローラの初期設定用のIDを入力します。

同内容入力用チェックボックス
IDとパスワードがNo.1の集中コントローラと同じ場合、チェックボックスを入れます。

4. モニタを実行する集中コントローラのメンテナンスユーザの ID とパスワードを入力する。
   ID とパスワードが No.1 の集中コントローラと同じ場合、「No.1 と同じ」チェックボックスにチェックを入れてください。
5. **[OK]** をクリックすると集中コントローラに対して設定状態のモニタが実行され、初期設定ツール上に設定内容が反映されます。

お知らせ

- モニタに失敗した場合、「接続構成設定」で登録されている集中コントローラの設定状態は、初期設定ツール上の設定内容に反映されません。
  「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。

[5] 設定状態の送信

ツールバーの **[送信]** − **[設定送信実行]** をクリックして、初期設定ツールの全ての設定内容を集中コントローラに送信します。

お知らせ

- 「接続構成設定」で設定された全集中コントローラの IP アドレスに対して設定データを一括で送信します。
- 設定が必要な全ての項目が入力、設定されていることを送信前に必ずご確認ください。設定されていない項目はすべて未設定として全集中コントローラに送信されます。
- 設定変更する場合は、一度モニタし収集した設定を保存してから、設定変更を行なった上で設定データを送信してください。

[6] 温度表示の変更

ツールバーの **[オプション]** − **[温度表示]** で初期設定ツールの温度表示を摂氏（℃）または華氏（℉）から選択できます。

お知らせ

- 摂氏 / 華氏の切り替えは、初期設定ツールで表示される単位の切り替えであり、集中コントローラごとで用いる単位の設定ではありません。集中コントローラの表示単位を切り替えるには、**[基本設定]** − **[基本システム設定]** の「温度表示単位」にて設定してください。

[7] 課金試運転チェックシート出力

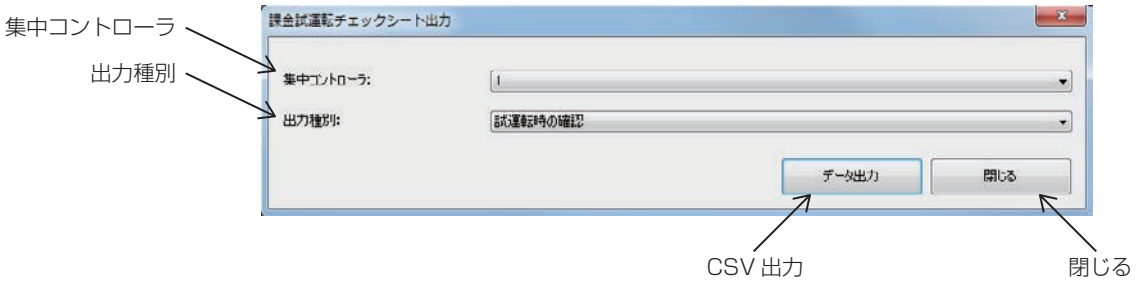
課金試運転に用いるチェックシートを出力します。

お知らせ

- チェックシートは初期設定ツールの設定内容に基づいて出力します。
  AE-200J/AE-50J/EW-50J と初期設定ツールの設定が異なっている場合は、正しく課金試運転できないため、「[5] 設定状態の送信」を行ってから課金試運転を開始してください。

手順

1. ツールバーの **[オプション]** − **[課金試運転チェックシート出力]** をクリックする。



2. 「集中コントローラ」のプルダウン（▼）をクリックして、出力する集中コントローラの番号を選択する。

お知らせ

- 集中コントローラの番号は「6-5-1. 接続構成設定」で設定した番号です。

3. 「出力種別」のプルダウン（▼）をクリックして、1 回目の試運転は **[試運転時の確認]** を選択する。2 回目の試運転は **[10 日後の確認]** を選択する。3 回目の試運転は **[精算日の翌日の確認]** を選択する。
4. **[データ出力]** をクリックする。
5. ファイル名と保存先を設定して **[保存]** をクリックする。

お知らせ

- チェックシートの内容については、「7. 課金試運転」を参照してください。

[8] ヘルプ

ツールバーの [**ヘルプ**] − [**バージョン情報**] をクリックすると、お使いの初期設定ツールのバージョン情報が表示されます。

[9] 終了

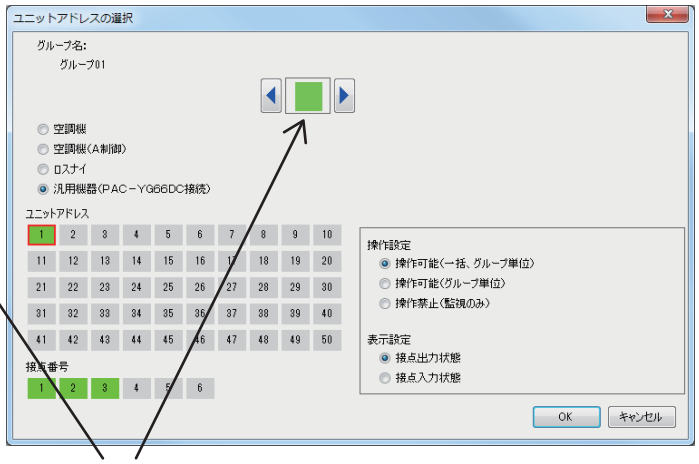
初期設定ツールを終了します。

6-4-4. ユニットアドレス選択画面

グループ設定画面などで表示される、ユニットアドレス選択画面、グループ登録画面では、選択可能なユニットアドレス、グループが表示されます。
クリックすると選択され、背景が黄緑色になります。選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。**[OK]** をクリックすると選択を完了し画面が閉じます。**[キャンセル]** で選択をキャンセルして画面が閉じます。既に他に登録されているアドレス、グループは、背景が灰色となり、選択できません。
グループ設定画面で表示されるユニットアドレス選択画面では、アイコンを変更できます。アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックします。選択したアイコンは、AE-200J/AE-50J の液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50J の Web ブラウザ上に表示されます。

空調機、空調機（A制御）、ロスナイの場合

汎用機器の場合



アイコン選択

システムコントローラの場合

リモコンの場合

ブロック設定の場合(連動ロスナイ設定も同様)

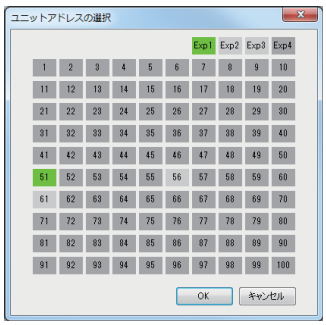
冷媒系設定（室内機）の場合（環境MCも同様）

冷媒系設定（室外機）の場合

エネルギー管理ブロック設定の場合

計量MC設定の場合

計量設定の場合



6-4-5. その他

- 基本システム設定の名称は最大 40 文字（全角 / 半角）まで入力できます。
  その他の設定画面の名称は、最大 20 文字（全角 / 半角）まで入力できます。
- 名称の設定では、次の文字は使用できません。　＜＞＆”‘（半角）

6-4-6. 初期設定ツールの準備と流れ

AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定変更を行う場合（初期設定済みのシステムに対して）は、必ず最初に初期設定ツールで設定状態のモニタを実施し、以下の手順に従って実施してください。手順が異なると正常に設定できない場合があります。

手順

1. パソコン (初期設定ツール）と AE-200J/AE-50J/EW-50J を LAN で接続する。
2. 初期設定ツールを立ち上げる。
3. **[新規作成]** または **[開く]** をクリックする。
   パソコンに保存されている設定データを読み込む場合は、**[開く]** を選択してください。
   それ以外は **[新規作成]** を選択してください。
4. **[基本設定]** − **[接続構成設定]** で、AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを登録する。
   詳細は「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。
5. ツールバーの **[モニタ]** − **[モニタ実行]** をクリックして、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定情報を初期設定ツールに読み込みます。
   ※ ID とパスワードは AE-200J/AE-50J/EW-50J の保守ユーザーの ID とパスワードを入力してください。
6. ツールバーの **[ファイル]** − **[名前をつけて保存]** をクリックして、設定変更前の初期設定データを保存する。

   お知らせ
   - 設定変更前のデータとして、バックアップのために「日付＋変更前」などのファイル名で保存してください。
   - この段階では AE-200J/AE-50J/EW-50J には設定送信されません。
7. 初期設定の変更を行う。「6-5. 基本設定」、「6-6. ユニット設定」、「6-7. 課金設定」を参照してください。
8. ツールバーの **[ファイル]** − **[名前をつけて保存]** をクリックして、設定データをパソコンに保存する。

   お知らせ
   - 設定変更前のファイル名と別ファイル名「日付＋変更後」などのファイル名で保存してください。
   - この段階では AE-200J/AE-50J/EW-50J には保存されません。
9. ツールバーの **[送信]** − **[設定送信実行]** をクリックして、接続構成設定で登録している AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定データを上書きする。

6-5. 基本設定

6-5-1. 接続構成設定

集中コントローラと拡張コントローラの接続構成を初期設定ツールに登録します。
[基本設定] − **[接続構成設定]** をクリックして接続構成設定画面を開きます。

お知らせ

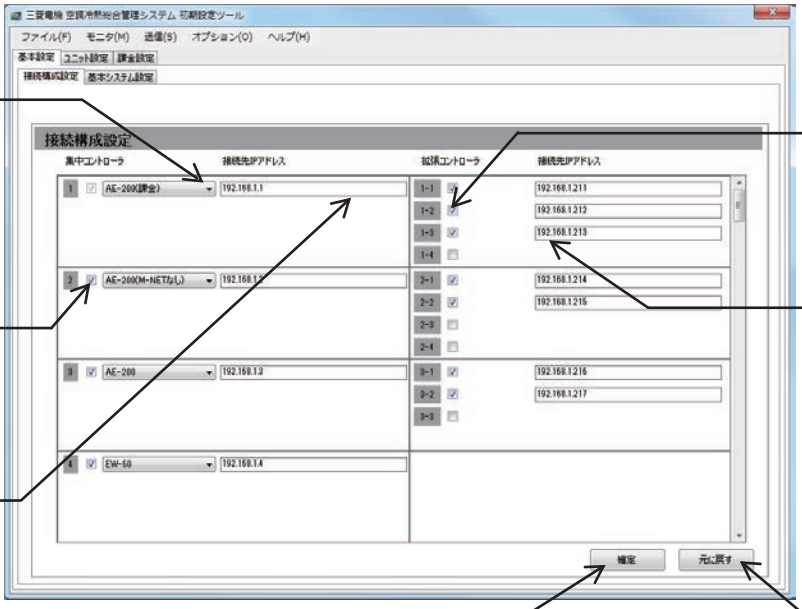
- 集中コントローラを最大 40 台まで接続設定することができます。
  [AE-200（課金）]、**[AE-200（M-NET なし）]** に設定された AE-200J は 40 台に含まれません。

手順

1. 「種別選択」のプルダウン（▼）をクリックし、**[AE-200(課金)]** を選択する。
2. 「接続先 IP アドレス」に AE-200J の IP アドレスを入力する。
3. 「拡張コントローラ追加」のチェックボックスをクリックする。
4. 「拡張コントローラ IP アドレス」に AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
5. AE-200J が複数台ある場合は、「集中コントローラ追加」のチェックボックスをクリックして、手順 1 ～ 4 を設定する。
6. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

お知らせ

- 集中コントローラの「種別選択」にて選択された集中コントローラ種別により設定可能な項目が異なります。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスは本設定画面で変更することはできません。
  AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを設定する場合は本体液晶画面（AE-200J/AE-50J）、初期設定用 Web ブラウザまたは簡易 IP アドレス設定スイッチ（EW-50J のみ）で設定してください。



種別選択
集中コントローラの種別を設定します。

集中コントローラ追加
集中コントローラを追加します。
1 個目はレ点が入ったままで変更できません。

接続先 IP アドレス
集中コントローラの IP アドレスを設定します。

拡張コントローラ追加
拡張コントローラを追加します。

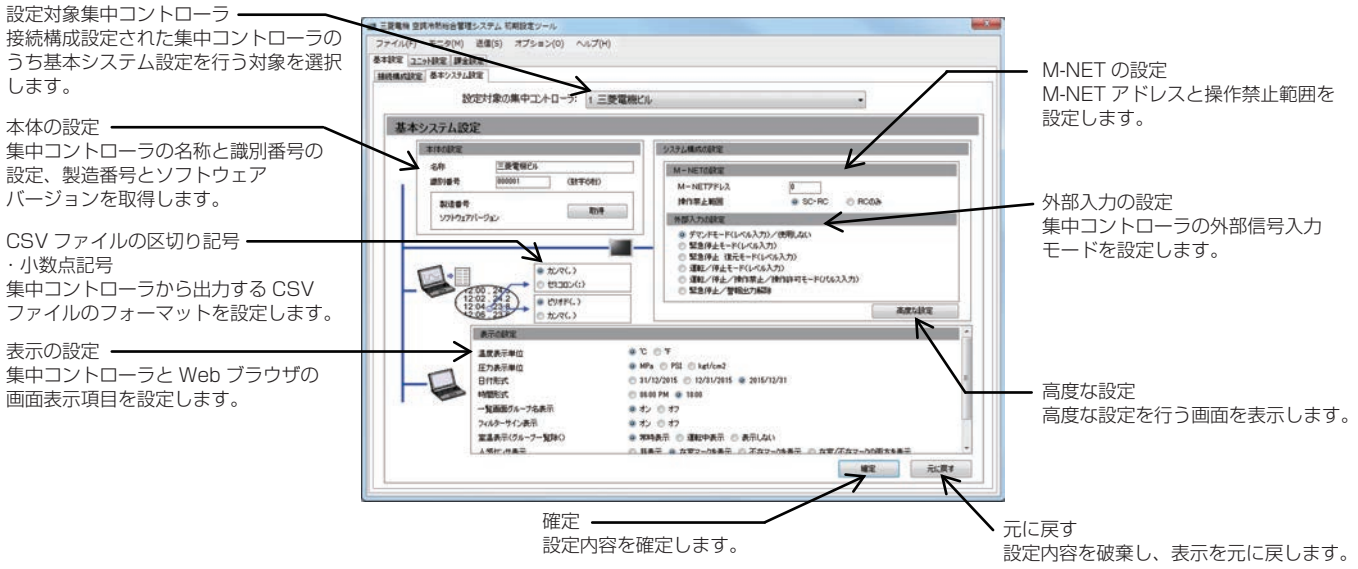
拡張コントローラ IP アドレス
拡張コントローラの IP アドレスを設定します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

6-5-2. 基本システム設定

[基本設定] − **[基本システム設定]** をクリックして基本システム設定画面を開きます。ここでは集中コントローラごとに本体の設定、M-NET 設定などの設定を行います。



[1] 本体の設定

「本体の設定」で AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号を設定します。
[取得] をクリックすると、「設定対象の集中コントローラ」で選択された AE-200J/AE-50J/EW-50J と通信を行い、製造番号とソフトウェアバージョンを表示することができます。

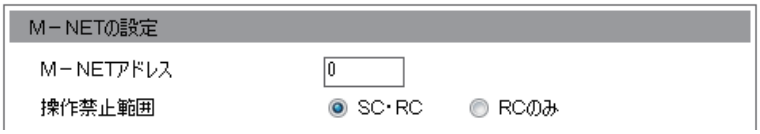
手順

1. 「名称」に最大 40 文字（全角 / 半角）でユニット名称を入力する。
   ここで入力した名称は、異常メール通報および警告メールの送信者名としても使用されます。
2. 「識別番号」に 6 桁の数字で識別番号を入力する。
   集中コントローラを別番号で管理する場合に使用します。

お知らせ

- 「設定対象の集中コントローラ」で選択可能な集中コントローラごとに、名称、識別番号の設定することができます。
- 「設定対象の集中コントローラ」に設定した名称が表示されます。
- 識別番号は、異常メールおよび警告メールの送信者識別番号としても使用されます。
- ソフトウェアアップデートを行った場合は、「ソフトウェアバージョン」の ####（※※※※）とアップデートファイル (AExx_FW####_ ※※※※ .dat) の # が同一になっていることを確認してください。

[2] M-NET 設定



手順

1. 「M-NET アドレス」に **[0]** を入力する。（特に指定がない場合）
2. 集中コントローラで手元リモコン操作が禁止されている場合に、下位システムコントローラと手元リモコンの両方からの操作を禁止するには、**[SC・RC]** を選択し、手元リモコンからの操作のみを禁止するには **[RC のみ]** を選択する。

[3] 外部入力の設定

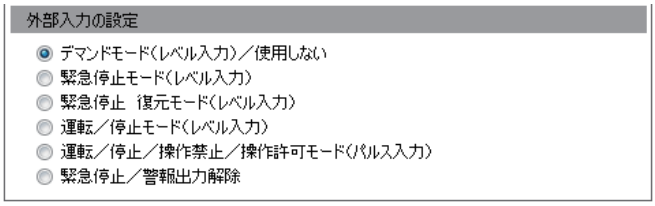
外部入力の設定部で、外部接点入力機能を設定します。外部接点入力機能を用いると、別売の外部入出力アダプタ（PAC-YG10HA）を介してレベル信号やパルス信号で空調機の一括停止、一括運転などが可能となります。

お知らせ

- デマンドコントローラと接続して、デマンドレベル（1 ～ 4）信号を入力することで、ピークカット制御ができます。
- ピークカット制御を使用する場合は、別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J のそれぞれで外部入力の設定を行ってください。

お願い

- 詳細は AE-200J の据付工事説明書を確認してください。



手順

1. AE-200J の据付工事説明書を参照して
   [デマンドモード（レベル入力）／使用しない]、**[緊急停止モード（レベル入力）]**、
   [緊急停止　復元モード（レベル入力）]、**[運転／停止モード（レベル入力）]**、
   [運転／停止／操作禁止／操作許可モード（パルス入力）]、**[緊急停止／警報出力解除]**
   から選択する。

[4] 高度な設定

[**高度な設定**] をクリックして、高度な設定画面を開きます。

(1) 時刻マスタ／サブ設定

手順

1. 「時刻マスタ設定」で [**マスタ**] または [**サブ**] を選択し設定する。
   接続されている機器を 2 台の AE-200J で監視･操作する場合、1 台を [**マスタ**]、もう 1 台の AE-200J を [**サブ**] に設定してください。
   「時刻マスタ設定」でサブとして設定された AE-200J は、マスタとして設定した AE-200J の時刻に自動的に同期します。

お願い

- AE-200J が 1 台の場合はマスタ（工場出荷設定）に設定してください。
- AE-50J/EW-50J は複数台接続していても、全てマスタ（工場出荷設定）に設定してください。

(2) スケジュール　季節設定

手順

1. 「スケジュール　季節設定」で、有効／無効を設定する。
   週間スケジュールで季節設定を有効にするには [**有効**] を、無効にするには [**無効**] を選択する。
   特に指定のない限り、工場出荷時の設定の [**有効**] のままにしておきます。

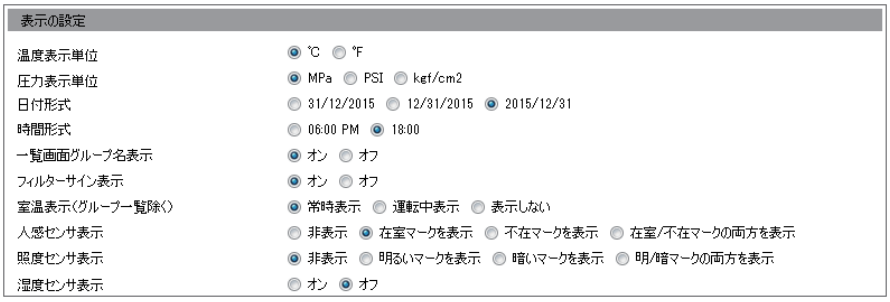
(3) 旧機種互換モード

手順

1. 「旧機種互換モード」で、[**オン**] または [**オフ**] を選択する。
   デュアルオートモードと、手元リモコンの操作禁止（タイマ、風向、風速）を使用しない場合は [**オン**] を選択してください。
   デュアルオートモードに対応している室内ユニットと非対応の室内ユニットが混在している場合、[**オン**] を選択することで非対応に統一することができます。手元リモコンの操作禁止（タイマ、風向、風速）が対応している機種と非対応の機種が混在している場合は [**オン**] を選択することで、非対応で統一できます。

[5] 表示の設定

「表示の設定」で、表示関連の設定を行います。

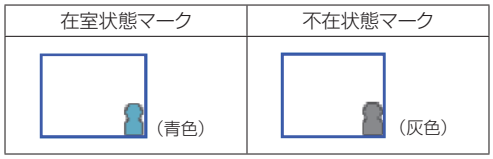


手順

1. 「温度表示単位」で、温度単位を選択する。
2. 「圧力表示単位」で、圧力単位を選択する。
3. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択する。
4. 「時間形式」で、時間の表示形式を選択する。
5. 「一覧画面グループ名表示」で、管理者用 Web ブラウザの「運転状態のモニタ／操作」画面のグループ名表示するかを設定します。表示する場合は **[オン]** を、表示しない場合は **[オフ]** を選択する。
6. 「フィルターサイン表示」で、Web ブラウザの「運転状態のモニタ／操作」画面にフィルターサイン表示するかを設定します。表示する場合は **[オン]** を、表示しない場合は **[オフ]** を選択する。
   [オフ] を選択した場合、室内ユニットがフィルターサインを検出した場合でも、フィルターサインは「運転状態のモニタ／操作」画面に表示されません。
   フィルターを定期的に清掃し、サイン表示が不要な場合は、**[オフ]** を選択してください。
7. 「室温表示（グループ一覧を除く）」で、Web ブラウザの「運転状態モニタ／操作」画面に温度表示するかを設定します。温度を常に表示するには **[常時表示]**、運転中だけ表示するには **[運転中表示]**、常に表示しない場合は **[表示しない]** を選択する。

   お知らせ

   - 暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなることがあります。室内表示する場合は、**[動作中表示]** を選択することを推奨します。
8. 「人感センサ表示」で、ME リモコン（PAR-F30ME）に搭載されている人感センサが検知する在室／不在状態の表示／非表示を設定します。



[非表示] を選択する。
運転状態のモニタ／操作画面に「在室中／不在時」マークを表示しません。
[在室マークを表示] を選択する。
ME リモコンのセンサが在室を検知した場合に「在室中」マークを表示します。
[不在マークを表示] を選択する。
ME リモコンのセンサが不在を検知した場合に「不在時」マークを表示します。
[在室／不在マークの両方を表示] を選択する。
検知状態に応じて「在室中」または「不在時」マークを表示します。

お知らせ

- 人感センサが搭載されていない手元リモコンの場合は、在室／不在状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。

9. 「照度センサ表示」で、ME リモコン（PAR-F30ME）に搭載されている照度センサで検知される明るい／暗い状態の表示／非表示を設定します。

明るい状態マーク	暗い状態マーク
（黄色）	（灰色）

[非表示] を選択する。
運転状態のモニタ／操作画面に明るい／暗い状態マークを表示しません。
[明るいマークを表示] を選択する。
部屋の明るさレベルがあらかじめ設定された明るさレベルに達したときに明るい状態マークを表示します。
[暗いマークを表示] を選択する。
部屋の暗さレベルがあらかじめ設定された暗さレベルに達したときに暗い状態マークを表示します。
[明／暗マークの両方を表示] を選択する。
検知状態に応じて明るいまたは暗い状態マークを表示します。

お知らせ

- 照度センサが搭載されていない手元リモコンの場合は、明るい／暗い状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。
- 明／暗の検知値は、ME リモコン（PAR-F30ME）で設定します。

[6] CSV ファイルの区切り記号・小数点記号

手順

1. AE-200J の CSV データ（按分結果）と料金計算ツールの CSV データ（料金計算結果）のファイル形式を設定する。
設定例、小数点記号：ピリオド　／　区切り記号・カンマ

お願い

- 料金計算ツール **[詳細設定]** の「CSV ファイルの小数点記号」と「CSV ファイルの区切り記号」の設定内容を合わせてください。
設定が異なると「CSV ファイルのフォーマットが不正です。取得先を確認してください。」のエラーが表示します。
- 複数の AE-200J が接続されている場合は全て同一設定にしてください。

[7] 設定の保存

[1] ～ [6] の設定後、**[確定]** をクリックする。

6-6. ユニット設定

初期設定ツールによるユニット設定について説明します。

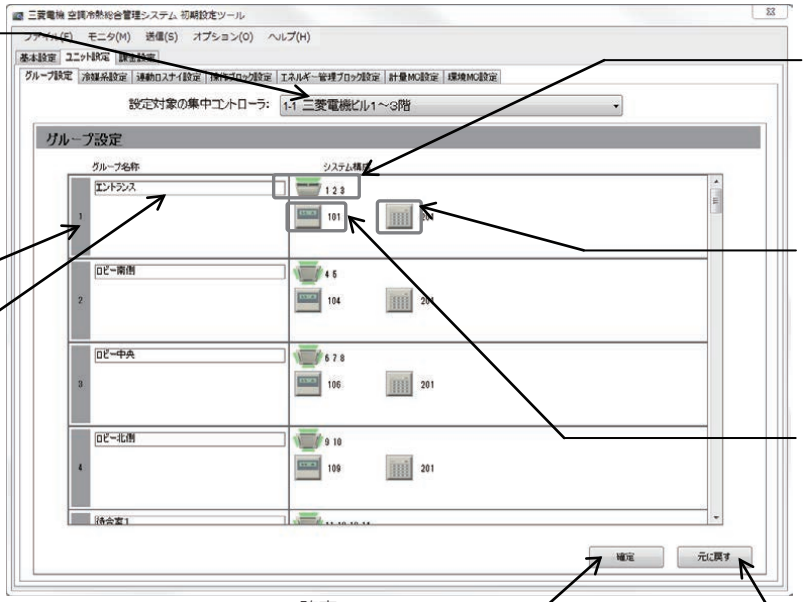
6-6-1. グループ設定

お知らせ

- 1 グループには最大 16 台の空調機を登録できます。
- 空調機、A 制御空調機、ロスナイ、汎用機器は同一グループに登録することはできません。
- ロスナイを登録する場合は、24 時間換気やナイトパージの機能があるユニットとなしのユニットを同一グループに登録しないでください。
- 既に他のグループに登録されているアドレスと連動ロスナイ設定、計量 MC 設定、環境 MC 設定に設定されているアドレスは、背景が灰色となり、選択できません。

手順

1. **[ユニット設定]** – **[グループ設定]** をクリックしてグループ設定画面を開きます。
   AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続される空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器、リモコン、システムコントローラのグループ登録を行います。



2. 「グループ名称」にグループ名を最大 20 文字（全角／半角）で入力する。
3. 「ユニット登録」の（ ）をクリックして、「ユニットアドレスの選択」画面を表示する。
4. **[空調機]**、**[空調機（A 制御）]**、**[ロスナイ]**、**[汎用機器（PAC-YG66DC 接続）]** を選択する。
5. 登録するユニットのアドレス番号を選択する。
6. **[汎用機器（PAC-YG66DC 接続）]** を選択した場合は、汎用機器が接続されている接点番号を選択する。
7. アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックする。
   ここで選択したアイコンは、AE-200J/AE-50J の液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50J の Web ブラウザに表示されます。
8. **[汎用機器（PAC-YG66DC 接続）]** を選択した場合は、「操作設定」で、汎用機器の操作可能範囲を設定する。
   [操作可能（一括、グループ単位）] を選択した場合は、汎用機器を一括またはグループごとに運転／停止操作が可能になります。
   [操作可能（グループ単位）] を選択した場合は、汎用機器をグループごとに運転／停止操作が可能になります。
   [操作禁止（監視のみ）] を選択した場合は、汎用機器の運転／停止操作はできません。
9. **[汎用機器（PAC-YG66DC 接続）]** を選択した場合は、「表示設定」で、運転状態のモニタ／操作画面上のアイコンにユニットの運転／停止状態を反映するために、どの状態を使用するかを選択する。
   汎用機器に出力する状態を使用するときは **[接点出力状態]**、汎用機からの入力状態を使用するときは **[接点入力状態]** を選択します。
10. 設定完了後に、**[OK]** をクリックする。
11. 「リモコン登録」の（ ）をクリックする。
    ユニットアドレスの選択画面を表示します。

12. 登録する ME リモコンのアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。

お知らせ

- 1 グループには最大 2 台の ME リモコンを登録できます。
- 1 グループには ME リモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- MA リモコンをグループに登録する必要はありません。

13. 「システムコントローラ登録」の（ ）をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
14. 登録するシステムコントローラのアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。

お知らせ

- 1 グループには ME リモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。

15. 各グループ設定完了後、**[確定]** をクリックする。

お知らせ

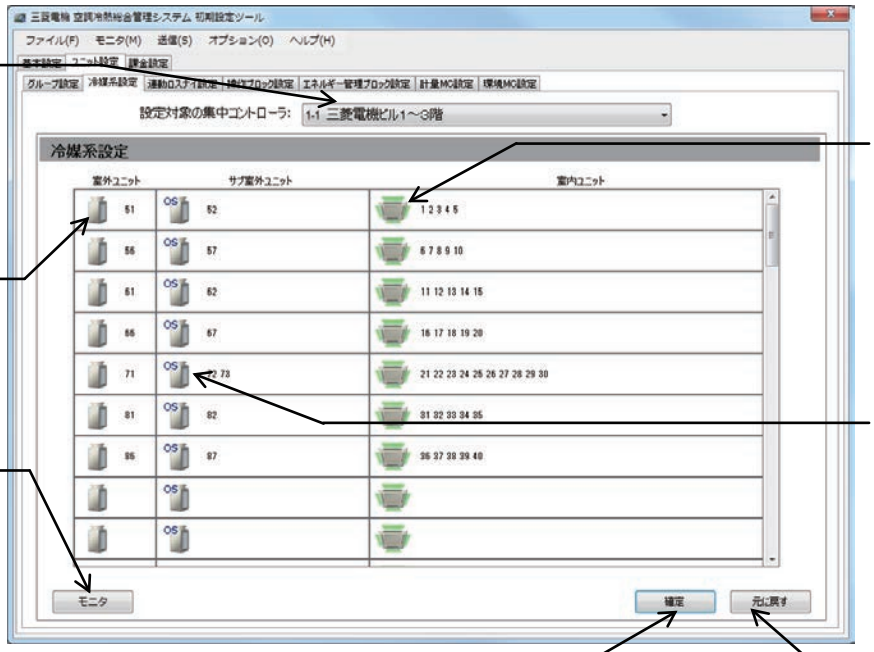
- 「設定対象の集中コントローラ」で集中コントローラを切り替えて、グループ設定を行ってください。
- 「設定対象の集中コントローラ」では、「6-5-1. 接続構成設定」にて **[AE-200（課金）]**、**[AE-200（M-NET なし）]** に設定したコントローラは選択できません。
- 汎用インターフェース（PAC-YG66DC）1 台に汎用機器を最大 6 台接続できます。各接点はそれぞれ 1 台（ユニット）とカウントします。
- 1 グループには最大 16 ユニットの汎用機器（1 接点は 1 ユニット）を登録できます。
- 空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイが登録されているグループを、汎用機器グループに変更する場合、まず空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイの登録を取り消してください。
- 汎用機器グループには、リモコンまたはシステムコントローラを登録することはできません。

6-6-2. 冷媒系設定

室外ユニット、サブ室外ユニット、および室内ユニットの接続状態について設定を行います。

手順

1. **[ユニット設定]** − **[冷媒系設定]** をクリックする。
   冷媒系設定画面を開きます。



2. ユニットが正しく接続されている状態で **[モニタ]** をタッチして AE-200J から接続情報をモニタする。
3. 「室外ユニット」の（ ）をクリックする。
   室外機のユニットアドレス選択画面を表示します。
4. 登録する室外機のアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。
5. 「サブ室外ユニット」の（ ）をクリックする。
   サブ室外機のユニットアドレス選択画面を表示します。
6. 登録するサブ室外機のアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。
7. 「室内ユニット」の（ ）をクリックする。
   室内機のユニットアドレス選択画面を表示します。
8. 登録する室内機のアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。
9. 各冷媒系設定完了後、**[確定]** をクリックする。

お知らせ

- 実機の接続状態と一致させてください。また、AE-200J 本体液晶画面の **[初期設定]** − **[冷媒系表示]** を開いて、同一であることを確認してください。差異があった場合、正しく課金計算が行われません。
- A 制御機種がグループ登録されている場合は、「室外ユニット」と「室内ユニット」に A 制御機種のアドレスが表示されます。
- **[モニタ]** を行ったときに「警告メッセージ」が表示された場合は、空調機の接続情報と初期設定ツールのグループ設定／計量 MC 設定／環境 MC 設定が誤っている可能性があります。
  初期設定ツールの設定内容を修正してから再度モニタしてください。

6-6-3. 連動ロスナイ設定

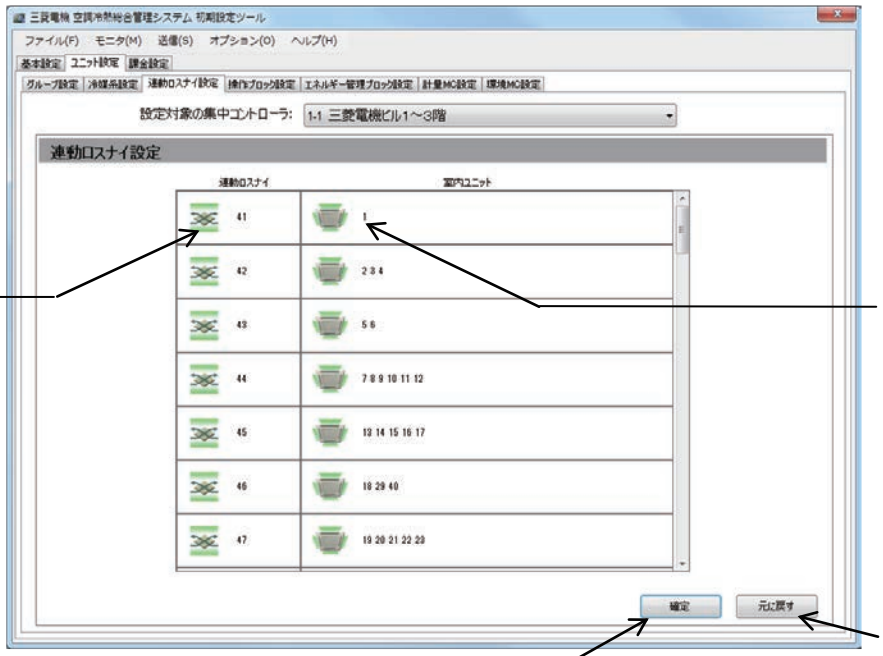
ロスナイ・加熱加湿付ロスナイを室内ユニットの運転／停止に連動して動作させることができます。

お知らせ

- ロスナイを運転／停止しても室内ユニットは連動しません。

手順

1. **[ユニット設定]** − **[連動ロスナイ設定]** をクリックする。
   連動ロスナイ設定画面を開きます。



連動ロスナイ登録
クリックして連動ロスナイを登録する画面を表示します。

連動元室内ユニット登録
クリックして連動元の室内ユニットを登録する画面を表示します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

確定
設定内容を確定します。

2. 「連動ロスナイ登録」の [ ] をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面を表示します。
3. 連動させるロスナイのアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。
4. 「連動元室内ユニット登録」の [ ] をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面を表示します。
5. 連動元室内ユニットのアドレス番号を選択して **[OK]** をクリックする。
   1台のロスナイに対し、最大 16 台の室内ユニットを登録できます。
6. 各連動ロスナイ設定完了後、**[確定]** をクリックする。

6-6-4. 操作ブロック設定

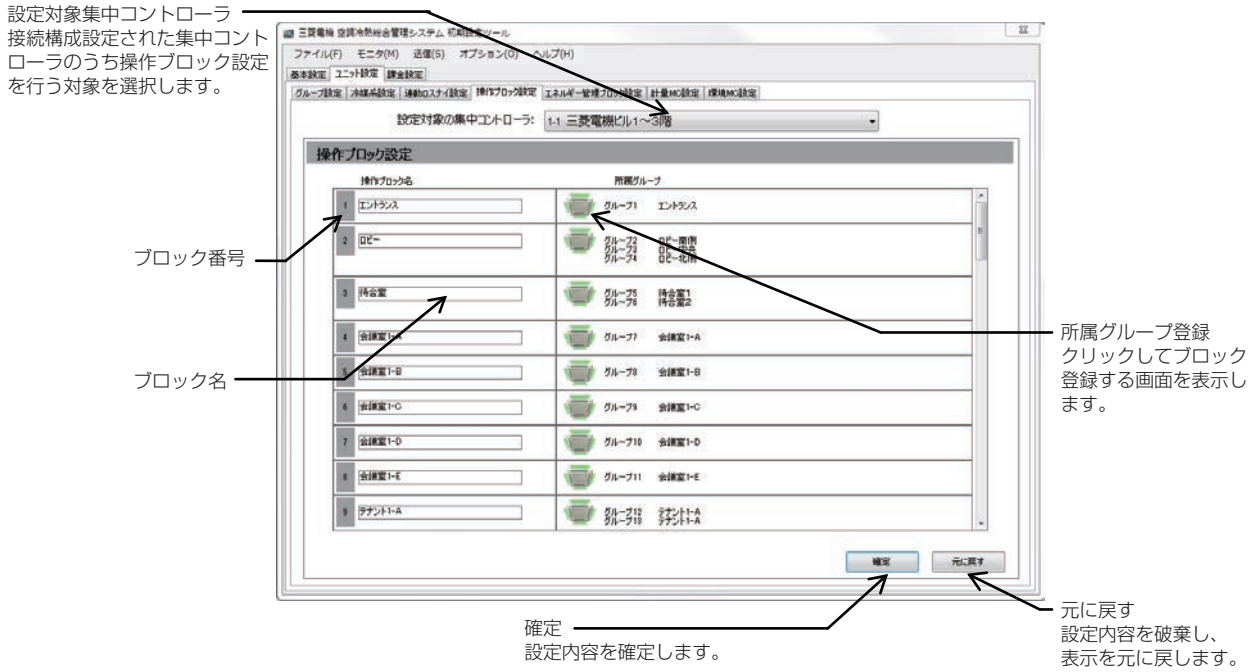
ブロック設定を行うことで、ブロックに登録している複数のグループを AE-200J 本体液晶画面と Web ブラウザ上で一括で状態監視／操作できます。

お知らせ

- 24 時間換気のロスナイに対してピークカット停止制御を行うと、換気が停止するため、24 時間換気のロスナイは別ブロックに設定してください。

手順

1. **[ユニット設定]** − **[操作ブロック設定]** をクリックする。
   操作ブロック設定画面を開きます。



2. 「操作ブロック名」に、ブロック名称を最大 20 文字（全角／半角）で入力する。
   ブロック名称は液晶画面と Web ブラウザに表示されます。
3. 「所属グループ登録」の [ ] をクリックする。
   グループの選択画面を表示します。
4. 登録したいグループ番号を選択して **[OK]** をクリックする。
   （カーソルをグループ番号に合わせると、グループ名称が表示されます。）
5. 各操作ブロック設定完了後、**[確定]** をクリックする。

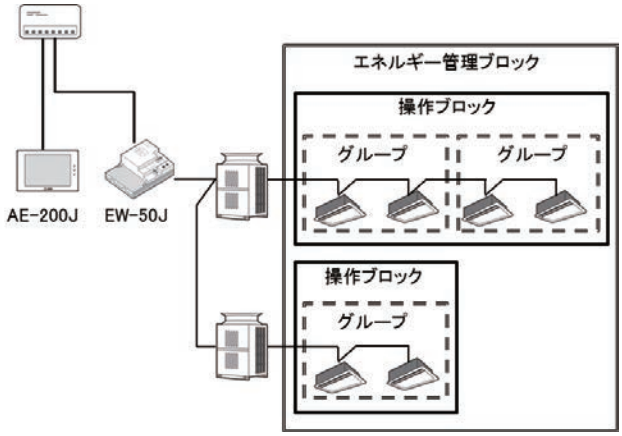
6-6-5. エネルギー管理ブロック設定

電力按分課金支援機能の集計単位として用いる、エネルギー管理ブロック (テナント) の設定を行います。

概要

(1) エネルギー管理ブロック (テナント) とは？

- エネルギー管理ブロック (テナント) とは、料金計算結果を表示・出力する単位です。
- エネルギー管理ブロック (テナント) は、操作ブロックの集まりです。
- 操作ブロックは、グループの集まりです。



(2) ロスナイ (加熱加湿付ロスナイを含む) の設定

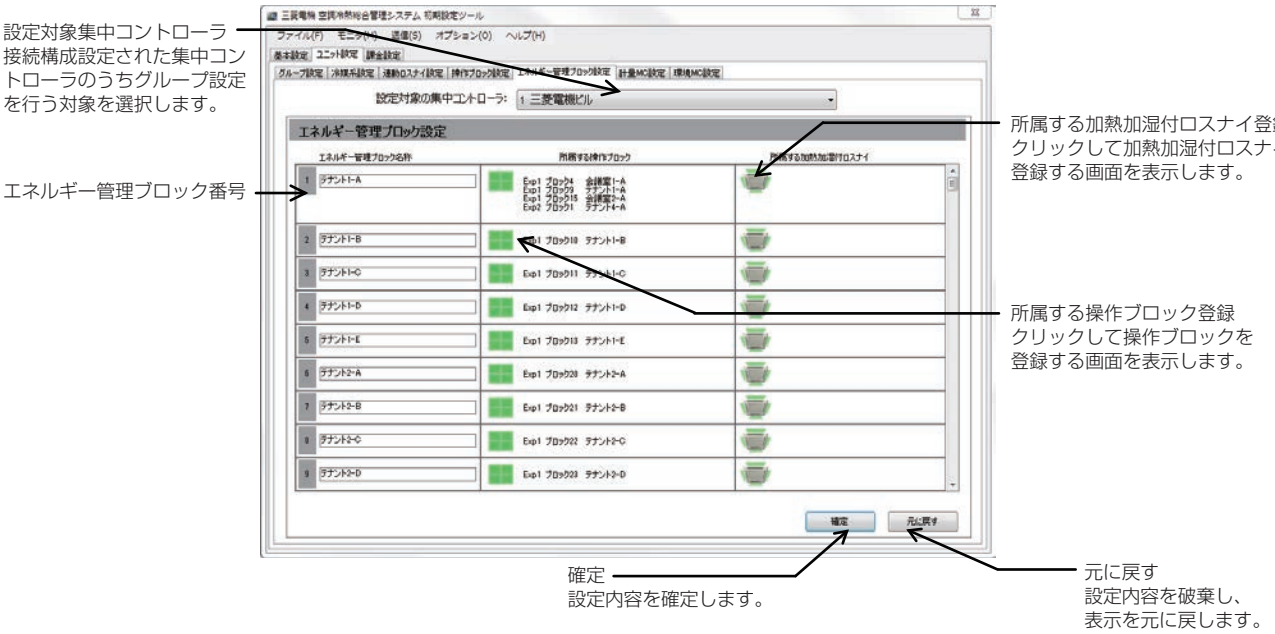
ロスナイのシステム構成により、設定してください。

	使用方法		エネルギー管理ブロック設定方法
ロスナイ (加熱加湿機能なし)	ロスナイグループのみの場合		電力按分する場合は、エネルギー管理ブロック (テナント) に設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合		設定は不要です。(設定できません) お知らせ ・ ロスナイの電力量は連動元の室内ユニットの運転状態により配分されます。
加熱加湿付 ロスナイ	ロスナイグループのみの場合		エネルギー管理ブロック (テナント) に設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合	同一テナントの室内ユニットのみと連動している場合	連動元の室内ユニットと同一のエネルギー管理ブロック (テナント) に設定してください。
		複数のテナントにまたがった連動をしている場合	以下のいずれかの設定としてください。 ＜方法１＞ 独立したエネルギー管理ブロック (テナント) に設定し、電力料金は、共益費などに含めてご請求してください。 ＜方法２＞ テナントの設定から外してください。 この場合、加熱加湿付ロスナイの電力量は連動元の室内ユニットの運転状態に応じて配分されます。

[2] エネルギー管理ブロック設定

手順

1. **[ユニット設定]** − **[エネルギー管理ブロック設定]** をクリックする。
   エネルギー管理ブロック設定画面を開きます。



2. 「エネルギー管理ブロック名称」を最大 20 文字（全角／半角）で入力する。

お知らせ

- AE-200J をまたいでいるエネルギー管理ブロックの名称を同一にすることで計算結果を統合することができます。詳細は「4-1-2. 料金計算ツールの設定」の「(4) 料金計算結果の表示順序 (番号順／名称順) ・同一名称のエネルギー管理ブロック統合 (統合する／統合しない)」を参照してください。

3. 「所属する操作ブロック」の（ ）をクリックする。
   操作ブロックの選択画面を表示します。
4. 登録する操作ブロックの拡張コントローラ **[Exp1]** ～ **[Exp4]** から選択する。
5. 登録する操作ブロックのブロック番号を選択して **[OK]** をクリックする。

お知らせ

- ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称が表示されます。

6. 「所属する加熱加湿付ロスナイ」の（ ）をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面を表示します。
7. 登録する加熱加湿付ロスナイの拡張コントローラ **[Exp1]** ～ **[Exp4]** から選択する。
8. 登録する加熱加湿付ロスナイのユニットアドレスを選択して **[OK]** をクリックする。

お知らせ

- ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称が表示されます。

9. 各エネルギー管理ブロック設定完了後、**[確定]** をクリックする。

6-6-6. 計量MC設定

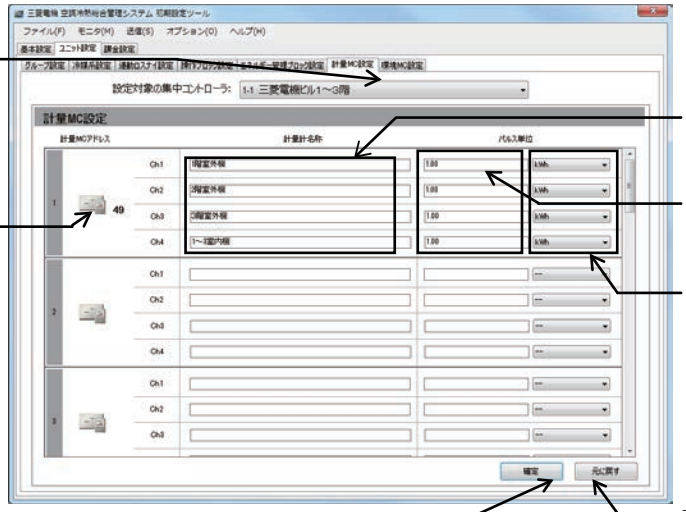
集中コントローラで計量計を使用するために計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）の登録と、計測設定を行います。

手順

1. **[ユニット設定]** − **[計量 MC 設定]** をクリックする。
   計量 MC 設定画面を開きます。

お知らせ

- 1 台の集中コントローラに計量用計測コントローラ(PAC-YG60MC)は 15 台まで登録できます。AE-200J システム　1 系統には最大で 20 台まで接続できます。
- 計量値からピークカット制御を利用する場合は、別途、省エネピークカット制御ライセンスの登録が必要となります。
- グループ設定、連動ロスナイ設定、環境 MC 設定で登録されていないアドレスのみ選択可能です。



2. 「計量 MC アドレス」の（ ）をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面を表示します。
3. 登録する計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）のアドレス番号を選択する。
   計量用パルス入力を使用する場合は、**[PI]** を選択してください。
4. 「計量計名称」の Ch1 ～ 4 に計量計の名称を入力する。
   最大 20 文字（全角／半角）で入力します。
5. 「パルス単位」を入力し、「計量単位」を選択する。

お知らせ

- 計量単位は、**[kWh]**、**[m^3]**、**[MJ]**、または **[-- (単位なし)]** から選択できます。
- 計量計を使用しない場合は、パルス単位は空白、計測単位は **[-- (単位なし)]** を選択してください。

6. 計量 MC 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

お願い

- 使用する計量計に応じてパルス単位を設定してください。正常に設定されたことを確認するため、計量計のメータ値と計量用パルス入力より取得した値または計量用計測コントローラがカウントした値を確認し、一定時間経過後に両方の値が同じ値だけ増加していることを確認してください。(計量用パルス入力の値と計量用計測コントローラの値は、液晶画面と管理者用 Web ブラウザで確認できます。)「7. 課金試運転」を参照してください。

6-6-7. 環境MC設定

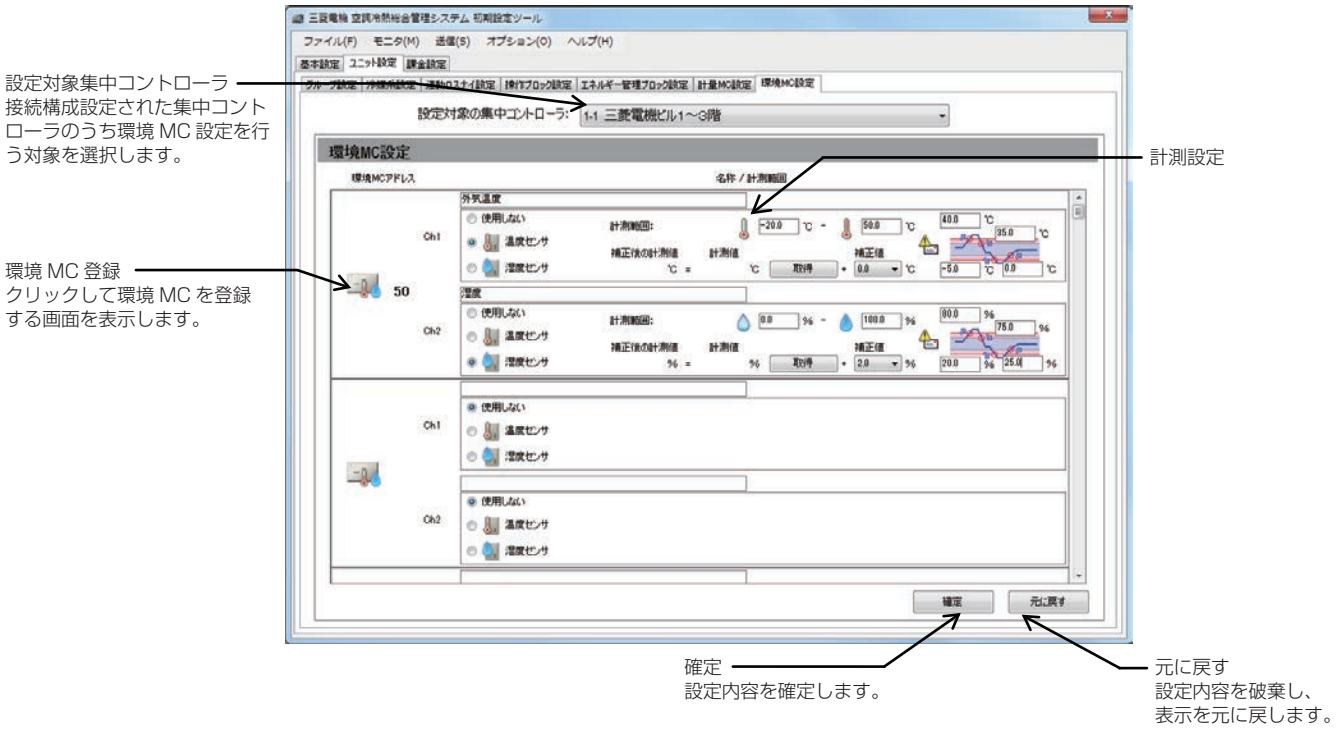
温度センサ、湿度センサを使用するために環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）の登録と計測設定を行います。

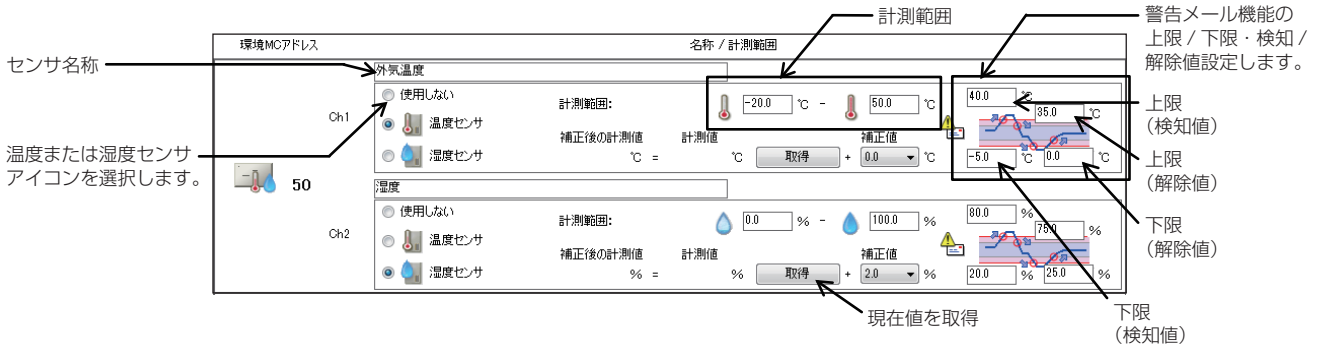
お知らせ

- グループ設定、連動ロスナイ設定、計量 MC 設定で登録されていないアドレスのみ選択可能です。

手順

1. **[ユニット設定]** − **[環境 MC 設定]** をクリックする。
   環境 MC 設定画面を開きます。





2. 「環境 MC アドレス」の（ ）をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面を表示します。
3. 登録する環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC) のアドレス番号を選択し、**[OK]** をクリックする。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。
4. センサの名称を入力する。
   最大 20 文字（全角／半角）で入力します。
5. Ch1、Ch2 のそれぞれで温度センサアイコン（ ）または湿度センサアイコン（ ）を選択する。
   使用しないも選択することができます。
6. センサの計測範囲を入力する。
   Pt センサを接続した場合、− 30° C ～ +60° C で設定してください。
   Pt センサ以外のセンサを接続した場合は、センサの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。
7. 温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信するには、上限および下限温度の両方について検知および解除値を設定する。
   検知／解除を過度に検出しないように、検知値と解除値の差を 1° C 以上離すことを推奨します。
8. 各温度センサまたは湿度センサ設定完了後、**[確定]** をクリックする。

[1] 測定温度 / 湿度値の補正

測定値の補正が必要な場合、補正を行います。
[取得] をタッチして現在値の取得を行い、ご利用環境に合わせて補正値を入力してください。

お知らせ

- 設定対象の集中コントローラに環境用計測コントローラの接続設定が保存されていない場合、**[取得]** をクリックしても「計測値」は表示されません。
- 環境用計測コントローラを初めて登録する場合は、「計測値」のモニタはできません。「計測値」を取得して確認後に「補正値」を入力する場合は、一度、設定情報を集中コントローラに送信する必要があります。環境 MC と温度 / 湿度センサの登録後に、集中コントローラに設定データを送信してください。([5] 設定状態の送信)
- 温度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。− 10.0℃～ +10.0℃の範囲で設定することができます。
- 湿度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。− 10.0% ～ +10.0% の範囲で設定することができます。

6-7. 課金設定

初期設定ツールによる課金設定について説明します。

6-7-1. 課金設定

料金計算を行うための設定を行います。

お知らせ

- 本体液晶画面にて「AE-200 按分」を **[利用する]** に設定してください。
- 電力按分課金支援機能を使用する AE-200J が複数台ある場合、AE-200J ごとに設定が必要です。

手順

1. **[課金設定]** − **[課金設定]** をクリックする。
   課金設定画面を開きます。

2. 「計量計接続按分」で、**[接続する]**、**[接続しない]** を選択する。
   電力量計を使った電力按分を行うには **[接続する]** を選択してください。
   [接続する] を選択することにより、「按分モード設定」を選択することができます。
   電力量計を使用せず、電力量を手入力し料金比率を算出するには **[接続しない]** を選択してください。

   お願い

   - 料金計算ツール **[詳細設定]** の「計量計接続」の **[あり]**/**[なし]** と合わせてください。
     設定が異なると以下のエラーが表示します。
     「料金計算ツールと AE-200 の計量計接続有無が一致していません。詳細設定画面の計量計接続有無設定、及び AE-200 の課金設定が正しく行われていることを確認してください。」

3. 「A 制御機種電源」で、**[室外機・室内機同一電源]**、**[室外機・室内機別電源]** を選択する。
   [室外機・室内機同一電源] とは、A 制御機種の室外機と室内機が同一の電力量計の電源から電源供給を受けている構成であり、**[室外機・室内機別電源]** とは、A 制御機種の室外機と室内機が異なる電力量計の電源から電源供給を受けている構成のことです。

   お知らせ

   - 「計量計接続按分」が **[接続する]** が選択されている場合のみ、選択可能です。
   - AE-200J システム内で **[室外機・室内機同一電源]** と **[室外機・室内機別電源]** は混在できません。

4. 室外ユニットの使用電力量を **[能力セーブ量]**、**[サーモ ON 時間]**、**[FAN 運転時間]** のいずれかで按分するのか選択する。

お知らせ

- 能力セーブ量は、室内機の運転能力（冷媒使用量）×室内機能力係数による按分方式です。
- サーモ ON 時間は、室内機のサーモ ON 時間×室内機能力係数による按分方式です。
- FAN 運転時間は、室内機の FAN 運転 (サーモ ON+ サーモ OFF) 時間×室内機能力係数による按分方式です。

5. 室外機の待機電力量を **[按分する]**、**[按分しない]** から選択する。
室外機の待機電力量について電力按分する場合には **[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には **[按分しない]** を選択します。

6. 室内機の使用電力量を **[按分する]**、**[按分しない]** から選択する。
室内機の待機電力量について電力按分する場合には **[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には **[按分しない]** を選択します。室内機の電力量計を接続しない場合は、**[按分しない]** を選択してください。

7. 室内機の待機電力量を **[按分する]**、**[按分しない]** から選択する。
室内機の待機電力量について電力按分する場合には **[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には **[按分しない]** を選択します。

8. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

各設定により待機電力量の請求先が異なります。

	待機電力量		料金の請求先	
	室外機	室内機※ 1	室外機	室内機
料金に含める※3	按分する	按分する	テナント	テナント
		按分しない	テナント	テナント※２
	按分しない	按分する	テナント※２	テナント
		按分しない	テナント※２	テナント※２
料金に含めない※3	按分する	按分する	ビルオーナー	ビルオーナー
		按分しない	ビルオーナー	テナント※２
	按分しない	按分する	テナント※２	ビルオーナー
		按分しない	テナント※２	テナント※２

※ 1 室内機の使用電力量を **[按分する]** に設定した場合のみ、室内ユニットの待機電力の按分の有無を選択できます。

※ 2 待機電力量按分しないため、使用電力量として計算されます。

※ 3 料金計算ツールにて設定します。

お知らせ

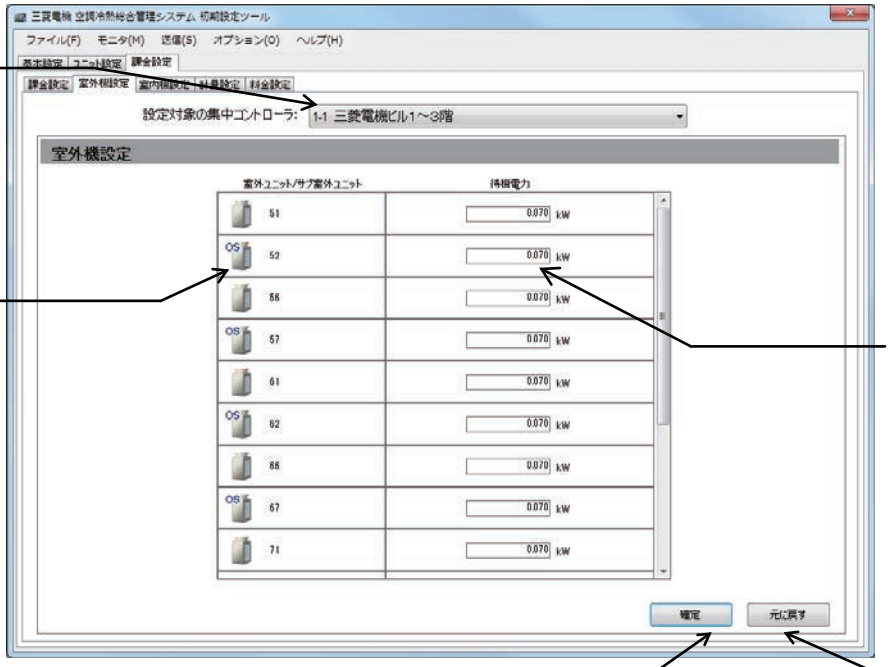
- 待機電力量をテナントに請求せずに、ビルオーナー様負担とする場合は、待機電力量を **[按分する]** に設定し、料金計算ツールにて、「待機電力量の料金計算」を **[料金に含めない]** に設定してください。
- 待機電力量を **[按分しない]** を選択した場合、中間期などの運転台数が少なく運転時間が短い時には、待機電力量が運転していた空調機の使用電力量として按分されることがありますので待機電力量を **[按分する]** 設定をおすすめします。
- 電力量手入力（計量計なし）方式の場合、料金比率には待機電力量は按分できません。

6-7-2. 室外機設定

接続されている室外機の待機電力を設定します。

手順

1. **[課金設定]** − **[室外機設定]** をクリックする。
   室外機設定画面を開きます。



設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうち室外機設定を行う対象を選択します。

室外ユニット/サブ室外ユニット
冷媒系設定にて設定された室外ユニットとサブ室外ユニットが表示されます。

待機電力
室外ユニットに待機電力を設定します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「室外ユニット / サブ室外ユニット」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラに接続されている室外ユニットのアドレスが表示されていることを確認する。

お知らせ

- 「6-6-2. 冷媒系設定」にて設定された室外ユニット / サブ室外ユニットが表示されます。
- 室外ユニットは（ ）、サブ室外ユニットは（ OS ）と表示されます。

3. 「待機電力」を［kW］で入力する。

お知らせ

- 室外ユニットの待機電力を 0 ～ 1,000［kW］の範囲で設定してください。
- 初期値は 0.070［kW］で推奨値です。
- 室外ユニット 1 台（1 アドレス）に圧縮機が 2 台搭載されている機種は、待機電力量を 2 倍（0.140［kW］）に設定することを推奨します。

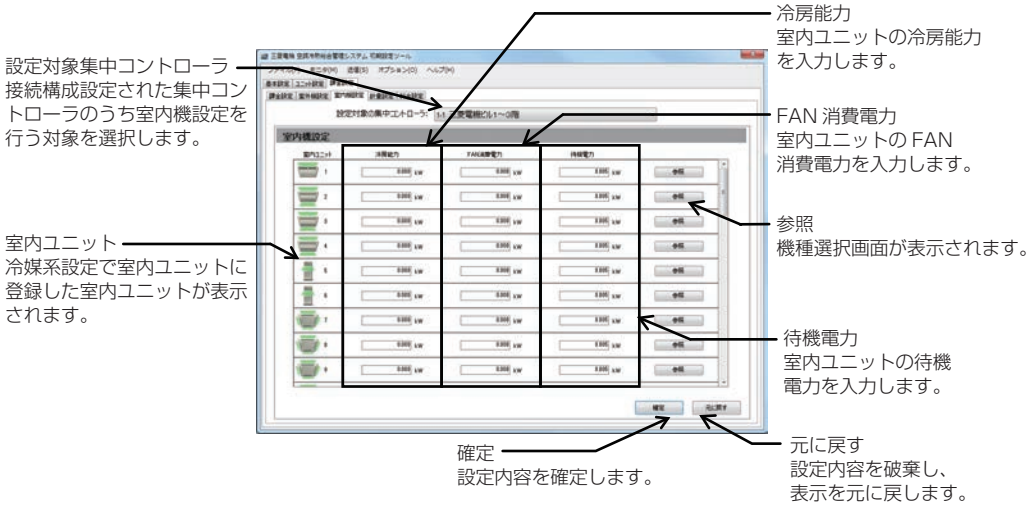
4. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

6-7-3. 室内機設定

接続されている室内ユニットの冷房能力、FAN 消費電力、待機電力を設定します。
6-7-1. 課金設定で「室内機電力按分モード」を **[按分しない]** に選択した場合は、設定不要です。

手順

1. **[課金設定]** − **[室内機設定]** をクリックする。
   室内機設定画面を開きます。



2. 「室内ユニット」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラに接続されている、室内ユニットのアドレスが表示されていることを確認する。

お知らせ

- 「6-6-2. 冷媒系設定」にて室内ユニットに設定された室内ユニット（空調機、A 制御機種、加熱加湿付ロスナイ）のアドレスと「6-6-1. グループ設定」にて設定されたロスナイのアドレスが表示されます。
- 接続されている全ての室内ユニット (ロスナイ、加熱加湿ロスナイ含む）の設定を実施してください。

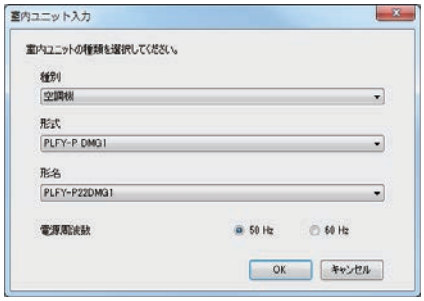
3. 冷房能力、FAN 消費電力、待機電力を設定する。
   設定方法は初期設定ツールのデータベースを参照する方法と手動入力する方法があります。
4. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

(1) 初期設定ツールのデータベース参照

データベースから接続されている室内ユニットを選択することで、冷房能力、FAN 消費電力、待機電力が自動で入力できます。
また、形式、形名から選択できない機種の場合は、次ページの「(2) 手動入力」の手順で登録してください。

手順

1. **[参照]** をクリックする。
   室内ユニット設定画面が表示されます。
2. 「種別」にて、**[空調機]**、**[ロスナイ]**、**[加熱加湿付ロスナイ]** を選択する。
3. 「形式」にて、「種別」で選択された室内ユニットの形式を選択する。
4. 「形名」にて、室内ユニットの形名を選択する。
5. 「電源周波数」にて、電源周波数を選択する。
6. **[OK]** をクリックする。



(2) 手動入力

室内ユニットのカタログ（仕様書）を確認し、「冷房能力」「FAN 消費電力」を入力してください。

手順

1. 「冷房能力」に室内ユニットの冷房能力（kW）を入力する。
2. 「FAN 消費電力」に室内ユニットの FAN 消費電力（kW）を入力する。
3. 「待機電力」に室内ユニットの待機電力（kW）を入力する。

項目＼形名		PLFY-P22LMG1	PLFY-P28LMG1	PLFY-P36LMG1
電源				
冷房能力(kW)(注1)		2.2	2.8	3.6
SHF		0.83	0.74	0.71
暖房能力(kW)(注1)		2.5	3.2	4.0
電気特性	消費電力 冷房(kW)	0.07 / 0.07		0.07/0.08
	消費電力 暖房(kW)	0.05 / 0.05		0.05/0.06
	電流 冷房(A)	0.39 / 0.39		0.40/0.42
	電流 暖房(A)	0.26 / 0.28		0.27/0.31
外装		本体: 溶融亜鉛メッキ鋼板／		
外形寸法(mm)(注3)	高さ(H)			
	幅(W)	776〈1080〉		
	奥行(D)			
熱交換器形式				
送風機	形式×個数			
	風量(m³/min)(強/中/弱)(注2)	9.5-8.0-6.5		
	機外静圧(Pa)			
	電動機出力(kW)	0.015		
エアフィルター				
補助ヒーター(kW)				
冷媒配管寸法	液側(mm)			φ6.35
	ガス側(mm)			φ12.7
ドレン配管寸法				
騒音値(dB[A特性値])(強/中/弱)(注2)		31-28-25		
製品質量(kg)(注3)		23〈6.5〉		24

例. 左記表の「PLFY-P36LMG1」であれば
冷房能力：3.6kW
FAN 消費電力：50Hz 地域の場合：0.07kW
60Hz 地域の場合：0.08kW
となります。

お知らせ

- ロスナイの場合は、冷房能力を入力できません。
- 室内ユニットの冷房能力を 0 ～ 999.999［kW］の範囲で設定してください。
- 室内ユニットの FAN 消費電力を 0 ～ 999.999［kW］の範囲で設定してください。
- 室内ユニットの待機電力を 0 ～ 1.000［kW］の範囲で入力してください。
- 「待機電力」の初期値は 0.005［kW］で推奨値です。
- 空きテナント等で料金計算に含まない場合は、冷房能力「0」・FAN 消費電力「0」・待機電力「0」としてください。
  ただし、テナント入居後、必ず元の設定に戻してください。

6-7-4. 計量設定

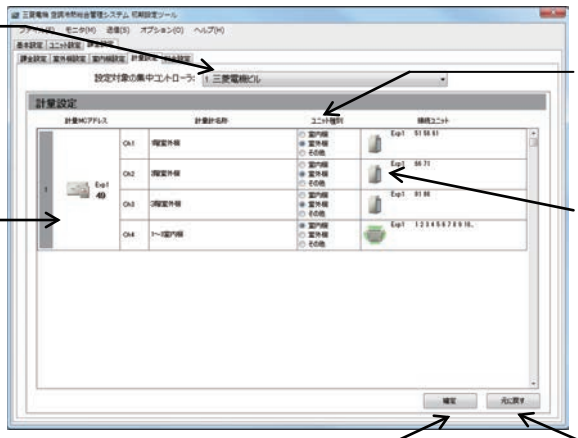
課金機能を使用する際に必要な電力量計と室内 / 室外ユニットを設定します。
6-7-1. 課金設定で、「計量計接続按分」を **[接続しない]** を選択した場合は、設定不要です。

手順

1. **[課金設定]** − **[計量設定]** をクリックする。
   計量設定画面を開きます。

お知らせ

- 「6-6-6. 計量 MC 設定」にて設定された「拡張コントローラ No.」、「アドレス」、「計量計名称」が表示されます。
- 計量用パルス入力の場合はアドレスは「PI」と表示されます。
- 本画面では計量計名称の変更はできません。



2. 「計量 MC アドレス」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラ番号（**[Exp1]** ～ **[Exp4]**）と、その拡張コントローラに接続されている計量 MC のアドレスと「計量計名称」に計量 MC の Ch1 ～ 4 の名称が表示されていることを確認する。

3. 「ユニット種別」にて、Ch1 ～ 4 の計量計が電力量計測を行うユニットの **[室内機]**、**[室外機]**、**[その他]** から種別を選択する。

   （1）室内ユニットの場合
   [室内機] を選択すると「接続ユニット」に（ ）が表示されます。
   （2）室外ユニットの場合
   [室外機] を選択すると「接続ユニット」に（ ）が表示されます。
   （3）その他の場合
   [その他] を選択すると「接続ユニット」には何も表示されません。

4. 「接続ユニット」の（ ）または（ ）をクリックする。
   ユニットアドレスの選択画面が表示されます。

5. 室内ユニットまたは室外ユニットの集中コントローラ（**[Exp1]** ～ **[Exp4]**）を選択する。

6. 登録する室内ユニットまたは室外ユニットのアドレス番号を選択する。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。

7. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。

お知らせ

「6-6-6. 計量 MC 設定」にて設定されたパルス単位が［kWh］以外（［m^3］、［MJ］、［--］）の場合は、**[その他]** のみ選択可能です。

- 電力量計を空調用途以外に使用する場合や、電力量計以外の計量機器を接続する場合は **[その他]** を選択してください。
- 6-7-1. 課金設定の「A 制御機種電源」で **[室外機－室内機同一電源]** を選択した場合のユニット種別は、**[室外機]** を選択します。
- 室内ユニットの場合「6-6-1. グループ設定」にて空調機、空調機（A 制御）、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイに設定したユニットアドレスと、「6-6-2. 冷媒系設定」にて設定した加熱加湿付ロスナイが選択できます。
- 室外ユニットの場合「6-6-2. 冷媒系設定」にて室外ユニットに設定したユニットアドレスが選択できます。
- 「6-6-6. 計量 MC 設定」、「6-6-7. 環境 MC 設定」にて設定したユニットアドレスは選択できません。

6-7-5. 料金設定

[1] 料金設定の概要

季節や曜日、特異日ごとに料金単価を設定することができます。

お知らせ

- 料金単価の金額の設定は、料金計算ツールで行います。詳細は、「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。
- 運用開始後に料金時間帯設定を削除する場合は、削除する料金時間帯の「繰り越しデータ」をクリアする必要があります。(「8-5(2) 繰り越しデータのクリア」を参照してください。)
  「繰り越しデータ」をクリアしていない場合は、「0095　計量計故障の可能性警告」が表示されます。

(1) 季節料金期間設定

季節ごとの料金単価を使用するかを設定することができます。
使用する場合、季節料金期間を設定できます。

(2) 週間料金設定

「パターン選択」で、通常料金または（1）で設定した季節料金を選択し、曜日および時間帯ごとの料金単価を設定することができます。

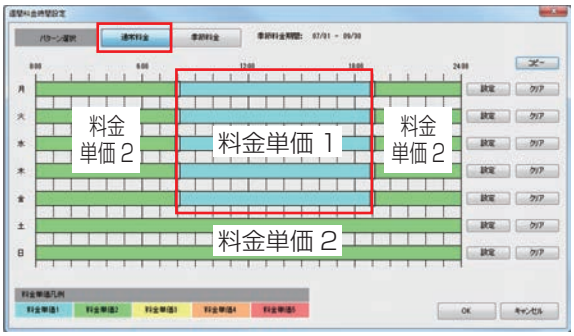
例：夏の電力需給が高い期間（7 月 1 日～ 9 月 30 日）の電力料金を高く設定する。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
通常料金						季節料金			通常料金		

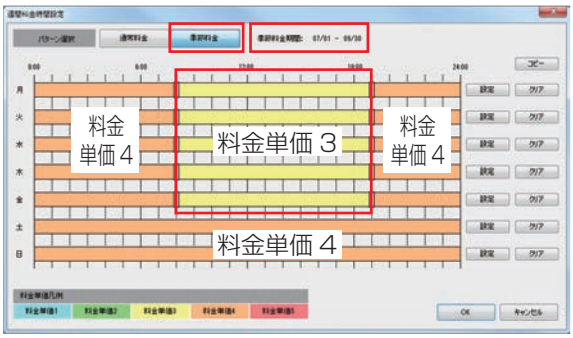
料金単価 1	料金単価 2	料金単価 3	料金単価 4	料金単価 5
20 円 /kWh	22 円 /kWh	24 円 /kWh	23 円 /kWh	18 円 /kWh

※ 料金単価は料金計算ツールで設定できます。

【通常料金】
1 月 1 日～ 6 月 30 日、10 月 1 日～ 12 月 31 日



【季節料金】
7 月 1 日～ 9 月 30 日



上記の季節料金の場合

		月	火	水	木	金	土	日
時間帯	8 :30 ～17 :00	料金単価3					料金単価4	
	17 :00 ～8 :30	料金単価4						

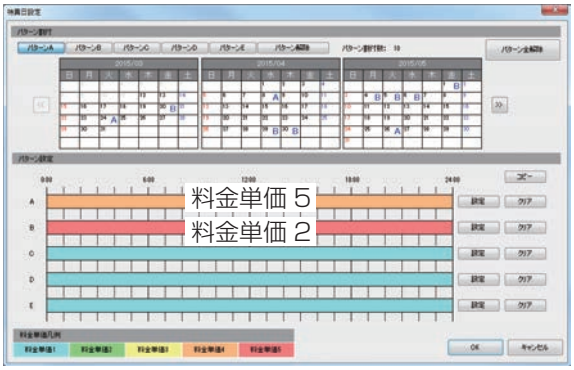
例：平日の 8：30 ～ 17：00 とそれ以外の時間帯で料金単価を別にする。
　　平日の定時間内：料金単価 3(24 円 /kWh)、平日の時間外：料金単価 4（23 円 /kWh）
　　また、平日と休日で料金単価を別にする。
　　休日：料金単価 4(23 円 /kWh)

(3) 特異日料金設定

特定の日付を指定し、料金単価を設定できます。

例：祝日や特別日で、(2) 週間料金設定に当てはまらない特別日の料金単価を設定する。

A：会社イベント　B：祝日

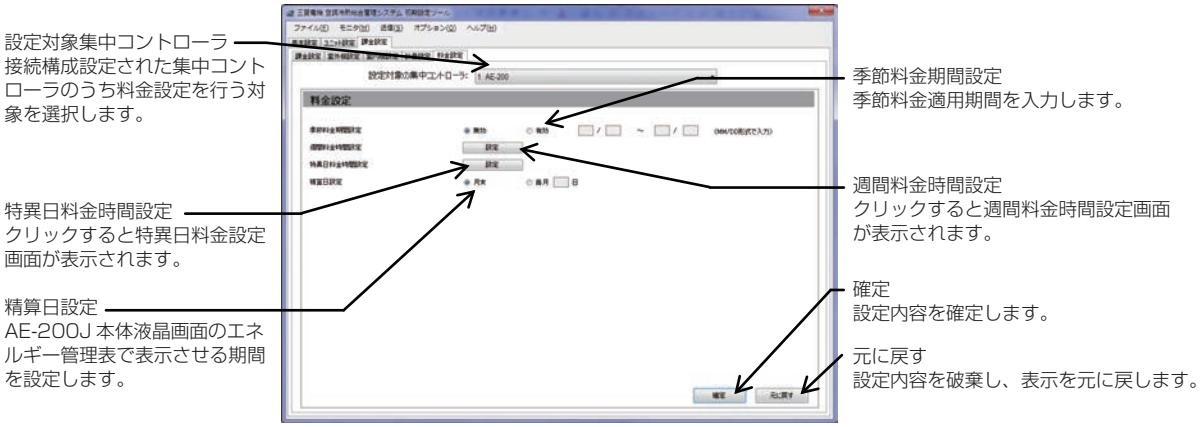


料金時間帯を設定したパターン（A ～ E）を
それぞれの特異日に割り当てることができます。

[2] 課金機能を使用する際に必要な料金設定をする

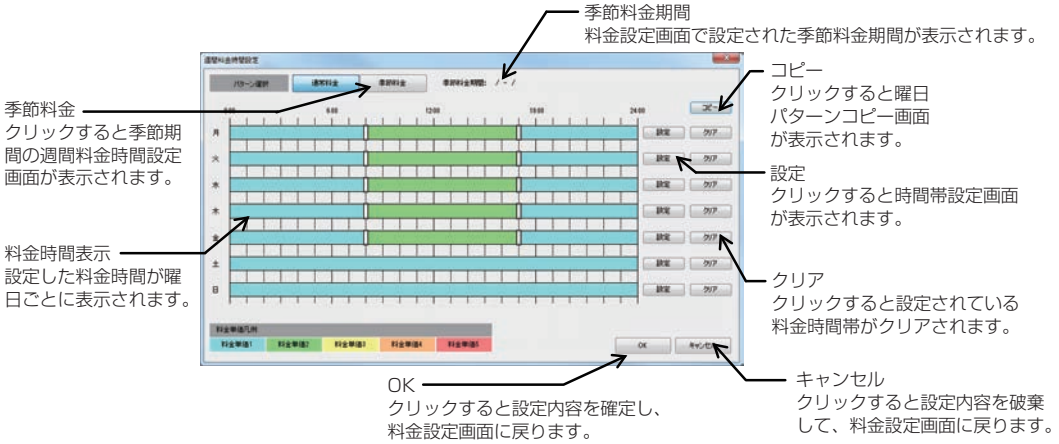
手順

1. **[課金設定]** − **[料金設定]** をクリックする。
   料金設定画面を開きます。



2. 「季節料金期間設定」にて、**[有効]** と **[無効]** を選択する。
   季節によって料金単価を変更したい場合は、**[有効]** を選択し、季節料金期間を入力してください。
   対象期間は年をまたいで設定することができます。（例：12/1 ～ 1/31）
   閏年に関わらず 2/29 は設定可能です。閏年以外の年は開始日の場合 3/1、終了日の場合 2/28 となります。

3. 「週間料金時間設定」にて週間の料金単価と料金時間帯の設定を行う。
   時間帯別の料金単価設定が色分けされて各曜日ごとに表示されます。「季節料金期間設定」を **[有効]** としていた場合、「通常料金」と「季節料金」の 2 種類の料金期間を使用できます。
   料金単価は 5 種類まで登録することができます。料金単価は料金計算ツールで設定してください。
   料金時間帯は 1 曜日あたり 10 個まで登録することができます。
   初回起動時は、全曜日・全時間帯に「料金単価 1」が設定されています。
   クリアをクリックした場合は、0:00 ～ 24:00 まで料金単価 1 に設定されます。



[3] 曜日ごとに料金単価と料金時間帯を設定する

(1) 新規登録する場合

手順

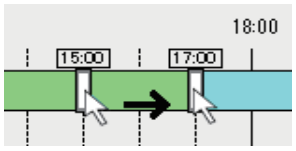
1. 「週間料金時間設定」にて **[設定]** をクリックすると「時間帯設定」画面が表示されます。
2. 開始時間と終了時間を入力し、料金単価を選択して、**[OK]** をクリックする。

お知らせ

- 既に料金時間帯が設定されていた時間帯に、新規登録の時間が重複した場合には重複した時間帯が上書きされます。
- 一度に複数の料金単価と時間は設定することはできません。複数設定する場合は料金単価と時間帯を１つずつ設定してください。
- １分単位で設定することができます。

お知らせ

- 「週間料金時間設定」および「特異日料金時間設定」画面にて区切り線をクリック＆ドラッグすると、時間帯を 10 分単位で変更することができます。



(2) 料金時間帯を変更する場合

手順

1. 「週間料金時間設定」画面にて変更する時間帯をクリックする。
   クリックした時間帯と料金単価が反映された「時間帯設定」画面が表示されます。
2. 変更内容を入力・選択して、**[OK]** をクリックする。

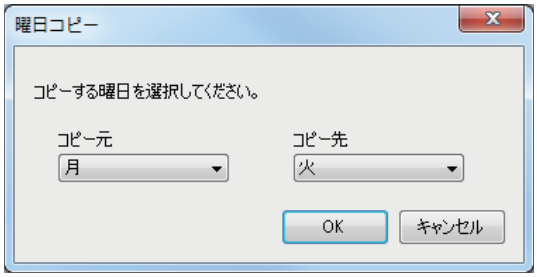
(3) 他の曜日からコピーする場合

手順

1. 「週間料金時間設定」画面にて、**[コピー]** をクリックする。
2. 「コピー元」、「コピー先」を設定し **[OK]** をクリックする。
   コピー元の設定がコピー先へコピーされます。

お知らせ

- 「通常料金期間設定」と「季節料金期間設定」でまたがるコピーはできません。

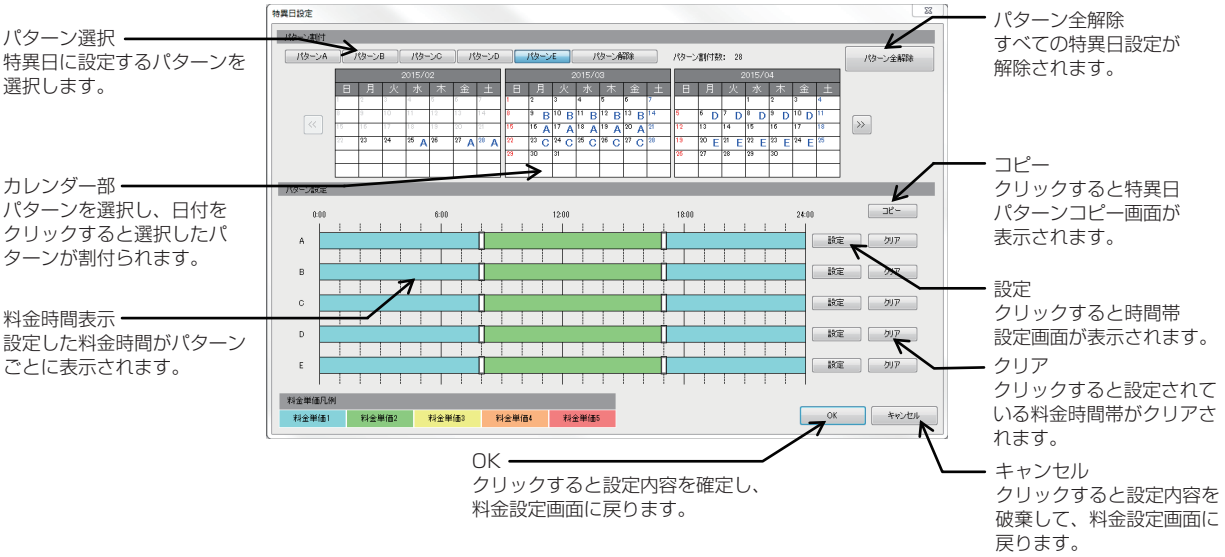


[4]「特異日料金時間設定」にて特異日の料金単価と料金時間帯の設定を行う

時間帯別の料金単価設定をパターン A ～ E までの５種類登録し、特異日にパターンを割付けることができます。

お知らせ

- 「特異日料金時間設定」は「週間料金時間設定」よりも優先されます。
- 当日から 24 ヶ月先の月末まで設定可能です。
- 料金時間帯は 1 パターンあたり 10 個まで登録することができます。
- パターンの割付数は全パターン合計で 50 日まで設定可能で、当日以前の日付に設定されたパターンは含みません。
- 初回起動時は、全パターン・全時間帯に「料金単価１」が設定されています。



パターン A ～ E に料金単価と料金時間帯を設定します。

(1) 新規登録する場合

手順

1. 「特異日料金時間設定」にて **[設定]** をクリックする。
   「時間帯設定」画面が表示されます。
2. 開始時間と終了時間を入力し、料金単価を選択して、**[OK]** をクリックする。

お知らせ

- 既に料金時間帯が設定されていた時間帯に、新規登録の時間が重複した場合には重複した時間帯が上書きされます。
- 一度に複数の料金単価と時間は設定することはできません。複数設定する場合は料金単価と時間帯を１つずつ設定してください。

(2) 料金時間帯を変更する場合

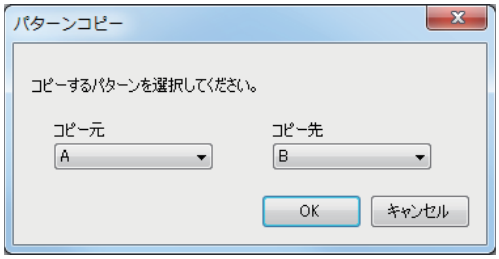
手順

1. 「特異日料金時間設定」画面にて変更する時間帯をクリックする。
   クリックした時間帯と料金単価が反映された「時間帯設定」が表示されます。
2. 変更内容を入力・選択して、**[OK]** をクリックする。

(3) 他のパターンからコピーする場合

手順

1. 「特異日料金時間設定」画面にて、**[コピー]** をクリックする。
2. 「コピー元」、「コピー先」を設定し **[OK]** をクリックする。
   コピー元の設定がコピー先へコピーされます。



(4) 特異日にパターンを登録します。

手順

「パターン割付」にて、パターンを選択し、そのパターンを登録したい日付を「カレンダー」上でクリックする。
登録したパターンを解除したい場合は、「パターン割付」にて **[パターン解除]** を選択し、解除したい日付を「カレンダー部」上でクリックします。
特異日設定を全て解除したい場合は、「パターン割付」にて **[パターン全解除]** をクリックし、「確認」画面が表示されるので **[OK]** をクリックする。

[5]「精算日設定」にて精算日の設定を行う

「月末」または「毎月（1 日～ 28 日）」を選択することができます。

手順

1. 事前にビルオーナー様に精算日を確認しておいてください。
2. 精算日を **[月末]** または **[毎月（1 日～ 28 日）]** から設定してください。
   - **[月末]** を選択した場合、1 日～月末までの電力量を AE-200J 本体液晶画面「エネルギー管理表」に表示します。
   - **[毎月（1 ～ 28 日）]** を選択した場合、精算日の翌日～次の精算日までの電力量を AE-200J 本体液晶画面「エネルギー管理表」に表示します。

お知らせ

- 29 日、30 日、31 日は精算日の毎月（精算日）として指定することができません。
- 「精算日」には AE-200J 本体で表示のエネルギー管理表（月別表示）「初期設定ツールにて設定」と精算日計算（自動出力）「料金計算ツールにて設定」の 2 種類があります。
  テナントごとの消費電力量と AE-200J本体のエネルギー管理表で表示する消費電力量を一致させるために精算日は同じ日に設定してください。

[6] 設定を保存する

各設定完了後、**[確定]** をクリックする。

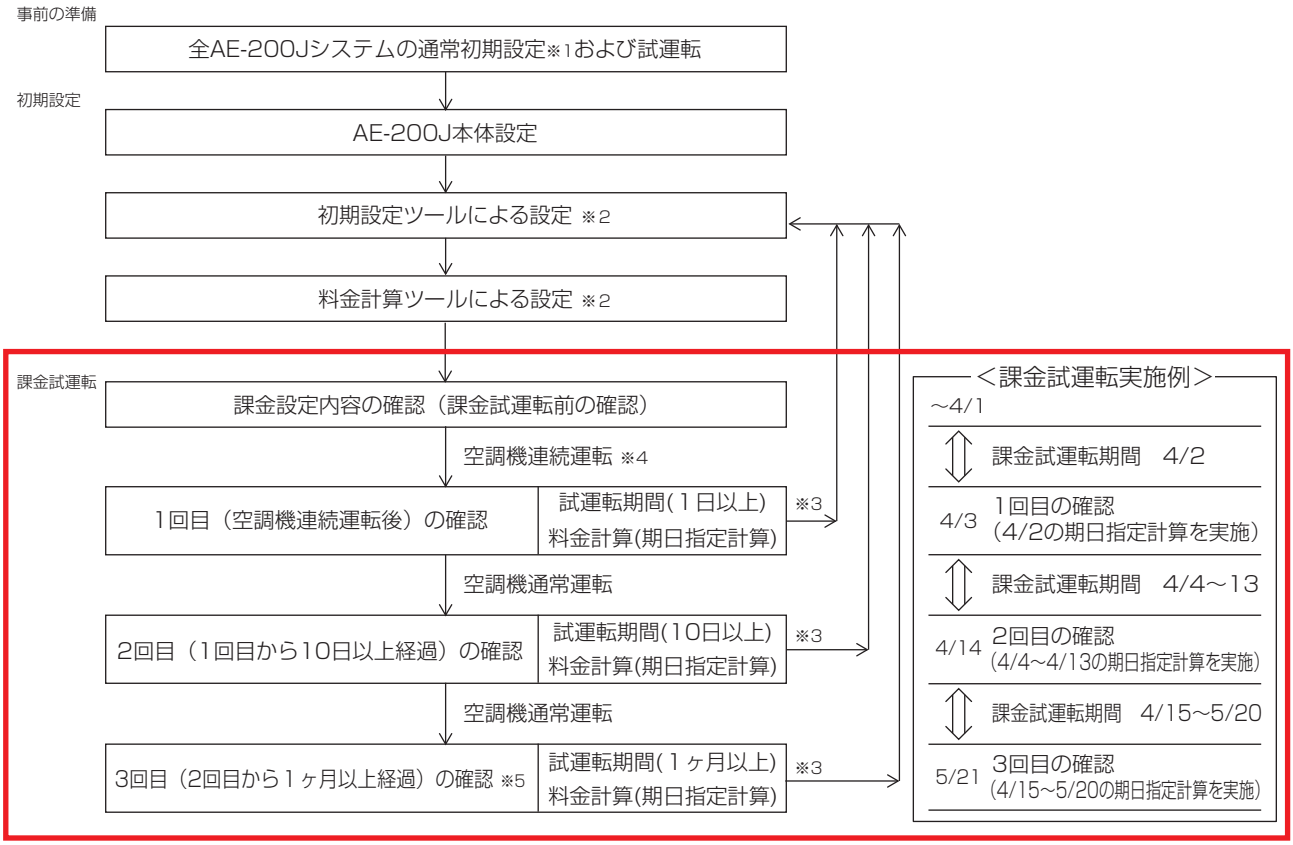
6-8. 料金計算ツールによる設定

料金計算ツールの初期設定項目の詳細については、下表の記載ページを参照してください。

◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

設定項目		初期設定ツール	料金計算ツール	記載ページ	AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	初期設定 Web
料金計算詳細設定	計量計接続		◎	31		
	待機電力量の料金計算		◎			
	通貨単位		◎			
	料金計算結果の表示順位		◎			
	同一名称のエネルギー管理ブロック統合		◎	32		
	CSV ファイルの小数点記号		◎			
	CSV ファイルの区切り記号		◎			
	料金単価設定		◎	33		
	印刷設定		◎	23		
	CSV 出力設定		◎			
	精算日設定		◎			
	IP アドレス設定		◎	24		

7. 課金試運転



※１ ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了させてください。

※２ 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。

※３ 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。

※４ 各室内ユニットが２時間以上連続運転を実施してください。

※５ ２回目の課金試運転から１カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

7-1. 課金試運転の流れ

電力按分課金支援機能の試運転チェックは、３回実施してください。
課金試運転チェックは、引き渡しまでに余裕を持って実施してください。
課金試運転期間中に料金計算ツールの設定どおり出力できることを確認してください。

課金設定内容の確認（課金試運転前の確認）
（設定内容の確認を行います。）

集中コントローラに読み込まれている計量値の補正を実施する。（「7-1[1]. AE-200J の計量値補正」を参照してください。）初期設定ツールによる課金設定が完了していることを確認してください。
初期設定ツールの **[オプション]** ー **[課金試運転チェックシート出力]** より、「試運転時の確認」チェックシートを出力する。出力されたエクセルシートの中には「課金関連シート」と「ユニット関連シート（拡張コントローラ台数分）」の２つがあります。
AE-200J システムが複数ある場合は、AE-200J システムごとにチェックシートを出力してください。

出力した課金関連シートに記載されている内容を確認する。（「7-2-1. 課金関連シート」を参照してください。）出力したユニット関連シートに記載されている内容を確認する。（「7-2-2. ユニット関連シート)」を参照してください。）電力量計の情報（型式、乗率など）をチェックシートに記載する。（「7-2-1[4]. 電力量計の確認」を参照してください。）試運転前の電力量計の電力値と AE-200J の計量値をチェックシートに記載する。※１（「7-2-3. 電力量の記入」を参照してください。）

全室内ユニットが２時間以上運転（冷房または暖房）する。
中間期など空調機がサーモ ON しにくい場合、空調機試運転を実施することをお勧めします。

１回目：空調機連続運転後の確認

試運転後の電力量計の電力値と AE-200J の計量値をチェックシートに記載する。※２（「7-3-1[1]（1）. 電力量の記入 (試運転後)」を参照してください。）
※１（試運転前）と※２（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1]（2）. 差分値の確認」を参照してください。）

※5
- USB メモリを使用してAE-200J よりCSV データ（計量計）を取得して、課金関連シートに数値を記入する。（「7-3-1[1]（3）料金単価別データの確認」を参照してください。）
- ユニット関連シートの按分電力量（料金単価別）を各計量計ごとに合計して、課金関連シートの計量結果（料金単価別）と比較する。（「7-3-1[1]（4）. 各種電力種類別データの確認」を参照してください。）
- USB メモリを使用して AE-200J より CSV データ（エネルギー管理ブロック）を取得して、ユニット関連シートに CSV データ（エネルギー管理ブロック）の数値を記入する。（「7-3-1[2]. ユニット関連シート」を参照してください。）
- ユニット関連シートの按分電力量合計（按分電力量を全ての合計）と、課金関連シートの合計電力量（室内機と室外機の合計）で比較する。（「7-3-1[2]. ユニット関連シート」を参照してください。）

２回目：１回目から１０日以上経過後の確認

初期設定ツールの **[オプション]** ー **[課金試運転チェックシート出力]** より、「１０日後の確認」チェックシートを出力する。
試運転後の電力量計の電力値と AE-200J の計量値をチェックシートに記載する。※３（「7-3-1[1]（1）. 電力量の記入 (試運転後)」を参照してください。）
※２（試運転前）と※３（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1]（2）. 差分値の確認」を参照してください。）
※５の確認作業を行います。(期間は１回目の試運転～２回目実施日の前日となります。)

3回目：精算日の翌日（2回目から1ヶ月以上経過後）の確認

初期設定ツールの **[オプション]** ー **[課金試運転チェックシート出力]** より、「精算日の翌日の確認」チェックシートを出力する。
試運転前の電力量計の電力値と AE-200J の計量値をチェックシートに記載する。※4（「7-3-1[1] (1) . 電力量の記入 (試運転後)」を参照してください。）
※3（試運転前）と※4（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1]（2）. 差分値の確認」を参照してください。）
※5の確認作業を行います。(期間は2回目の試運転～精算日となります。)

最終確認
実運用の設定に誤りがないか再度確認してください。（「7-4-1. 実運用設定の最終確認」を参照してください。）全てのチェックシートにに必要事項が記載されていて内容に間違いがないか、計量結果に間違いがないか確認し、お客様に提出し大切に保管してください。

お知らせ

- 本説明では、電力量計量（計量計あり）方式の場合を説明しています。電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、計量計関連のチェックが不要となります。
- 課金試運転チェックシート「試運転後の確認」「10 日後の確認」「精算日の翌日の確認」の3種類出力することが可能です。
  ただし、試運転の途中で設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施の上、再度課金試運転チェックを行ってください。
- 運用中にエネルギー管理ブロックの変更など課金設定を変更する場合は、再度課金試運転チェックを行ってください。

[1] AE-200J の計量値補正

電力按分課金支援機能に使用する電力量計の値と AE-200J 本体画面の計測一覧画面の計測値を合わせます。

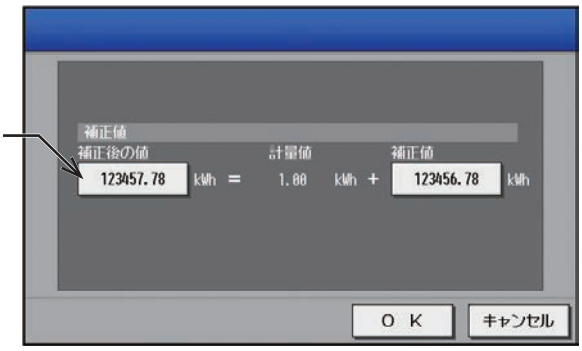
手順

1. **[初期設定]** ー **[ユニット情報 2]** 画面の「試運転」を **[利用する]** に設定し、**[設定保存]** をタッチする。
2. **[監視 / 操作]** ー **[計測]** をタッチして計測一覧を表示する。
3. 「表示機器」をタッチして電力量計の接続されている集中コントローラを選択する。
4. 電力量横の「計測値編集」の（ ）をタッチして計測値編集画面を表示する。
5. 「補正後の値」をタッチして現在の電力量計の値を入力し、**[OK]** をタッチする。
6. 補正完了後は、**[初期設定]** ー **[ユニット情報 2]** 画面に戻り「試運転」を **[利用しない]** に戻して **[設定保存]** をタッチする。

※ 計測値編集画面表示中はパルスが入力されても表示は変化しないので、空調機の停止中に補正することを推奨します。

※ 電力量の補正は本画面の表示のみ変更されます。料金結果などには影響しません。

計測一覧画面



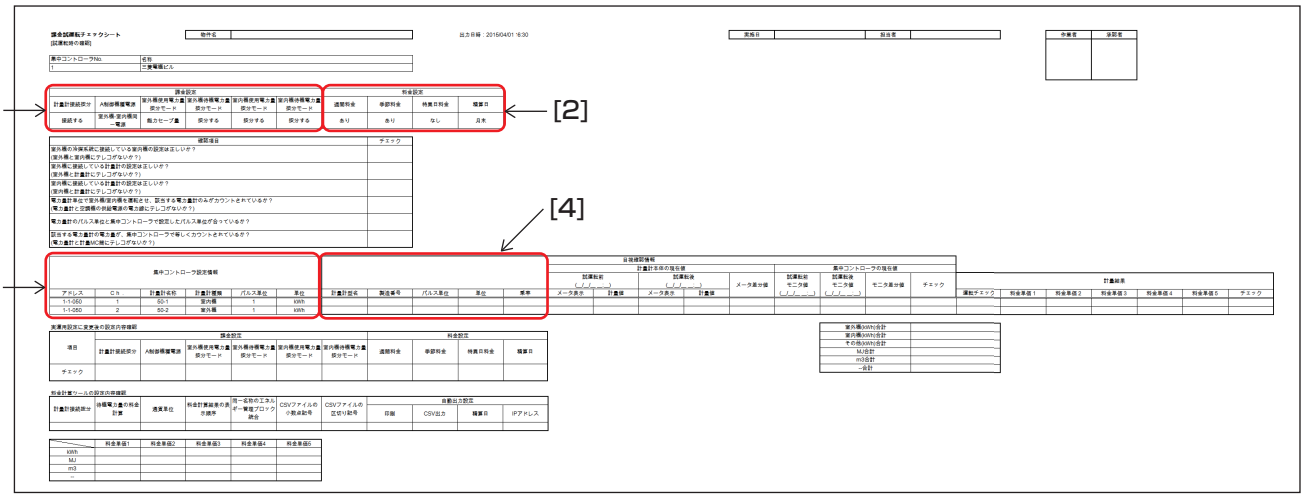
計測値編集画面

7-2. 課金設定内容の確認 (課金試運転前の確認)

初期設定ツールの **[オプション]** − **[課金試運転チェックシート出力]** より、「試運転後の確認」チェックシート（Excel シート）を出力してください。出力された Excel シートの中に「課金関連シート」と「ユニット関連シート」の2つがあります。
AE-200J システムが複数ある場合は、AE-200J システムごとに「試運転後の確認」チェックシートを出力してください。

7-2-1. 課金関連シート

本シートは、AE-200J システムごとに 1 シートとなります。



[1] 課金設定

「6-7-1. 課金設定」で設定した内容と違いがない事を確認します。

課金設定					
計量計接続按分	A 制御機種電源	室外機使用電力量按分モード	室外機待機電力量按分モード	室内機使用電力量按分モード	室内機待機電力量按分モード
接続する	室外機－室内機同一電源	能力セーブ量	按分する	按分する	按分する
①	②	③	④	⑤	⑥

① 計量計接続按分（接続する／接続しない）
② A 制御機種がある場合（室外機－室内機同一電源／室外機－室内機別電源）
③ 室外機使用電力量按分モード（能力セーブ量／サーモ ON 時間／ FAN 運転時間）
④ 室外機待機電力量按分モード（按分する／按分しない）
⑤ 室内機使用電力量按分モード（按分する／按分しない）
⑥ 室内機待機電力量按分モード（按分する／按分しない）

[2] 料金設定

「6-7-5. 料金設定」で設定した内容と違いがない事を確認します。

料金設定			
週間料金	季節料金	特異日料金	精算日
あり	あり	あり	月末
⑦	⑧	⑨	⑩

⑦ 週間料金（あり）
⑧ 季節料金（あり（有効）／なし（無効））
⑨ 特異日料金（あり／なし）
　パターン割付数が 0（なし）か 1 以上（あり）で判断します。
⑩ 精算日（月末／毎月××日）

お知らせ

- 「精算日」には、AE-200J 本体で表示のエネルギー管理表示（月別表示）「初期設定ツールにて設定」と精算日計算（自動出力）「料金計算ツールにて設定」の2種類があります。テナントごとの消費電力量と AE-200J 本体のエネルギー管理表で表示する消費電力量を一致させるために、精算日は同じ日に設定してください。

[3] 集中コントローラ設定 (計量計ありシステムの場合)

設定内容に間違いがないかを確認します。(「6-6-6. 計量 MC 設定」で設定した内容と違いがない事を確認します。)

集中コントローラ設定情報

アドレス	Ch.	計量計名称	計量計種類	パルス単位	単位
1-1-050	1	50-1	室外機	1	kWh
1-1-050	2	50-2	室内機	1	kWh
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

⑪ アドレス
計量用計測コントローラの場合は、(拡張コントローラ No.) − (ユニットアドレス) で表示します。

⑫ Ch.

⑬ 計量計名称
計量用計測コントローラの場合は、名称未入力の場合は (ユニットアドレス) − (Ch.) で表示します。

⑭ 計量計種類
「6-7-4. 計量設定」で設定したユニット種別が表示されます。

⑮ パルス単位

⑯ 単位

お知らせ

- 実際の電力量計のパルス単位が、[pulse/kWh] で記載されている場合があります、
  この場合のパルス単位の設定は、その逆数 [kWh/pulse] の値を設定してください。
  例 : 10 [pulse/kWh] の場合は、パルス設定値は 0.1 [kWh/pulse] となります。

[4] 電力量計の確認

現地設置の電力量計の情報を入力します。

目視確認情報

					計量計本体の現在値 試運転前 (2015/4/2 10:4)		集中コントローラの現在値 試運転前 モニタ値 (2015/4/2 10:13)
計量計型名	製造番号	パルス単位	単位	乗率	メータ表示	計量値	
M2LHM-**	064247	1	kWh/pulse	1	1000	1000	1001
M2LHM-**	064248	1	kWh/pulse	1	170	170	170
⑰	⑱	⑲	⑳	㉑			

目視確認情報

⑰ 計量計型名を記入します。

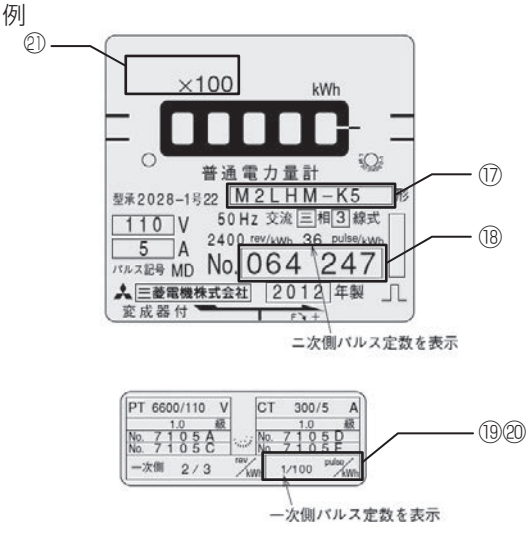
⑱ 製造番号を記入します。

⑲ パルス単位を記入します。

⑳ 単位を記入します。

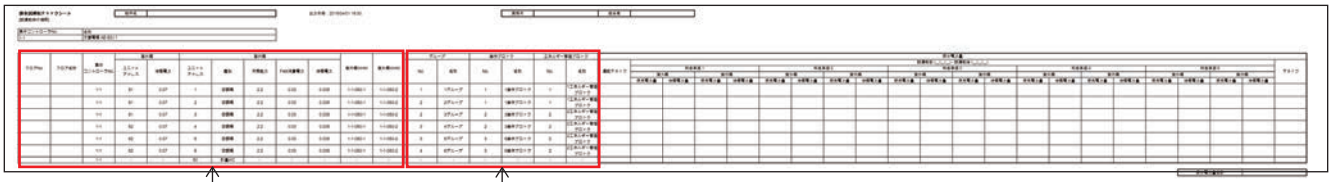
㉑ 乗率を記入します。

例



7-2-2. ユニット関連シート

本シートは、AE-50J/EW-50J ごとに 1 シートとなります。



[1]　　[2]

[1] 室外機・室内機設定

設定内容に間違いがないかを確認します。

フロアNo.	フロア名称	集中コントローラNo.	室外機		室内機					室内機WHM	室外機WHM
			ユニットアドレス	待機電力	ユニットアドレス	種別	冷房能力	FAN消費電力	待機電力		
1	1F	1-1	51	0.07	1	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
1	1F	1-1	51	0.07	2	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
1	1F	1-1	51	0.07	3	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2	2F	1-1	52	0.07	4	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2	2F	1-1	52	0.07	5	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2	2F	1-1	52	0.07	6	空調機	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
①			②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧

① フロアNo、フロア名称

AE-200J 本体液晶画面の **[監視 / 操作]** － **[フロア]** より、フロア No. と名称を記入し、設定に誤りがないかを確認します。

② 室外機ユニットアドレス

③ 室外機待機電力

④ 室内機ユニットアドレス

⑤ 室内機種別

⑥ 室内機　（冷房能力、ＦＡＮ消費電力、待機電力）

⑦ 室内機　WHM※

室内ユニットに接続されている電力量計に正しく入力されているかを確認します。

⑧ 室外機　WHM※

室外ユニットに接続されている電力量計に正しく入力されているかを確認します。

※
計量用計測コントローラの場合
1-1-050-1
Ⓐ Ⓑ Ⓒ
Ⓐ拡張コントローラ No.
Ⓑユニットアドレス
ⒸCH No.
計量用パルス入力の場合
1-1-1
Ⓐ Ⓒ

②と④は AE-200J 本体液晶画面 **[初期設定]** － **[冷媒系表示]** より室外ユニットと室内ユニットの接続関係を確認します。

④・⑤は「6-6-1. グループ設定」で設定したアドレスと種別より正しく入力されているか確認します。

②・③は「6-7-2. 室外機設定」で設定した室外ユニットアドレスと待機電力より正しく入力されているか確認します。室外ユニットの子機（OS1、OS2）が接続されている場合は、待機電力は親機と子機の合算値になります。

④・⑥は「6-7-3. 室内機設定」で設定した室内ユニットアドレスごとに冷房能力・FAN 消費電力・待機電力より正しく入力されているか確認します。

④・⑦は「6-7-4. 計量設定」で設定した室内ユニットアドレスと室内機電力量計より正しく入力されているか確認します。

②・⑧は「6-7-4. 計量設定」で設定した室外ユニットアドレスと室外機電力量計より正しく入力されているか確認します。

お知らせ

- 室外ユニット（アドレス：51）、サブ室外ユニット（アドレス：52）の場合は、ユニットアドレス：51/52、待機電力：0.14 と出力されます。
- ロスナイの場合、室外ユニットのアドレス、待機電力、室内ユニットの冷房能力は［−］表示になります。
- 汎用インターフェース、環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの場合、室外ユニットのアドレス、待機電力、室内機の冷房能力、FAN 消費電力、待機電力は「−」表示になります。
- 料金計算結果はエネルギー管理ブロック単位で出力されます。
- A 制御機種は「冷媒系表示」画面に表示されませんので、別途接続状況を確認してください。

[2] 室内機の設定 (グループ・操作ブロック・エネルギー管理ブロック)

設定内容に間違いがないかを確認します。

フロアNo.	フロア名称	集中コントローラNo.	室内機 ユニットアドレス	グループ No.	グループ 名称	操作ブロック No.	操作ブロック 名称	エネルギー管理ブロック No.	エネルギー管理ブロック 名称
1	1F	1-1	1	1	1グループ	1	1操作ブロック	1	1エネルギー管理ブロック
1	1F	1-1	2	2	2グループ	1	1操作ブロック	1	1エネルギー管理ブロック
1	1F	1-1	3	2	3グループ	2	3操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	4	3	4グループ	2	3操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	5	3	5グループ	3	5操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	6	4	6グループ	3	5操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
				⑧		⑨		⑩	

⑧ グループ

「6-6-1. グループ設定」で設定した室内ユニットのアドレスとグループ No. の関連性、およびグループ名称に間違いがないかを確認します。

⑨ 操作ブロック

「6-6-4. 操作ブロック設定」で設定したグループ No. と操作ブロック No. の関連性、および操作ブロック名称に間違いがないかを確認します。

⑩ エネルギー管理ブロック

「6-6-5. エネルギー管理ブロック設定」で設定した操作ブロック No. とエネルギー管理ブロック No. の関連性、およびエネルギー管理ブロック名称に間違いがないかを確認します。

7-2-3. 電力量の記入

課金関連シートに電力量計の電力値と AE-200J の計量値を記入します。

目視確認情報					計量計本体の現在値 試運転前 ① (2015/4/2 10:4)		集中コントローラの現在値 試運転前 ④ モニタ値 (2015/4/2 10:13)
計量計型名	製造番号	パルス単位	単位	乗率	メータ表示	計量値	
M2LHM-**	064247	1	kWh/pulse	1	1000	1000	1001
M2LHM-**	064248	1	kWh/pulse	1	170	170	170
					②	③	⑤

計量計本体の現在値

① 確認した日時を記入します。

② 試運転前のメータ表示を記入します。(5 桁の数字)

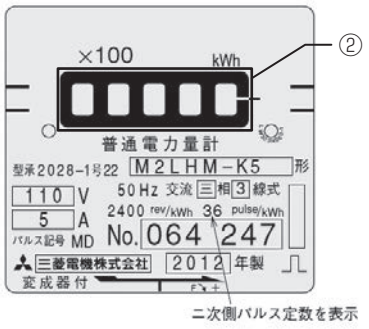
③ 試運転前の計量値を記入します。(メータ表示値×乗率)

集中コントローラの現在値

④ 確認した日時を記入します。

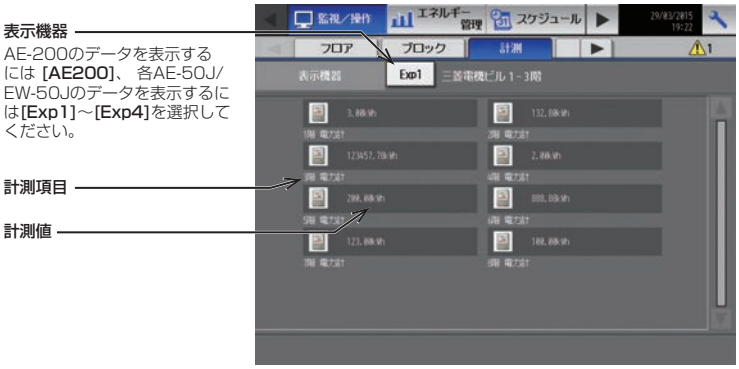
⑤ AE-200J 本体液晶画面の **[監視 / 操作]** − **[計測]** で、試運転前のモニタ値を記入します。

例



お知らせ

- AE-200J 本体液晶画面のモニタ値の表示方法は **[監視 / 操作]** − **[計測]** を選択します。



AE-200J 計測一覧画面

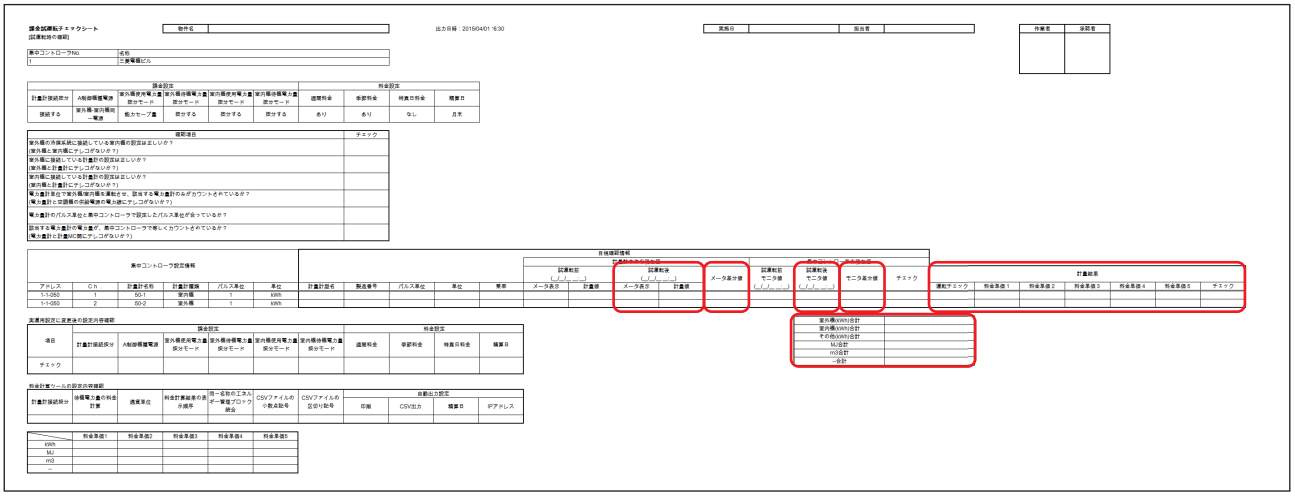
7-3. 課金試運転チェック

課金試運転チェック時に数値が逸脱した場合、修正後再度課金試運転を実施してください。

7-3-1. 1回目(空調機連続運転後)の確認

課金設定後（連続運転前）より２時間以上全空調機を連続運転を行った後に実施します。
前項で印刷したチェックシートを使用します。

[1] 課金関連シート



(1) 電力量の記入（試運転後）

試運転後の電力量計の値と AE-200J の計量値を記入します。

集中コントローラ設定情報				目視確認情報							
				計量計本体の現在値					集中コントローラの現在値		
				試運転前 (2015/4/2 10:4)		試運転後 ① (2015/4/3 9:12)		メータ差分値	試運転前 モニタ値 (2015/4/2 10:13)	試運転後 ④ モニタ値 (2015/4/3 9:24)	モニタ差分値	チェック
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計型名	メータ表示	計量値	メータ表示	計量値					
1-1-050	1	50-1	M2LHM-**	1000	1000	1060	1060		1001	1061		
1-1-050	2	50-2	M2LHM-**	170	170	200	200		170	200		
						②	③			⑤		

計量計本体の現在値
① 確認した日時を記入します。
② 試運転後のメータ表示を記入します。
③ 試運転後の計量値を記入します。

集中コントローラの現在値
④ 確認した日時を記入します。
⑤ 試運転後のモニタ値を記入します。

お知らせ

- 「7-2-3. 電力量の記入」を参照してください。

(2) 差分値の確認

集中コントローラ設定情報				目視確認情報								
				計量計本体の現在値					集中コントローラの現在値			
				試運転前 (2015/4/2 10:4)		試運転後 (2015/4/3 9:12)		メータ差分値	試運転前 モニタ値 (2015/4/2 10:13)	試運転後 モニタ値 (2015/4/3 9:24)	モニタ差分値	チェック
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計型名	メータ表示	計量値	メータ表示	計量値					
1-1-050	1	50-1	M2LHM-**	1000	1000	1060	1060	60	1001	1061	60	レ
1-1-050	2	50-2	M2LHM-**	170	170	200	200	30	170	200	30	レ
								⑥			⑦	⑧

⑥ 計量計本体の現在値 (試運転後の計量値－試運転前の計量値) より、メータ差分値を算出します。
電力量計の電力量の差に「0」の値は無いか確認する。

⑦ 集中コントローラの現在値より、モニタ差分を算出します。
モニタ値の差に「0」の値は無いか確認する。
「0」の値の場合、以下の内容を確認してください。

⑧ 試運転前より計量値・モニタ値が大きくなっている事を確認する。
⑥と⑦がほぼ一致していることを確認し、問題がなければチェック欄にチェックします。

お知らせ

- 実際の電力量算出は、目視確認を実施する時間差により、完全には一致しない場合があります。

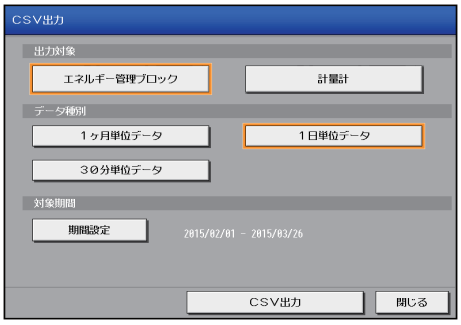
(3) 料金単価別データの確認

AE-200J 本体から CSV データ (按分結果)「計量計」を出力し、値を記入します。

CSV データの取り出し方

手順

1. AE-200J カバーを取外し、USB メモリを接続する。
2. **[エネルギー管理]** － **[エネルギー管理表]** 画面で **[CSV 出力]** を選択する。



3. 課金試運転を実施した期間を設定し **[計量計]** と **[1 日単位データ]** を選択した状態で **[CSV 出力]** をタッチする。
設定した期間中の各料金単価ごとの電力量が表示されているので、チェックシートに記入する。

CSV データ（按分結果）「計量計」

611	按分計算結果(計量計)							
期間 :2015/04/02 00:00 - 2015/04/03 00:00								
計量計名称	ユニットアドレス	計量値	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	単位
50-1	1-1-050	60	40.0	20.0	0	0	0	kWh
50-2	1-1-050	15	10.0	5.0	0	0	0	kWh

課金関連シート

集中コントローラ設定情報				計量結果					
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計種類	運転チェック	料金単価 1	料金単価 2	料金単価 3	料金単価 4	料金単価 5
1-1-050	1	50-1	室外機	レ	40	20			
1-1-050	2	50-2	室内機	レ	10	5			
				⑩	⑪				

⑩ 試運転期間中、正常に計量できたか（異常が発生しなかったか）を確認し、正常ならばチェック欄にチェックします。

⑪ AE-200J 本体の計量計の 1 日単位の CSV データを取り出し、料金単価別の電力量データを確認します。料金単価未設定の項目は「0」となります。

(4) 各種電力種類別データの確認

室外機(kWh)合計	60
室内機(kWh)合計	30
その他(kWh)合計	0
MJ合計	49
m3合計	0
--合計	0

⑨

⑨ 各計量計ごとに合計し、合計値を記入します。

- 「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位［kWh］を選択し、「課金設定」－「計量設定」でユニット種別を **[室外機]** を選択した場合は室外機（kWh）合計に、**[室内機]** を選択した場合は室内機（kWh）合計に、**[その他]** を選択した場合はその他（kWh）合計に合算します。
- 「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 **[MJ]** を選択した場合は、MJ 合計に合算します。
- 「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 **[㎥]** を選択した場合は、㎥合計に合算します。
- 「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 **[--]** を選択した場合は、-- 合計に合算します。

お知らせ

- 「課金設定」－「課金基本設定」にて A 制御機種電源を **[室外機－室内機同一電源]** を選択している場合は、室外機（kWh）合計に合算されています。
- 「課金設定」－「課金基本設定」にて A 制御機種電源を **[室外機－室内機別電源]** を選択している場合は、室内機（kWh）合計・室外機（kWh）合計に別々に合算されています。

(5) チェック

再度内容の確認を実施し、設定に間違いがない場合はチェック欄にチェックします。

確認項目	チェック
室外機の冷媒系統に接続している室内機の設定は正しいか？ (室外機と室内機にテレコがないか？)	
室外機に接続している計量計の設定は正しいか？ (室外機と計量計にテレコがないか？)	
室内機に接続している計量計の設定は正しいか？ (室内機と計量計にテレコがないか？)	
電力量計単位で室外機/室内機を運転させ、該当する電力量計のみがカウントされているか？ (電力量計と空調機の供給電源の電力線にテレコがないか？)	
電力量計のパルス単位と集中コントローラで設定したパルス単位が合っているか？	
該当する電力量計の電力量が、集中コントローラで等しくカウントされているか？ (電力量計と計量MC間にテレコがないか？)	

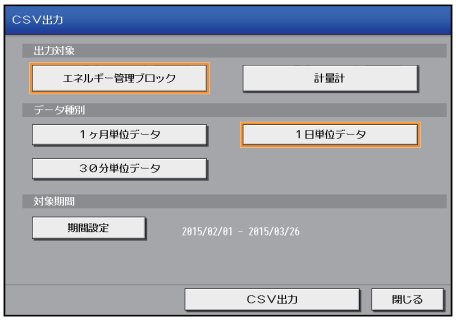
[2] ユニット関連シート

AE-200J 本体から CSV データ (按分結果)「エネルギー管理ブロック」を出力し、値を記入します。

CSV データの取り出し方

手順

1. AE-200J カバーを取外し、USB メモリを接続する。
2. **[エネルギー管理]** − **[エネルギー管理表]** 画面で **[CSV 出力]** を選択する。



3. 課金試運転を実施した期間を設定し **[エネルギー管理ブロック]** と **[1 日単位データ]** を選択した状態で **[CSV 出力]** をタッチする。
   設定した期間中の各料金単価ごとの電力量が表示されているので、チェックシートに記入する。

CSV データ（按分結果）「エネルギー管理ブロック」

※「ステータス」に「-2」が表示された場合は、該当日に按分計算を行えなかったなどの理由で、該当日に繰り越しが発生しています。

エネルギー管理ブロック		ユニットアドレス	日付					室外機分按分電力量	(料金単価1)			(料金単価2)			室内機分按分電力量	(料金単価1)			(料金単価2)		
									使用電力量	待機電力量		使用電力量	待機電力量			使用電力量	待機電力量		使用電力量	待機電力量	
			[年]	[月]	[日]	[時]	[分]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	ステータス
1	1エネルギー管理ブロック	1-001	2015	4	2	0	0	7.36	4.8	0.12		2.4	0.04		3.62	2.4	0.01		1.2	0.01	
1	2エネルギー管理ブロック	1-002	2015	4	2	0	0	14.36	9.6	0.12		4.6	0.04		7.12	4.8	0.01		2.3	0.01	

ユニット関連シート

集中コントローラNo.	室外機 ユニットアドレス	室内機 ユニットアドレス	エネルギー管理ブロック No.	名称	運転チェック	按分電力量 試運転前 (_/_/_) - 試運転後 (_/_/_) ① 料金単価1 室外機 使用電力量	料金単価1 室外機 待機電力量	料金単価1 室内機 使用電力量	料金単価1 室内機 待機電力量	料金単価2 室外機 使用電力量	料金単価2 室外機 待機電力量	料金単価2 室内機 使用電力量	料金単価2 室内機 待機電力量	チェック
1-1	51	1	1	1エネルギー管理ブロック	レ	4.8	0.12	2.4	0.01	2.4	0.04	1.2	0.01	レ
1-1	51	2	1	1エネルギー管理ブロック	レ	9.6	0.12	4.8	0.01	4.6	0.04	2.3	0.01	レ
					②		③		④		③		④	⑥

按分電力合計	32.46kWh

⑤

(1) 試運転が正常に実施できたかを確認します。

① 課金試運転期間の日時を記します。

② 試運転期間中、正常に運転できたか（異常が発生しなかったか）を確認し、チェック欄にチェックします。

(2) AE-200 本体のエネルギー管理ブロックの 1 日単位のＣＳＶデータより、チェックシートに記載します。

③ 各室外ユニットごとに料金単価 1 ～ 5 の室外機使用電力量／待機電力量をチェックシートに記載します。

④ 各室内ユニットごとに料金単価 1 ～ 5 の室内機使用電力量／待機電力量をチェックシートに記載します。

(3) 合計の電力量が正しいかを確認します。

⑤ 電力量計ごとに接続されている室内機または室外機の電力量の合計と、電力量計の差分値がほぼ一致しているかを確認する。

- 合計の電力量は、小数点以下 2 桁目で四捨五入し小数点以下 1 桁までなるため、完全に一致しない場合があります。
- 実際の電力量は目視確認を実施する時間差により、完全には一致しない場合があります。

⑥ 料金単価別に正しく電力量が按分できているかを確認し、チェック欄にチェックします。

- 設定している料金単価の使用電力量・待機電力量が「0」ではないことを確認する。
  「0」の場合は、正しく設定が行われているか確認してください。詳細は「8-5(3) 使用電力量が「0」のユニットがある場合」、「8-5(4) 待機電力量が「0」のユニットがある場合」を参照してください。誤設定があれば修正し再度課金試運転チェックをおこなってください。
  「0」の場合でも、ユニットが運転していないか、消費電力量が少ない可能性がありますので、設定が正しい場合は課金パラメータを確認ください。
- 計量計の電力量と同系統の使用電力量・待機電力量を合算した値がほぼ一致することを確認してください。

お知らせ

- 使用していない期間は、待機電力量が冷房能力比で按分されていることを確認してください。
- 待機電力量を **[按分しない]** に設定している場合は、すべて使用電力量として扱われ、待機電力量が 0 になります。

(4) 料金計算ツールで期日指定計算を行う。

正しく料金が出力されていることを確認する。
出力の方法については、「3-1. 期日指定計算（LAN 接続）」または「3-2. 期日指定計算（USB）」を参照してください。

7-3-2. 2回目(1回目の課金試運転から10日以上経過)の確認

初期設定ツールの **[オプション]** − **[課金試運転チェックシート出力]** より、「10 日後の確認」チェックシート（Excel シート）を出力してください。
AE-200J システムが複数ある場合は、AE-200J システムごとにチェックシートを出力してください。

1 回目の試運転と同様に 1 回目の課金試運転から作業時までの期間でチェックを実施します。

7-3-3. 3回目(2回目の課金試運転から一ヶ月以上経過後)の確認

初期設定ツールの **[オプション]** − **[課金試運転チェックシート出力]** より、「精算日の翌日の確認」チェックシート（Excel シート）を出力してください。
AE-200J システムが複数ある場合は、AE-200J システムごとにチェックシートを出力してください。

1 回目の試運転と同様に 2 回目の課金試運転から精算日までの期間でチェックを実施します。
精算日計算を行う場合は、印刷または CSV 出力ができていることを確認する。

7-4. 最終確認

全てのチェックシートがあること、また間違いがないかをもう一度確認してください。

7-4-1. 実運用設定の最終確認

設定に誤りがないか再確認してください。

実運用設定に変更後の設定内容確認

項目	課金設定						料金設定			
	計量計接続按分	A制御機種電源	室外機使用電力量按分モード	室外機待機電力量按分モード	室内機使用電力量按分モード	室内機待機電力量按分モード	週間料金	季節料金	特異日料金	精算日
チェック	**接続する**	**室外機−室内機同一電源**	**能力セーブ量**	**按分する**	**按分しない**	**按分しない**	**あり**	**なし**	**なし**	**月末**
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

料金計算ツールの設定内容確認

計量計接続按分	待機電力量の料金計算	通貨単位	料金計算結果の表示順序	同一名称のエネルギー管理ブロック統合	CSVファイルの小数点記号	CSVファイルの区切り記号	自動出力設定			
							印刷	CSV出力	精算日	IPアドレス
接続する	**料金に含める**	**円**	**番号順**	**統合する**	**ピリオド**	**カンマ**	**月毎**	**月毎**	**月末**	**設定済み**
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑

	料金単価1	料金単価2	料金単価3	料金単価4	料金単価5
kWh	**20**	**18**	**25**	**23**	**20**
MJ	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
m3	**150**	**150**	**150**	**150**	**150**
--	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

㉒

上記表の内容を実運用に切り替える際に、初期設定ツール・料金計算ツールにて確認してください。
実運用の設定内容に間違いがないか確認ください。

初期設定ツールにて確認する内容
①〜⑥：**[課金設定]**-**[課金設定]** 画面
⑦〜⑩：**[課金設定]**-**[料金設定]** 画面

料金計算ツールにて確認する内容
⑪〜㉒：**[詳細設定]** 画面

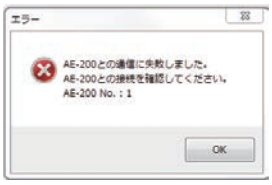
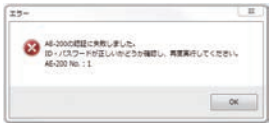
7-4-2. 最終報告

設定に問題がないことと、課金試運転チェックに問題がないことを確認し、全てのチェックシートをお客様に提出してください。

8. トラブルシューティング

8-1. トラブルシューティング

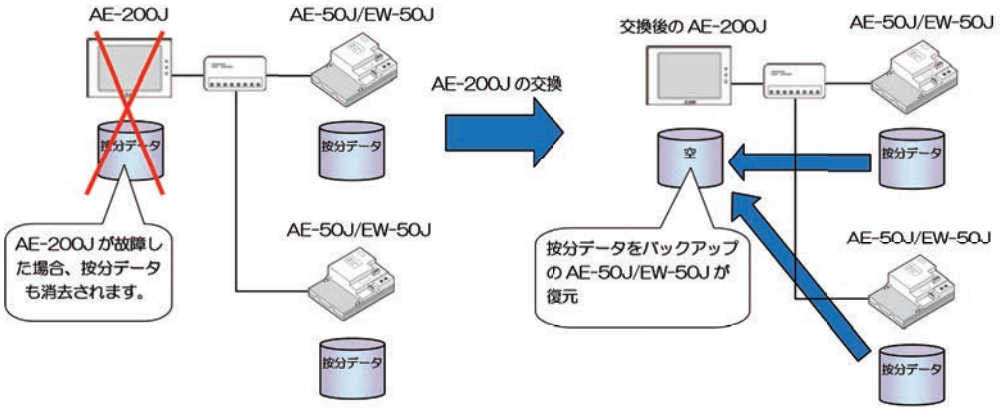
以下の内容について確認し、対処してください。

No.	現象		要因の確認	処置方法
1	料金計算ツールにて料金結果が表示・印刷されない。	期日指定計算時に、『印刷に失敗しました』等の警告メッセージが表示される。	• プリンタの電源が OFF（もしくは、ケーブルが接続されていない）	• 故障要因を取り除き、料金計算ツールより再度「印刷」実施してください。 「3. 使用方法（基本）」を参照してください。
2			• プリンタの接続設定がされていない。	
3			• AE-200J とパソコン（料金計算ツール）が正常に LAN 接続されていない。 • AE-200J の IP アドレスが間違っている。	• AE-200J の IP アドレス·ID·パスワードに間違いないか確認してください。
4			• AE-200J の ID とパスワードが間違っている。	
5		自動印刷または 自動 CSV ファイルが出力されていない。	• パソコンの電源が OFF、またはプリンタの電源が OFF（もしくは、ケーブルが接続されていない）	• 今回は料金計算ツールより、期日指定計算を実施してください。 • 次回以降の自動印刷のために故障要因を取り除いてください。 「3-3. 精算日計算（自動出力）」を参照ください。
6			• プリンタの接続設定がされていない。	
7			• AE-200J との通信異常	
8			• 料金計算ツールにて「自動出力設定」をしていない	
9	AE-200J 本体画面の **[状態リスト]** − **[異常発生中]** に異常表示されている。 または、 **[各種履歴]** − **[ユニット異常]** に異常履歴されている。	『バージョン組合せ異常（0092）』	AE-200J/AE-50J/EW-50J のバージョンが電力按分課金支援機能の対応組合せでない。	• AE-200J と AE-50J および EW-50J のバージョンを確認してください。 「6. 初期設定」を参照ください。
10		『システム構成変更警告（0093）』	AE-200J/AE-50J/EW-50J を交換（システム変更·他のシステムのもの流用）したあと、按分データ復元を実施していない。	•「データ復元」処理を実施してください。 次項「8-2. AE-200J 交換」または、「8-3. AE-50J/EW-50J 交換」を参照ください。
11		『電力按分課金支援ライセンスなし（0094）』	正常にライセンスが登録されていない	AE-200J および AE-50J/EW-50J の全てにライセンスが登録されていることを確認してください。
12		『計量計故障の可能性あり（0095）』	• 空調機の運転量をカウントアップしているのに、計量計の計量値が 3 日以上カウントアップしない状況が継続した場合	• **[監視 / 操作]** − **[計測]** 画面で計測状態が正常にカウントアップされているかを確認してください。 • 電力量計と計量用計測コントローラ間の配線接続不良。 （計量用計測コントローラ使用の場合） • 電力量計と AE-50J/EW-50J 内蔵の計量用パルス入力間の配線接続不良。 (AE-50J/EW-50J の計量計パルス入力使用の場合） • 計量用計測コントローラと AE-50J/EW-50J の通信異常。 • 料金単価の時間帯を削除した後に、繰り越しデータのクリアをしていない場合。 （「8-5(2) 繰り越しデータのクリア」を参照してください。）
13		『按分計算データ収集異常（0097）』	AE-200J と AE-50J または EW-50J との通信異常。	AE-50J または EW-50J との LAN 接続状態を確認してください。

No.	現象		要因の確認	処置方法
14	初期設定ツールの冷媒系設定にて**[モニタ]** をタッチしたときにエラーが発生する	エラーメッセージ：「モニタは正常に完了しました。不正な接続ユニットアドレスを削除してもよろしいですか？***.***.***.***（IP アドレス）」	• 初期設定ツールの設定が誤っている場合	初期設定ツールの以下の設定を再確認し、誤っている箇所を修正してください。 • グループ設定のアドレスおよび種別 • 計量用計測コントローラのアドレス • 環境用計測コントローラのアドレス その後、再度冷媒系設定の **[モニタ]** をタッチしてください。
			• 実機の冷媒系接続が誤っている場合	AE-200J 本体の**[初期設定]** －**[冷媒系表示]** から冷媒系接続を確認し、誤っているアドレスの機器のアドレス設定を変更してください。 その後、再度冷媒系設定の **[モニタ]** をタッチしてください。
			• 実機に通信異常が発生している場合	実機の通信異常を解消してください。 その後、再度冷媒系設定の **[モニタ]** をタッチしてください。

8-2. AE-200J 交換

AE-200J を交換する場合、保持していた按分データを復元する必要があります。
AE-50J/EW-50J の按分データ（バックアップ）を AE-200J に復元する方法を説明します。



(1) AE-200J のネットワーク設定を実施します。

(2) AE-200J にて通常の初期設定を実施します。

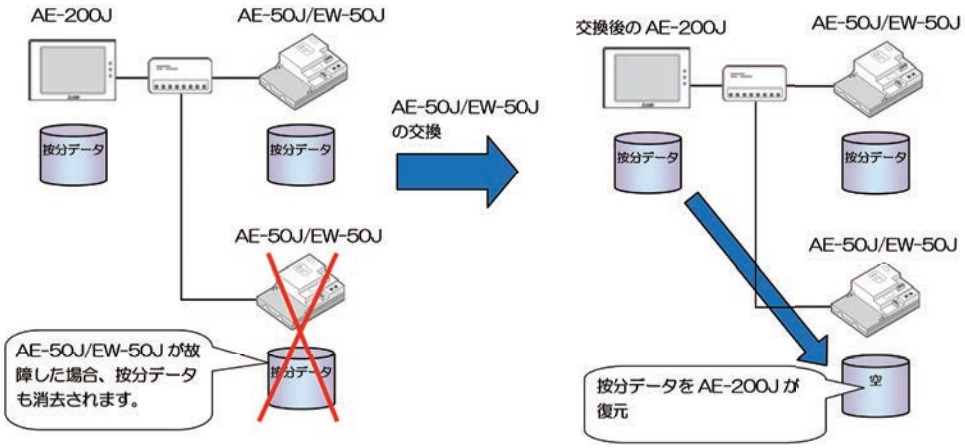
(3) データの復元作業を実施します。
AE-200J の本体液晶画面にて **[メンテナンス]** − **[按分データ]** − **[復元]** をタッチして「対象の集中コントローラ」は **[AE200]** を選択して **[復元]** をタッチします。

お知らせ

- **必ず [AE200] を選択してください。**
  間違って AE-50J/EW-50J を選択すると、按分計算結果のデータが全て消えます。

8-3. AE-50J/EW-50J 交換

AE-50J/EW-50J を交換する場合、保持していた按分データを復元する必要があります。
AE-200J の按分データ（バックアップ）を AE-50J/EW-50J に復元する方法を説明します。



(1) AE-50J/EW-50J のネットワーク設定を実施します。

(2) AE-200J にて通常の初期設定を実施します。

(3) データの復元作業を実施します。
[メンテナンス] − **[按分データ]** − **[復元]** をタッチして、「対象の集中コントローラ」は**交換した AE-50J もしくは EW-50J** を選択して **[復元]** をタッチする。
（タッチするたびに **[AE-200]** → **[Exp1]** → **[Exp2]** → **[Exp3]** → **[Exp4]** と表示が切り替わります。）

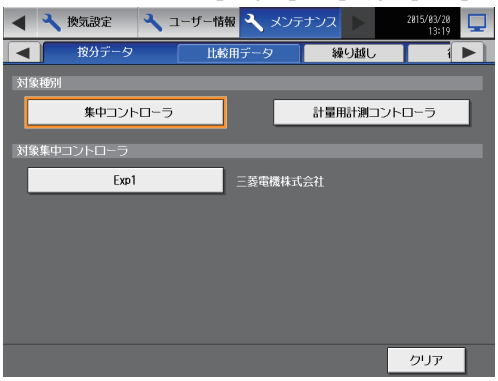
お知らせ

- **必ず AE-50J/EW-50J を選択してください。**
  間違って AE-200J を選択すると、按分計算結果のデータが全て消えます。

(4) 比較用データのクリアを実施します。

比較用データとは
AE-50J/EW-50J および計量用計測コントローラが持っている最新値と、AE-200J が持っている前回の按分計算時点の値を比較して増分を求めるためのデータです。

AE-200J に接続されている**交換した AE-50J もしくは EW-50J** の比較用データのクリアを実施します。
「対象種別」は **[集中コントローラ]** を選択します。
「対象集中コントローラ」は**交換した AE-50J もしくは EW-50J** を選択して **[クリア]** をタッチする。
（タッチするたびに **[Exp1]** → **[Exp2]** → **[Exp3]** → **[Exp4]** と表示が切り替わります。）



(5) 比較用データのクリアを実施します。

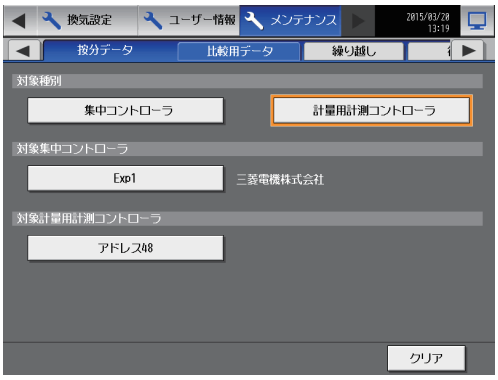
AE-200J に接続されている交換した AE-50J もしくは EW-50J に、計量用計測コントローラが接続されている場合は、以下の作業を実施します。

[メンテナンス] − **[按分データ]** − **[比較用データ]** をタッチして、「対象種別」は **【計量用計測コントローラ】** を選択します。

「対象集中コントローラ」は、計量用計測コントローラが接続されている AE-50J または EW-50J を選択します。（タッチするたびに **[Exp1]** → **[Exp2]** → **[Exp3]** → **[Exp4]** と表示が切り替わります。）

「対象計量用計測コントローラ」は接続されている計量用計測コントローラのアドレスを選択します。

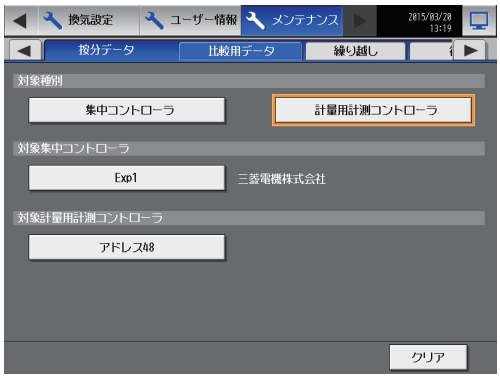
設定完了後、**[クリア]** をタッチします。



- AE-50J もしくは EW-50J 内蔵の計量用パルス入力を使用している場合も実施してください。
  計量用パルス入力の場合は、**[PI]** を選択してください。
- 計量用計測コントローラが接続されていない AE-50J もしくは EW-50J は、この作業は不要です。

8-4. 計量用計測コントローラ交換

計量用計測コントローラを交換した場合、比較用データのクリアを実施します。
交換対象の計量用計測コントローラに以下の作業を実施します。
「対象種別」は **[計量用計測コントローラ]** を選択します。
「対象集中コントローラ」は、計量用計測コントローラが接続されている AE-50J または EW-50J を選択します。
（タッチするたびに **[Exp1]** → **[Exp2]** → **[Exp3]** → **[Exp4]** と表示が切り替わります。）
「対象計量用計測コントローラ」に、接続されている計量用計測コントローラのアドレスを選択します。
間違って交換していない計量用計測コントローラを選択すると、未按分のパルス増分が捨てられます。
設定完了後、**[クリア]** をタッチします。



8-5. その他の作業

(1) 料金計算演算前のデータ確認

料金計算ツールにて、過去に料金計算を行ったことがあるデータに対して、再計算したい場合は、下記計算前のデータを使用して再計算してください。

- 保管場所
  C:¥Users¥(ユーザー名)¥Documents¥CCTool¥Log¥“印刷を実施した日付”
- ファイル名
  ①エネルギー管理ブロックデータ
  M_01_App_IC_“印刷を実施した日付・時刻”_“数字３桁”.csv
  ②計量計データ
  M_01_App_MC_“印刷を実施した日付・時刻”_“数字３桁”.csv

(2) 繰り越しデータのクリア

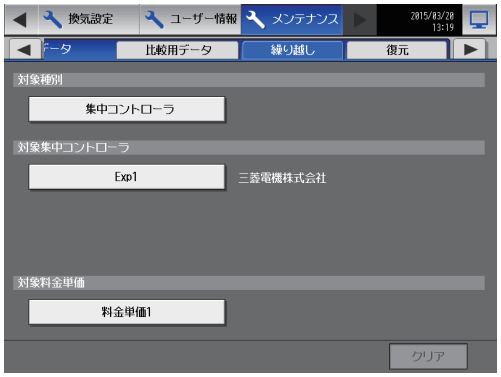
初期設定ツールの料金 (時間帯) 設定を 1 つでも削除した場合は、按分データの繰り越しデータのクリアを実施してください。

繰り越しデータのクリアを実施しない場合、「異常コード（0095)」が発生する可能性があります。

- 繰り越しデータのクリアを実施します。
  AE-200J の本体液晶画面にて **[メンテナンス]** − **[按分データ]** − **[繰り越し]**
  「対象種別」は **[集中コントローラ]** を選択します。
  「対象の集中コントローラ」は接続されている AE-50J もしくは EW-50J を選択します。
  （タッチするたびに **[Exp1] → [Exp2] → [Exp3] → [Exp4]** と表示が切り替わります。）
  「対象料金単価」をタッチして、料金単価 1 ～ 5 を選択します。
  設定完了後、**[クリア]** をタッチします。

お知らせ

- 削除した料金時間帯が AE-50J/EW-50J を複数系統にまたがって接続されている場合は、全ての系統で実施してください。
  間違って使用中の料金単価を [クリア] すると、繰り越している増分が消去されます。



(3) 使用電力量が「0」のユニットがある場合

AE-200J の課金パラメータ（CSV データ）を用いて確認します。

手順

1. AE-200J に USB メモリを接続する。
2. **[メンテナンス]** − **[CSV 出力]** 画面を開き、**[課金パラメータ]** を選択した状態で **[CSV ファイル出力]** をタッチする。
3. CSV データを開く。

4. 初期設定ツールの **[課金設定]**-**[課金設定]** の「室外機使用電力按分モード」で選択したモードの数値を確認します。
5. 数値が「0」以外であれば誤設定の可能性がありますので確認してください。
   数値が「0」の場合、空調機試運転（冷房または暖房）を行って、使用電力量が増加したことを確認してください。
   増加しなければ誤設定の可能性がありますので確認してください。

※ 課金パラメータの詳細については、AE-200J 取扱説明書「9-1-3.CSV 出力」を参照してください。

(4) 待機電力量が「0」のユニットがある場合

手順

1. システムの課金設定内容を確認してください。待機電力を **[按分しない]** と設定している場合は、「0」で問題ありません。
2. 初期設定ツールの **[課金設定]** − **[課金設定]** の「室外機待機電力按分モード」と「室内機待機電力按分モード」の設定を確認してください。**[按分しない]** に設定されている場合は「0」になります。
3. 初期設定ツールの **[課金設定]** − **[室外機設定]** または **[室内機設定]** の待機電力の項目に数値が入っているかを確認してください。

※ 設定を変更する場合は、運用方法などを十分に考慮した上で設定を変更してください。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365 日・24 時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常 FAX)

三菱電機株式会社

〒100-8310　東京都千代田区丸の内二丁目7番3号(東京ビル)

WT07441X01